KIMOTO

Kimosetter 410

ユーザーズガイド

Win For Windows®

Mac For Macintosh™

Adobe® PostScript® 3™

ソフトウェアの著作権に関する注意
© 2005 Scanvec Amiable, Inc. All Rights Reserved.
© 2005 Adobe Systems Incorporated. All Rights Reserved.
© 2005 Alps Electric Co., Ltd. All Rights Reserved.
© 2005 Microsoft Corporation. All Rights Reserved.

マニュアルの著作権に関する注意
© 2005 Scanvec Amiable, Inc. All Rights Reserved.
© 2005 Alps Electric Co., Ltd. All Rights Reserved.

国際エネルギースタープログラムについて
当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、
本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本プリンタを日本国外へ持ち出す場合について
本プリンタ（ソフトウェアを含む）の保証は、日本国内においてのみ有効です。日本国外での修理、技術サポートなどの対応はお受けできませんのでご了承ください。また、本プリンタを運用した結果、日本国外ではその国の法律または規制によって、罰せられることがありますが、一切責任を負うことはできませんのでご了承ください。

ご注意
1. 本書の内容は、機能改善のため予告なしに変更することがあります。
2. 本書の内容の一部、または全部を当社の許可なく複製、変更、転用等の二次利用することを禁じます。
3. 本書の内容については万全を期して作成しましたが、記述の誤り、漏れ等、お気付きの点がありましたら巻末に記載されている株式会社きもとにご連絡ください。
4. 本書に掲載された情報の使用に関して、いかなる直接損害、間接損害、特別損害、偶発的損害または結果的損害については、当社は一切責任を負うことはできませんのでご了承ください。また、本書に掲載された情報の使用によって、お使いの機器やデータに何らかの修復や訂正が必要となったとしても、その回復費用はご自身で負担するものとします。

MS、Microsoft、MS-DOS、Windows、WindowNT、Windows XP、Windows 2000は、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
Apple、Macintosh、漢字Talk、ColorSync、AtEase、Performa、Mac OS、Mac OS X、PowerMacintosh、iMacは、米国アップルコンピュータ社の商標または登録商標です。
Adobe、PostScript、PostScript3、PostScriptロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または、登録商標です。
その他の会社名、商品名は、該当各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、Kimosetter 410をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
Kimosetter 410をご使用になる前に本書をよくお読みいただき、本プリンタの機能を充分にご活用ください。

各タブのついているページでは、下記の説明をしています。

「for Win and Mac」　Windows、Macintoshを共通で説明しています。
「for Windows」　Windows2000/XPについて説明しています。
「for Macintosh」　Macintoshについて説明しています。

安全上のご注意

この「取扱説明書」および「製品への表示」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。この内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注意(警告も含む)を促す内容があることを告げるものです。
例えば は、「指をはさまれないように注意」を示しています。

禁止の行為であることを告げるものです。
例えば は、「分解禁止」を示しています。

行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
例えば は、「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

警告

● 電源は仕様以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

● 電源コードを傷つけたり、破損しないでください。また、重たいものを乗せたり、過熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

● 濡れた手で電源コードの差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

● 万一、異常な過熱や臭いがするなどの異常な状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、その後必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。

差し込みプラグをコンセントから抜くこと

● ご自分で分解したり、修理したりすることは絶対にしないでください。故障や感電の原因となります

分解禁止

● 通風孔や開口部などから､本プリンタの内部やインクカセットの内部に、クリップやホチキスの針等の異物を落とさないように注意してください。このような状態で使用すると、故障や火災などの原因となり危険です。

● 次のような事態が生じた場合、すぐに電源を切り、その後必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて株式会社 きもと または販売店にご相談ください。このような状態で使用すると、火災や感電の原因となります。

・電源コードや差し込みプラグが擦り切れたり、損傷をした場合。
・本プリンタ内部に水や液体をこぼした場合。
・雨または過度の湿気の中に本プリンタをさらした場合。
・本プリンタを落としたり、損傷した場合。
・修理や点検が必要と考えられる場合。

差し込みプラグをコンセントから抜くこと

● 湿度が高い場所や、本プリンタに水がかかるような場所では使用しないでください。火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

● 各種接続コード（ケーブル）は、本書で指示されている以外の接続をしないでください。火災や感電の原因となります。

注意

● 本プリンタは電源コードの差し込みプラグを抜いたときに、電源の接続が完全に切れます。安全のためすぐにコンセントから電源コードの差し込みプラグを抜くことができるように、本プリンタを設置してください。また、コンセントから抜くときには、必ず電源コードの差し込みプラグを持って抜いてください。

● 水平で安定した場所で使用および保存してください。振動および衝撃がない場所でお使いください。落下によるケガ、破損や誤動作の原因となります。

● ほこりが多い場所や潮風があたるなど塩分の多い場所を避け、水や油、薬品がかからないようにしてください。プリンタ内部に入って、火災や感電の原因となります。

● インクカセットは安全のため幼児の手の届かないところに保管してください。
● インクカセットは指定された用紙との組み合わせで使用してください。異なる組み合わせで使用すると、インクカセットのリボンを損傷することがあります。印字は用紙の印字可能範囲に行ってください。

● 長期間本プリンタをご使用にならないときは、安全のため必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

差し込みプラグをコンセントから抜くこと

● 雷が近づいてきたときは、早めに電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。

差し込みプラグをコンセントから抜くこと

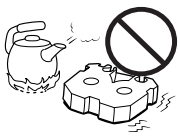
● 本プリンタの上に乗ったり、重いものを乗せたりしないでください。特に幼児の手の届くところには、設置、保管をしないでください。転倒や落下によるケガ、破損の原因となります。

使用上の注意

● 本プリンタの電源スイッチを「OFF」にしただけでは、本プリンタ内部に供給されている電源電圧を遮断することはできません。本プリンタは電源コードを抜いたときに、はじめて完全に電源が切れます。

● 本プリンタにて印字された用紙を複写機・レーザプリンタ等の高熱を用いて処理するプリンタに使用しないでください。印字したインクが溶けて汚れたり、機械の故障の原因となります。

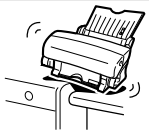
● インクカセットは、高温、高湿での保存を避けてください。使用するときは、使用する環境温度に十分なじませてください。また、結露のある状態では保存しないでください。また、裏返したり、巻戻したりしても再利用はできません。再利用しても、文字が欠けてしまい、正しい印字ができません。



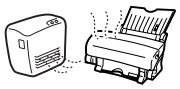
● 印字動作中に電源を切ったり、電源コードの差し込みプラグを抜かないでください。印字ヘッドが用紙に接触したままとなり、故障の原因になります。必ず、ready ランプが点灯状態で、本プリンタの動作が停止したことを確認してから電源を切ってください。

● 電源を切ったのち、ふたたび電源を入れるときは、すべてのランプが消えていることを確認して、4秒以上待ってから電源を入れてください。電源を切った直後に電源を入れると、本プリンタが誤動作することがあります。

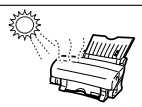
● 振動および衝撃が加えられた場合にインクカセットホルダからインクカセットが外れていたり、リボンがたるんでいることがあります。動作を行う前に、インクカセットがインクカセットホルダに正しく装着されていることを必ず確認してください。



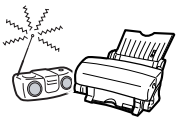
● 周囲の温度が15℃～30℃、湿度が30%～70%(結露なきこと)の範囲でお使いください。



● 直射日光があたる場所やエアコンのそばなど温度変化が激しい場所は避けてください。また、車の中などのように温度が急に上昇するところには放置しないでください。



● ラジオ、テレビなどの受信機に近づけて使用しないでください。ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。その場合には、ラジオやテレビなどから本プリンタを離したり、別のコンセントを使用してください。



● プリンタをパソコンラック等に設置した場合、プリンタ動作時の振動によって、増設したハードディスク等の動作に影響を与える場合があります。影響がある場合は、プリンタの設置場所を変更してください。

● 本プリンタはMacintoshコンピュータ拡張機能のQuickDraw GXには対応していません。

本書の見方

本書は、本プリンタの機能を充分にご活用いただくためのユーザーズマニュアルです。本プリンタを使用して印字を行う前に必要な準備、注意事項、基本的な操作方法、トラブル発生時の対処方法、メンテナンス方法など、本プリンタの取り扱い全般に関して説明しています。また、本プリンタを使用して印字を行うためのプリンタドライバのインストール方法、プリンタドライバによる印字条件の設定方法なども説明しています。
以下を参照して、使い方に応じた適切なページをお読みください.

本書の構成

第1章　基本操作ガイド

この章では、プリンタの準備、プリンタの各部の名称や機能、インクカセットや用紙をセットする方法などを説明しています。はじめて本プリンタをお使いになる場合や、インクカセットや用紙をセットする場合などにお読みください。

第2章　Windows操作ガイド

WindowsユーザーのRIPセットアップから、RIP機能とプリント方法を説明します。

第3章　Macintosh操作ガイド

MacintoshユーザーのRIPセットアップから、RIP機能とプリント方法を説明します。

第4章　メンテナンス、仕様

この章では、プリンタのメンテナンス方法や、プリンタの基本仕様などについて説明しています。

第5章　修理に出す前に

この章では、修理に出す前に確認する事項や、トラブルの対処方法を説明しています。

本書での表記

・本書では以下のようなマークを示し、操作上の注意事項や参考となる内容を説明します。

参考
関連する操作や知っておいてほしいことを説明します。

注意
操作する上で注意してほしいことを説明します。

目次

はじめに i
安全上のご注意 ii
絵表示の例 ii
警告 iii
注意 iv
使用上の注意 v
本書の見方 vi
本書の構成 vi
本書での表記 vii

第1章　基本操作ガイド 1
プリンタの準備をする（必ず最初にお読みください） 2
各部の名称とその働きについて 8
本体（前面） 8
本体（内部） 9
本体（背面） 10
操作パネル 11
インクカセットの取り扱い方 12
インクカセットの種類を確認する 12
インクカセットを装着する 12
インクカセットを交換する 14
用紙をセットする 16
用紙の種類を確認する 16
キモプレートe²に印字するには 16
電源のオンとオフの手順 19
電源を入れるとき 19
電源を切るとき 19

第2章　Windows操作ガイド 21
セットアップ 22
必要システム構成 22
Kimosetter 410とコンピュータの接続 22
プリンタの接続（Plug & Play） 23
Windows XPの場合 23
Windows 2000の場合 24
プリンタのセットアップ 30
プリンタを使用する前に 31
RIPの削除 32
RIPの機能 33
プリントモニタ 33
各ボタンの機能 33
各種情報の表示 34
メニュー 34
デバイス設定のプロパティ 37
全般タブ 37
プリントタブ 38
色調整タブ 38
ドライバオプション 39
オフセット調整 39
リボン情報 41
ネガ出力 41
濃度カーブ調整 42
各ボタンの機能 42
濃度カーブの作成・編集 43
環境設定 44
プリントする 45
データ作成したアプリケーションを起動せずにプリントする方法 45
データ作成したアプリケーションを起動してプリントする方法 47
PageMaker 7.0Jからプリントする方法 49
添付フォント 52
付録 A　オフセット調整の詳細説明 53
付録 B　サポートフォントの一覧 56
付録 C　Kimosetter 410の印刷可能領域 59

第3章　Macintosh操作ガイド 61
セットアップ 62
必要システム構成 62
Mac OS 9.xの環境でのセットアップ 63
プログラムのインストール 63
和文スクリーンビットマップフォントのインストール 68
欧文スクリーンフォントのインストール 69
Kimosetter 410とコンピュータの接続 71
プリンタのセットアップ 72
RIPの削除 75
RIPの機能 76
プリントモニタ 76
各ボタンの機能 76
各種情報の表示 77
メニュー 77
デバイス設定のプロパティ 79
全般タブ 79
ポートタブ 79
プリントタブ 80
色調整タブ 80
ドライバオプション 81
オフセット調整 81
リボン情報 82
ネガ出力 82
濃度カーブ調整 83
各ボタンの機能 83
濃度カーブの作成・編集 84
環境設定 85
プリントする 86
データ作成したアプリケーションを起動せずにプリントする方法 86
データ作成したアプリケーションを起動してプリントする方法 88
PageMaker 7.0Jからプリントする方法 90
PostScriptフォントのインストール 93
Adobe Type Library 2.0J（CIDフォント）のインストール手順 93
Adobe Type Library 1.0J（OCFフォント）のインストール手順 96
（株）フォントワークスジャパンのフォントインストール手順 98
ダイナラブ・ジャパン（株）のフォントインストール手順 102
大日本スクリーン製造（株）のフォントインストール手順 106
付録 A　オフセット調整の詳細説明 110
付録 B　サポート欧文フォントの一覧 113

Mac OS X Classic環境でのセットアップ 115
Mac OS X Classic環境に新規インストールを行う場合 115
和文スクリーンビットマップフォントのインストール 119
コンピュータ名の設定 121
プリンタのセットアップ 125
プリンタの登録 128
Mac OS Xアプリケーションからプリントを行うには 130
プリント方法 136

第4章　メンテナンス・仕様 139
プリンタのメンテナンス 140
本体の清掃 140
印字ヘッドの清掃 142
プラテンの清掃 143
用紙送りローラの清掃 144
給紙ローラの清掃 145
ready/insertボタンの機能 147
ランプ表示一覧 147
各ランプの表示 147
仕様 148
一般仕様 148
印字範囲 149
オプションとサプライ品について 150
Kimosetter 410用サプライ品一覧 150
インクカセット 150
用紙類 150

第5章　修理に出す前に 151

1.はじめに 152

2.困ったときには 153

電源が入らない 153

紙づまりが起きたとき 153

キャリッジからインクカセットが外れないとき 155

キャリッジからインクカセットを取り外す場合 156

電源を入れると異音が発生する 157

HPセンサーとマーカーシールの清掃 158

用紙が正しく送れない 159

インクカセットについて 160

印字結果について 161

印字が薄い／ムラがある／白線や隙間が生じる 161

その他のトラブル時の対処法（Windowsの場合） 162

インストールできない／インストールしても印字できない ... 162

接続方法／機種問い合わせ 163

印字しない／印字が止まる 163

印字が異常に遅い 165

その他のトラブル時の対処法（Macintoshの場合） 166

インストール時「ディスクに書類が入っていません」と表示される／
インストーラが見つからない 166

セレクタからプリンタを選択できない／ポート番号が出てこない 167

印字しない／印字が止まる 168

印字が異常に遅い 169

接続方法に関して 169

その他 169

3.エラーメッセージが表示されたときには 170

問い合わせ／修理依頼シート 176

第1章
基本操作ガイド

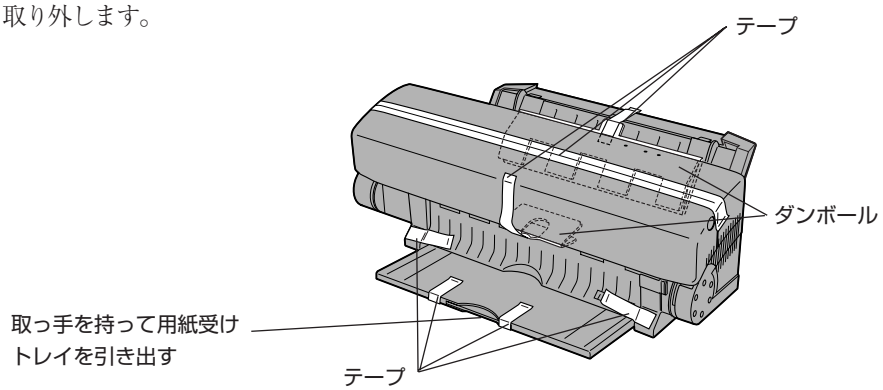
本章では、プリンタを箱から出してから印字するまでの準備や基本的な操作について説明します。プリンタ内部の固定部材の外し方、インクカセットのセット方法、用紙のセット方法などについて説明しています。印字を行う前に必ず本章をお読みください。

プリンタの準備をする（必ず最初にお読みください）

箱から取り出したプリンタは、輸送中の破損防止のため、固定部材やテープなどで保護されています。まずご使用の前にこれらの固定部材やテープなどを取り外し、印字できるように準備を行います。さらにプリンタを適切な場所に設置し、プリンタケーブル等を接続します。固定部材やテープを外さないまま印字を行うと故障の原因となります。必ず以下の手順に従って準備を行ってください。

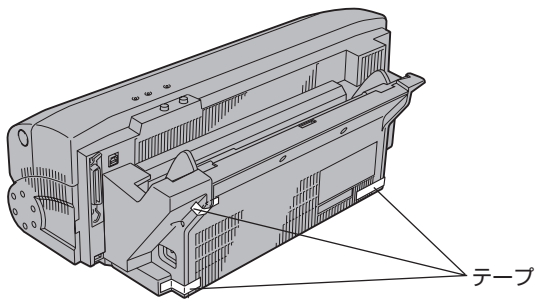
1　外部正面の固定部材を取り外す

正面のテープ（7カ所）とダンボール（2カ所）を取り外します。
用紙受けトレイ部分のテープは、取っ手を持って用紙受けトレイを引き出してから、取り外します。



2　外部背面のテープを取り外す

背面のテープ（3カ所）を取り外します。

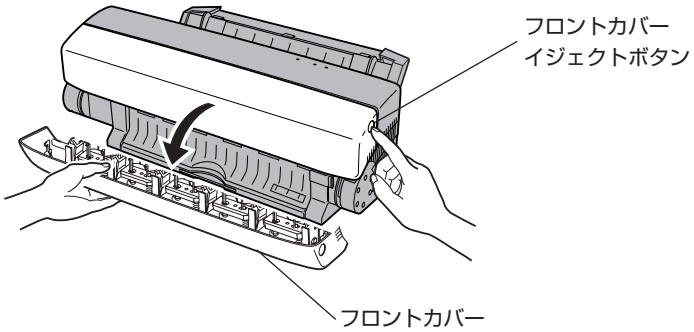


3　フロントカバーを開ける

内部の固定部材を取り外すためにフロントカバーを開けます。

▼ フロントカバーイジェクトボタンを押す。
内部のロックが外れます。

▼ さらにフロントカバーイジェクトボタンを押しながら別の手をフロントカバーの下に添え、静かに開ける。

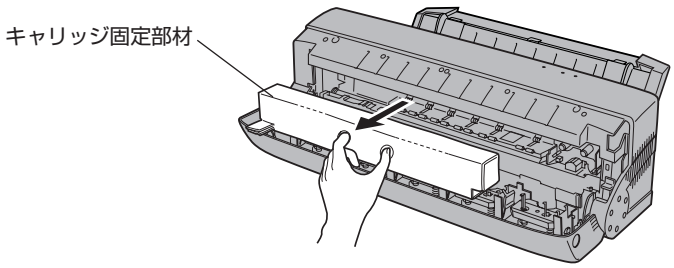


注意

このときフロントカバーを強く押し下げないようにしてください。

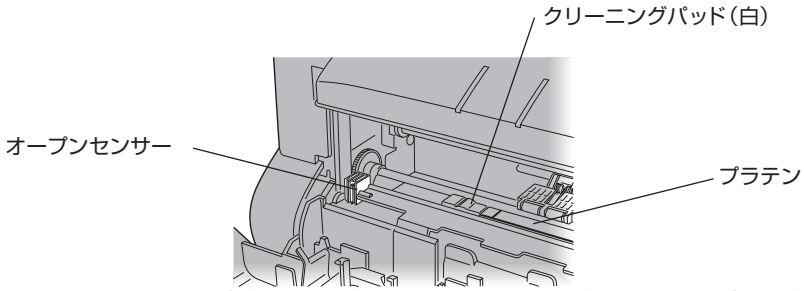
4 内部の固定部材を取り外す

キャリッジ固定部材をゆっくりと引き出します。



注意 （クリーニングパッド、オープンセンサーについて）

・プラテンの左端にあるクリーニングパッド（白）は、印字ヘッドのクリーニング用です。



・クリーニングパッドは取り外さないでください。取り外してしまった場合は故障の原因になります。

・プリンタ内部の左端にあるオープンセンサーには指などで触れないでください。

5 フロントカバーを閉める

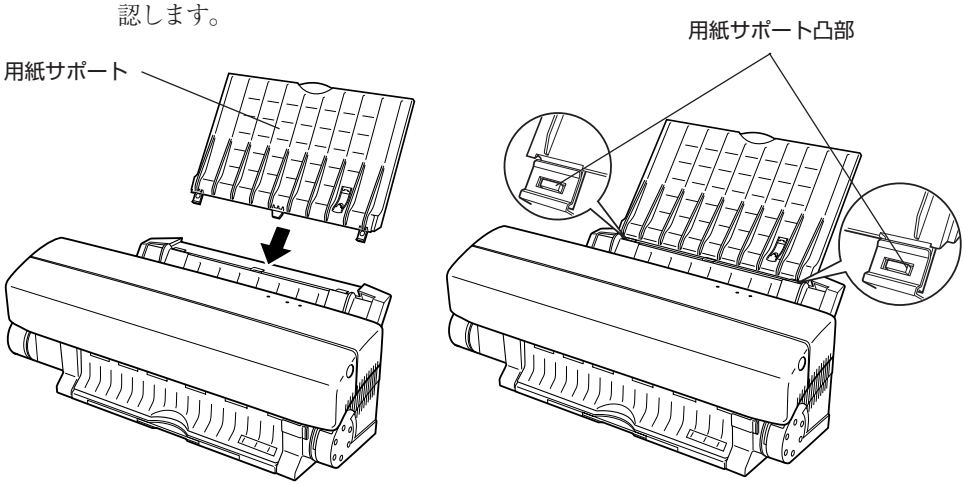
フロントカバーの両端を持ち上げて静かに閉めます。このときロックがかかると「カチッ」と音がします。

注意

フロントカバーを閉めるとき、たたきつけるような衝撃を与えないでください。インクカセットが外れたり、故障の原因となります。

6　用紙サポートをセットする

プリンタにセットした用紙が後ろにそらないようにするための用紙サポートをセットします。セットした状態で用紙サポートの凸部がプリンタの凹部に入っていることを確認します。

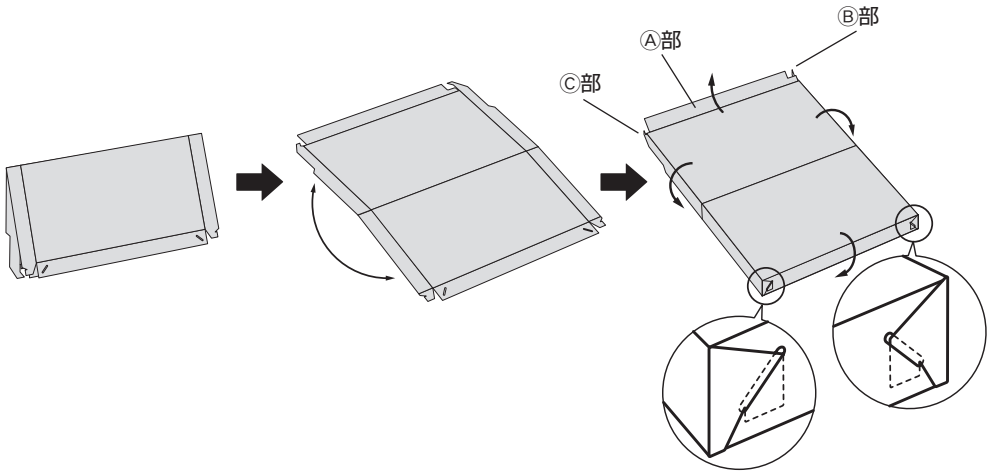


7　ダストカバーをセットする

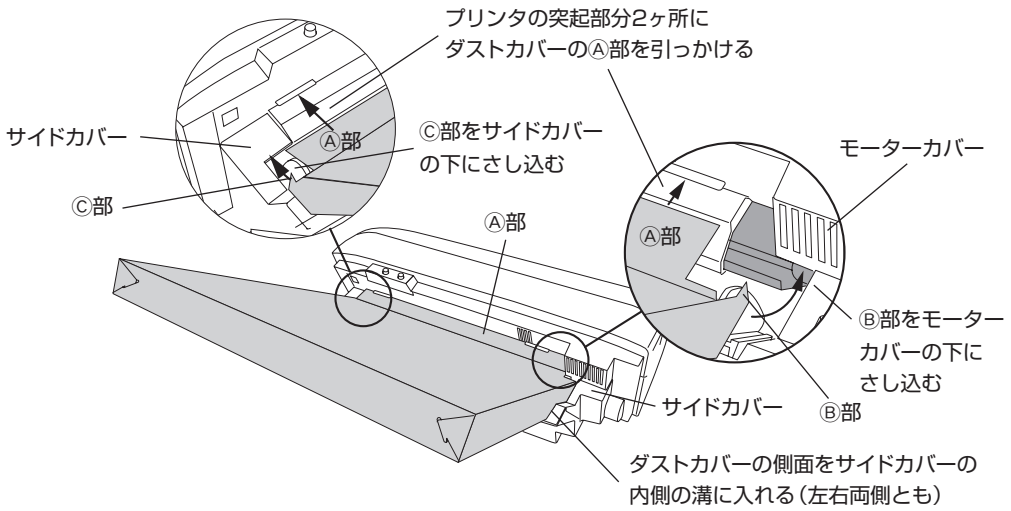
ダストカバーは、プリンタにセットした用紙やプリンタ内部へのホコリ付着を防止します。ホコリ付着は、印字結果に影響を与えるだけではなく、様々な障害の原因となります。ダストカバーは、印字するときや、プリンタを使用しないときにも使用します。

7-1　ダストカバーを組立てる

ダストカバーは折り曲った状態で梱包されてきます。開いて組立てます。
斜めの線でザラザラした面が表になります。



7-2 ダストカバーをセットする



8 プリンタを設置する

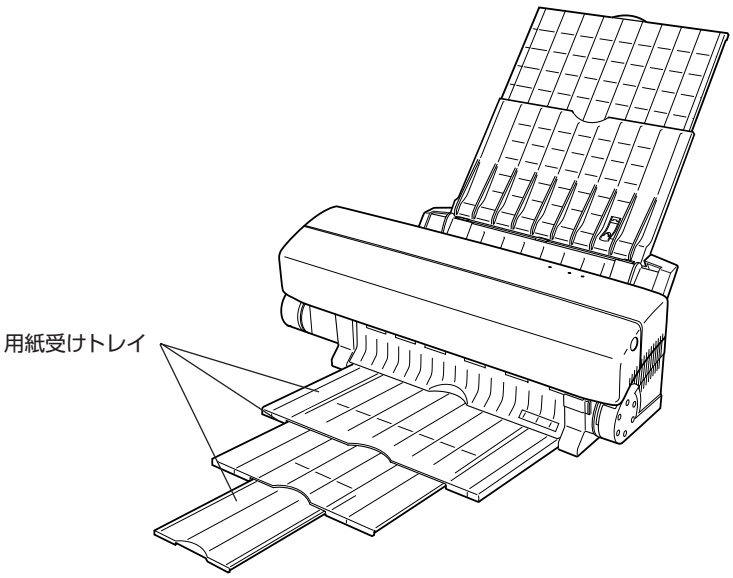
「安全上のご注意」の「注意」および「使用上の注意」をよくお読みになり、適切な場所に設置してください。用紙受けトレイ、用紙サポートを引き出した場合も考えて、周囲に十分なスペースを確保します。

注意

用紙受けトレイを完全に引き出した場合、用紙受けトレイが机などの設置場所から、はみ出さないよう設置します。

用紙受けトレイを使用するには

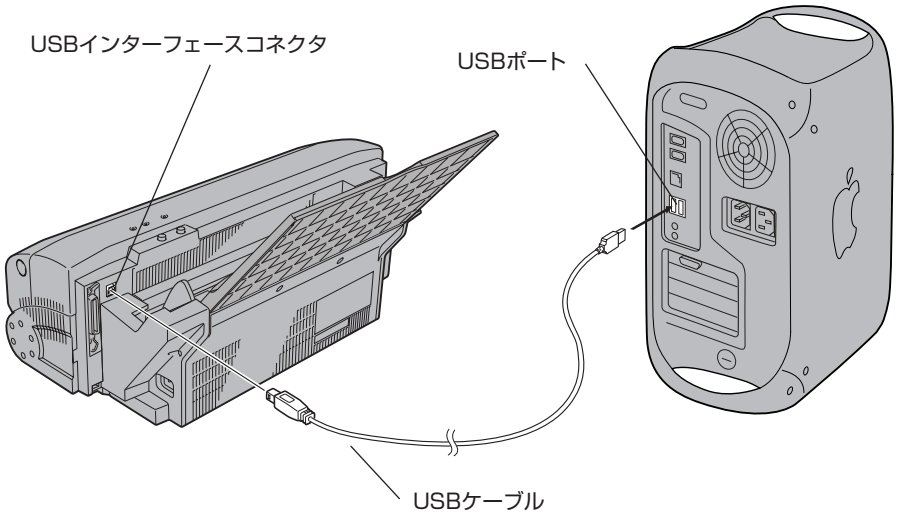
印字を行うときには、用紙受けトレイを引き出して使います。取っ手を持ち、静かに、そして完全に引き出してください。また、使用後は用紙受けの取っ手部分を軽く押し込んで収納してください。



9　プリンタとコンピュータを接続する

▼ コンピュータの電源がOFFになっていることを確認する。
コンピュータが起動している場合はいったん終了し、電源をOFFにする。

▼ 次にUSBケーブルでプリンタとコンピュータを接続する。



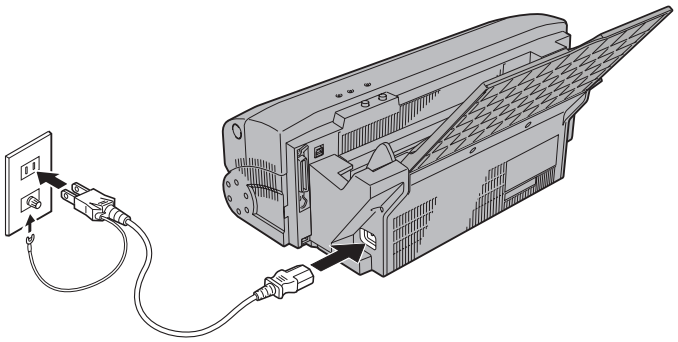
注意

延長ケーブルを使用すると、正しく印字されないことがあります。

10 電源コードを接続する

▼ 本プリンタ付属の電源コードを、プリンタの電源コード差し込み口に奥までしっかりと差し込む。

▼ 次に、電源コードの差し込みプラグをコンセントに差し込む。
このとき操作パネルの3つのランプがすべて点灯します。
ランプが点灯しないときは、電源コードの接続を確認してください。ランプは点灯後、数秒するとすべて消灯します。



注意

・電源コードをプリンタに差し込むと、奥まで入っていない状態でいったん止まることがあります。電源コードは、奥までしっかりと差し込んでください。

・本プリンタは、電源コードの差し込みプラグを抜いたときに、はじめて完全に電源が切れます。安全のため、すぐにコンセントから電源コードの差し込みプラグを抜くことができるように、本プリンタを設置してください。また、コンセントから抜くときには、必ず電源コードの差し込みプラグを持って抜いてください。

・本プリンタを安全に使用するために、電源コードのアース端子をコンセントのアース端子に接続してください。

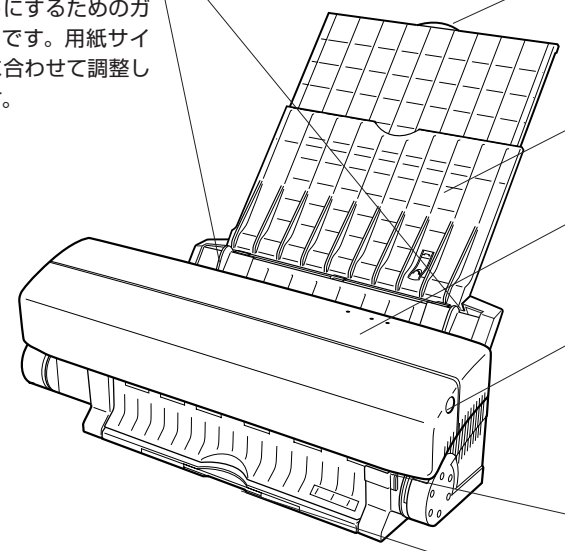
・アース接続は、必ずプラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ずプラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因となります。

各部の名称とその働きについて

本プリンタの各部の名前とその働きについて説明します。本文中に出てくる各部の位置や働きを知りたいときにお読みください。

本体（前面）

用紙ガイド
用紙が横にずれないようにするためのガイドです。用紙サイズに合わせて調整します。



用紙サポート
セットした用紙が後ろにそらないように支えます。用紙サポートを引き出す場合は、用紙サポートのほぼ中央を持って引き出します。

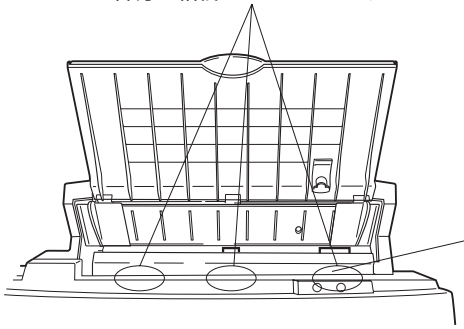
用紙トレイ
印字する用紙をセットします。

フロントカバー
内部機構を保護するためのカバーです。印字を行うときはフロントカバーを閉じて行います。

フロントカバーイジェクトボタン
このボタンを押すと、フロントカバーが開きます。インクカセットの交換、紙づまりのときなどに開けます。フロントカバーを開けるときは、フロントカバーに手を添えながら静かに開けます。フロントカバーを閉めるときは、フロントカバーの両端を持ち上げて静かに閉めます。

排紙開口部
印字済みの用紙が出てきます。

この部分に給紙ローラがあります。



用紙受けトレイ
印字済みの用紙を受け止めるトレイです。使用する場合は、完全に引き出して使用します。なお、用紙受けトレイを完全に引き出した場合、用紙受けトレイがはみ出さないよう設置します。

給紙ローラ
用紙トレイにセットした用紙を給紙させるためのローラです。（波線の部分に合計5ヶ所）

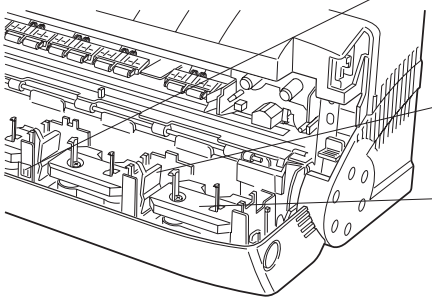
注意

プリンタが動作しているときに内部に手を入れないでください。ケガの原因となります。

注意

プリンタが動作しているときにフロントカバーを開けないでください。フロントカバーを開けることによって、印字途中の用紙が折れたり、インクカセットが外れたりすることがあります。ただし、印字中にインクカセット交換の指示があったときは、フロントカバーを開けてもかまいません。このときは、用紙が折れたり、インクカセットが外れたりする心配はありません。

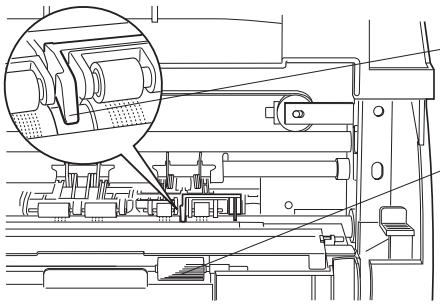
本体(内部)



マーカーシール(黒と銀のシール)
キャリッジの基準位置を確認するためのシールです。汚さないでください。汚れた場合は、乾いた綿棒で軽く拭き取ります。このとき、シールがはがれないように注意します。

ラッチ(青い部分)
インクカセットをインクカセットホルダに固定させます。

インクカセットホルダ
インクカセットを装着するホルダで、5ヶ所あります。1つのホルダには2巻のインクカセットが装着できますが、セットできるのは最大9巻までです。

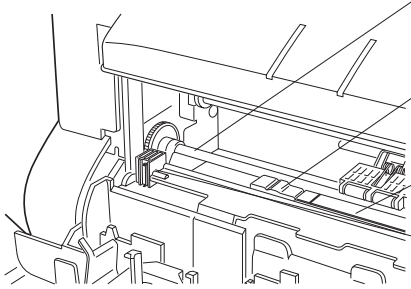


PEレバー
紙の有無を検出するためのレバーです。

排紙ローラ
用紙を排紙するためのローラです。

内部右側拡大図

用紙送りローラ(金属のローラ)
給紙された用紙を送るためのローラです。

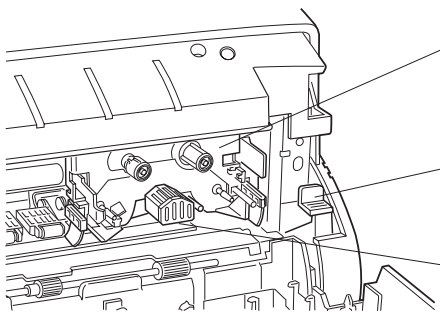


クリーニングパッド(白)
印字ヘッドクリーニング用パッドです。取り外さないでください。

プラテン
印字を行う際に、印字ヘッドが押下するゴムのプレートです。汚れた場合は、第4章の「プラテンの清掃」を参照して、清掃を行います。

内部左側拡大図

オープンセンサー
フロントカバーの開閉を検出します。



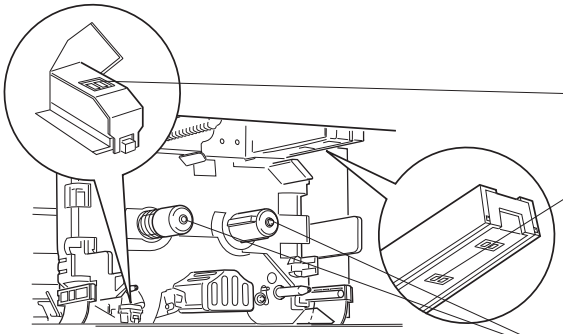
キャリッジ
インクカセットホルダから必要なインクカセットを自動的にピックアップします。キャリッジは、通常はこの位置より左側にあります。

リリースレバー(青いレバー)
紙づまりを起こしたときに使用します。レバーを下に押し下げて用紙を引き抜きます。フロントカバーを閉じると、レバーは元の位置に戻ります。

印字ヘッド
キャリッジに搭載されていて、印字を行います。清掃時以外は、印字ヘッドには触らないでください。

注意

清掃時以外は、印字ヘッドやキャリッジには触れないでください。故障の原因となります。また、キャリッジにインクカセットを直接装着しないでください。動作不良や故障の原因となります。



キャリジ拡大図

REセンサー（黒い部分）
インクカセットの終了を検出します。

HPセンサー（黒い部分2ヶ所）
インクカセットの種類、キャリッジの基準位置を検出します。

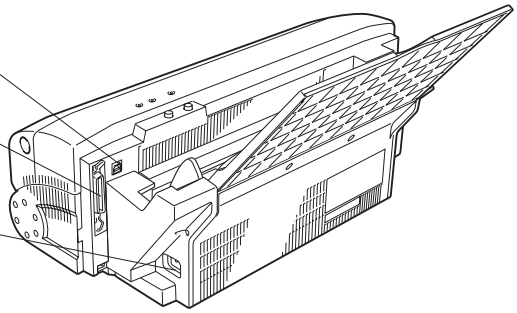
ボビン軸
インクカセットの巻き取りを行います。

本体(背面)

USBインターフェースコネクタ
USBケーブルを接続するコネクタです。

パラレルルインターフェースコネクタ
メーカーでのメンテナンスに使用するコネクタです。お客様はご使用になれません。

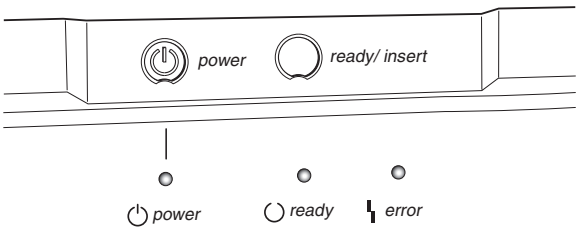
電源コード差し込み口
電源コードを接続する差し込み口です。
電源コードは奥までしっかりと差し込みます。



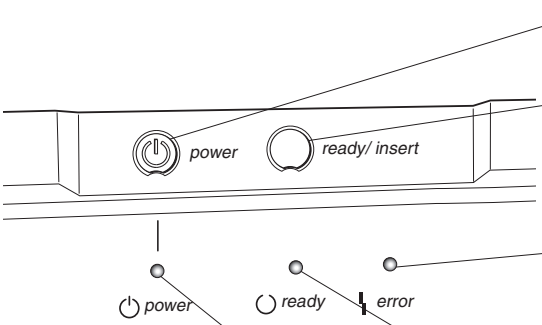
注意

清掃時以外は、用紙トレイの中に手や印字用紙以外の物を入れないでください。ケガや故障の原因となります。

操作パネル



プリンタ本体の上部には2つのボタンと3つのLEDランプが並んでいます。
ボタンを押して用紙を排出したり、ランプの状況を確認してプリンタを操作します。これらのボタンやランプ部をまとめて操作パネルと呼びます。



*power*ボタン
電源のオン／オフを行います。

*ready/insert*ボタン
機能については第4章「ready/insertボタンの機能」を参照してください。

*error*ランプ
本プリンタに何らかのエラーが発生したときに点滅します。エラーの内容については、モニタに表示されます。なお、片方向インターフェースに設定されている場合は、エラーの内容についてはモニタに表示されないことがあります。

*ready*ランプ
印字状態を表わします。

点灯：	印字可能な状態です。
ゆっくり点滅：	印字中です。
消灯：	印字は停止中です。

*power*ランプ
電源のオン／オフ状態を表示します。ランプが点灯すると電源がオンの状態です。なお、電源ランプが消灯している状態でも、内部に必要な電源が多少供給されています。完全に電源を切るときは、電源コードをコンセントから抜きます。

インクカセットの取り扱い方

ここではインクカセットの種類・装着・交換方法について説明します。

インクカセットの種類を確認する

キモプレートe²に使用できるインクカセットは下記のインクカセットです。

キモプレートe²用インクカセット

参考　（インクカセットの装着位置について）

・装着するインクカセットホルダは5カ所のうちどこでもかまいません。

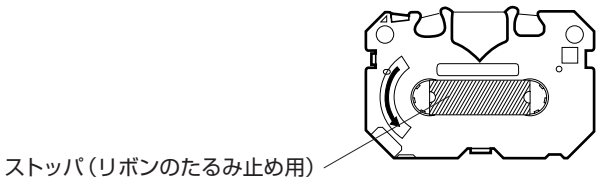
注意

・インクカセットをキャリッジに直接装着しないでください。故障や破損の原因となります。

・装着できるインクカセットは、最大9巻です。10巻装着すると印字できません。

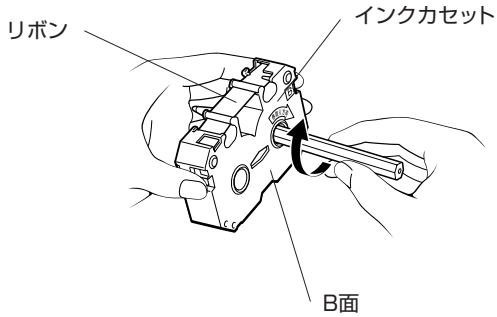
1　インクカセットのストッパを取り外す

インクカセットについているストッパを取り外します。



2　リボンのたるみをなくす

インクカセットのB面（型番が印字されている面）から、下図のように右側に鉛筆などを差し込んで、時計回り（巻取方向）に少しだけ回してリボンのたるみを取り除きます。

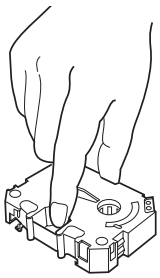


3 フロントカバーを開ける

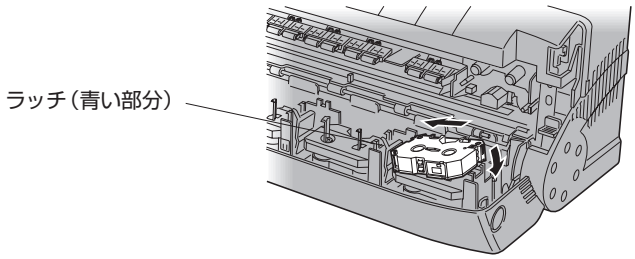
フロントカバーイジェクトボタンを押し、内部のロックが外れたら手を添えて静かに開けます。

4 1巻めのインクカセットをセットする

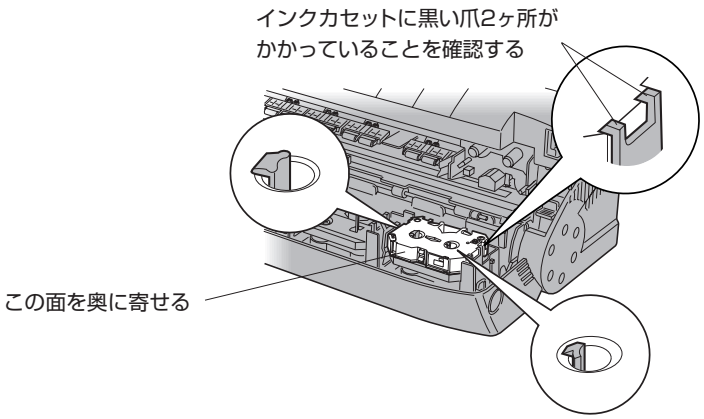
▼ インクカセットの中央部分を親指と人差し指でつかみ、インクカセットのB面（型番が印字されている面）を上側にしてセットする。



▼ インクカセットの左側面をインクカセットホルダの左端にあるラッチ（インクカセットを固定する青い部分）を押すように差し込み、インクカセットの右側部分を上から押し込むようにしてインクカセット全体をセットする。



▼ インクカセットがインクカセットホルダの白い爪、青い爪および黒い爪2ケ所にしっかりとかかっていること、リボンにたるみのないことを確認する。



注意

B面（型番が印字されている面）を上にセットしてください。B面を下向きにセットすると、インクカセットが逆装着と判断されます。

インクカセットを交換する

インクカセットが終了したときは次の手順でインクカセットを交換します。

注意

・インクカセットが終了するとモニタにメッセージが表示され、errorランプが点滅します。

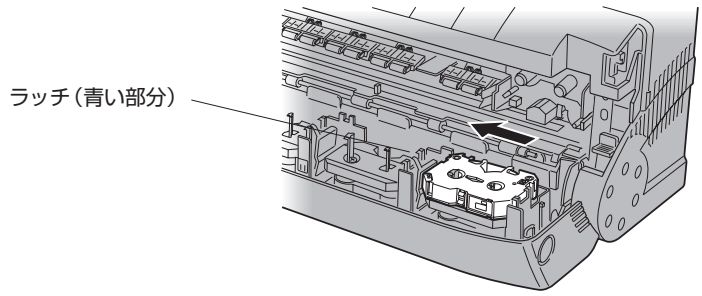
・終了したインクカセットは、取り外します。

1　フロントカバーを開ける

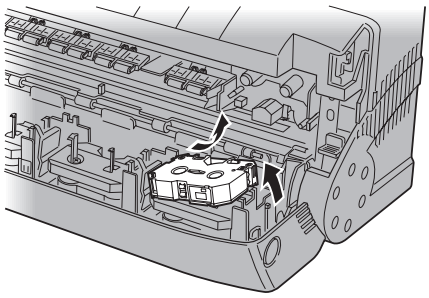
フロントカバーイジェクトボタンを押し、内部のロックが外れたら手を添えて静かに開けます。

2　交換するインクカセットを取り外す

▼ インクカセットの中央を親指と人差し指でつかみ、ホルダの左端にあるラッチを押すようにインクカセットを左に押しつける。



▼ インクカセットの右側部分を上に持ち上げるようにしてインクカセット全体を取り外す。



3　新しいインクカセットをセットする

前項「インクカセットを装着する」をお読みになり、インクカセットを装着します。

4　インクカセットのたるみを確認する

インクカセットホルダにセットされている、全てのインクカセットのたるみを確認します。たるみがある場合は、一度インクカセットをカセットホルダから取り外し、たるみを取り除きます。

注意

たるみがあるままフロントカバーを閉じると、インクカセットのリボンを損傷することがあります。

参考　（インクカセット残量表示について）

・Kimosetter 410では、インクカセットの自動残量検出機能が付いております。自動残量検出機能は、Kimosetter 410本体の電源コードの抜き差し時、および、フロントカバーの開閉時に毎回検出を行います。また、インクカセットの残量が20%になった時に、Kimosetter 410本体の電源コードの抜き差し、あるいは、フロントカバーの開閉を行うと、残量が20%のインクカセットは0%の表示に更新され、インクカセットが使用できなくなりますのでご注意ください。

・インクカセットを効率的にご使用していただくために、モニターのメッセージに「インクカセットが無くなりました」という表示が出るまでは、Kimosetter 410本体の電源コードの抜き差し、フロントカバーの開閉はできる限り避けてご使用していただくことをお奨めいたします。

用紙をセットする

ここでは用紙の種類の確認と用紙のセット方法について説明します。

用紙の種類を確認する

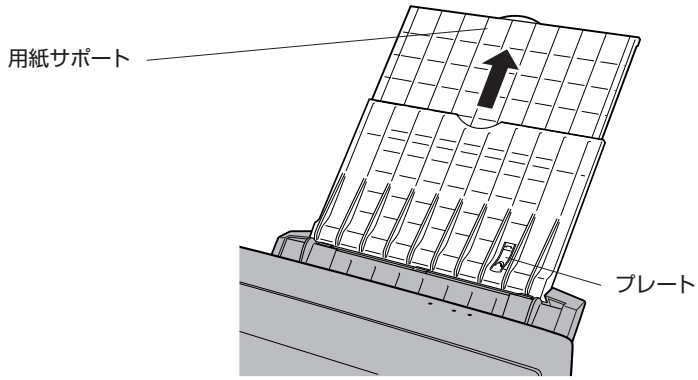
キモプレートe²で約10枚の用紙を連続給紙できます。

用紙の種類
キモプレートe²

キモプレートe²に印字するには

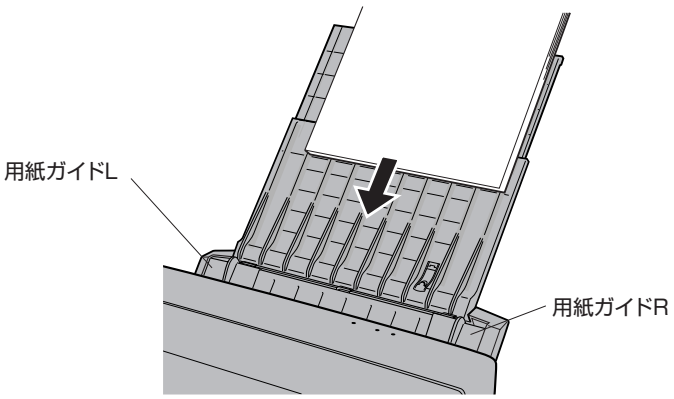
1　用紙サポートを引き出す

プレートが立っていないことを確認し、用紙サポートを引き出します。



2-1 用紙をセットする（340mm幅まで）

用紙ガイドRを内側にセットし、用紙ガイドLを用紙サイズよりも少し広げ、右端に揃うように用紙の束を差し込みます。このとき印字面を上にします。印字面は、比較して光沢のない面です。



参考

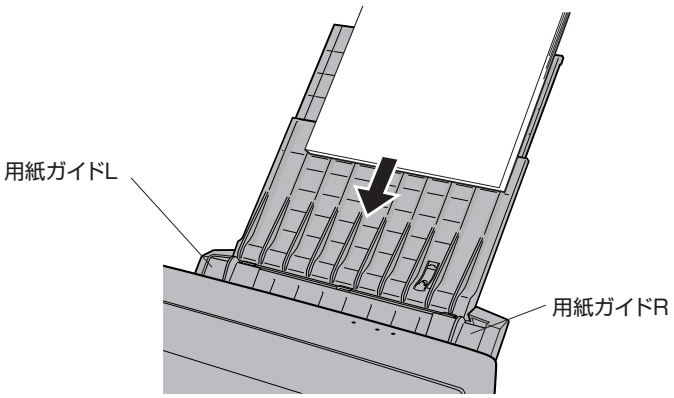
・用紙は一度さばいてからセットしてください。紙と紙が密着した状態でセットすると複数枚送りの原因となることがあります。

・同じサイズの紙をセットしてください。異なったサイズの用紙をセットすると、複数枚送りの原因となることがあります。

・用紙はそりやゆがみのないようにしてください。給紙不良の原因となることがあります。

2-2 用紙をセットする（340mmを超える場合）

用紙ガイドRを外側にセットし、用紙ガイドLを用紙サイズよりも少し広げ、右端に揃うように用紙の束を差し込みます。このとき印字面を上にします。印字面は、比較して光沢のない面です。



参考

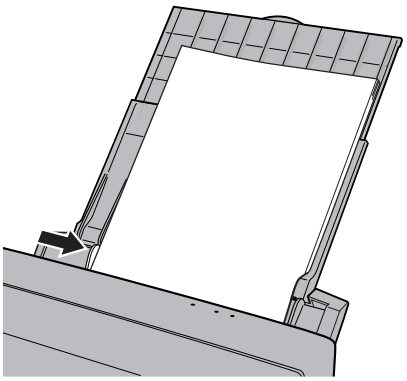
・用紙は一度さばいてからセットしてください。紙と紙が密着した状態でセットすると複数枚送りの原因となることがあります。

・同じサイズの紙をセットしてください。異なったサイズの用紙をセットすると、複数枚送りの原因となることがあります。

・用紙はそりやゆがみのないようにしてください。給紙不良の原因となることがあります。

3　用紙ガイドを用紙サイズに合わせる

用紙の幅に合わせるように用紙ガイドを動かします。用紙ガイドを押しすぎて用紙が折れ曲がったり、用紙ガイドと用紙の間にすき間を空け過ぎないように位置を調整します。



4　ダストカバーをセットする

本章「プリンタの準備する」の **7** を参照して、ダストカバーをセットします。ダストカバーは、プリンタにセットした用紙やプリンタ内部へのホコリ付着を防止します。

電源のオンとオフの手順

プリンタとコンピュータの電源は次の手順でオン／オフを行います。

電源を入れるとき

1 プリンタの電源を入れる

本プリンタのpowerボタンを押します。powerランプとreadyランプが点灯します。

2 コンピュータを起動する

電源を切るとき

1 コンピュータを終了する

2 プリンタの電源を切る

本プリンタのpowerボタンを押します。すべてのランプが消灯します。

第2章
Windows操作ガイド

WindowsユーザーのRIPセットアップから、RIP機能とプリント方法を説明します。

セットアップ

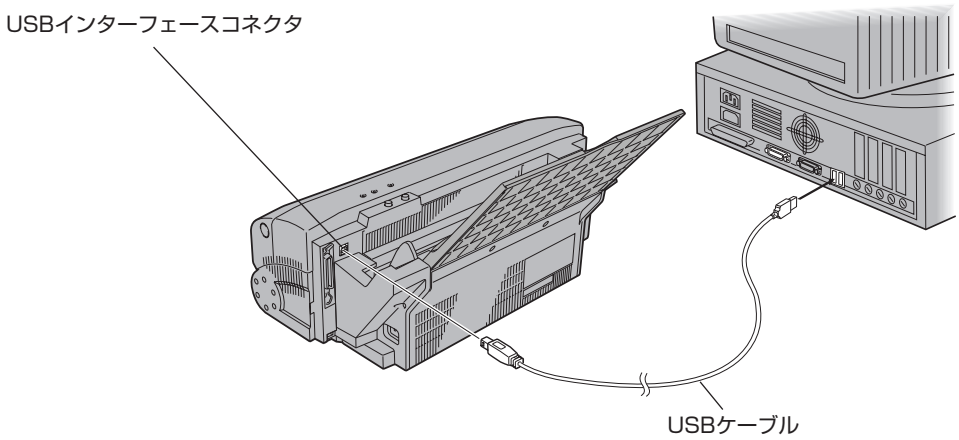
必要システム構成

KIMOTO Kimosetter 410 RIP を使用するには、下記のシステムが必要です。

	推奨システム
プロセッサ	Pentium II 400MHz 以上
空きメモリ容量	256MB以上
ディスクの空き容量（インストール時）	100MB
ディスクの空き容量（作業時）	2GB以上（データ保存用）
OS	Windows 2000 /XPの最新バージョン
ビデオシステム	1024 × 768 スクリーン解像度、 16 ビットカラー
その他周辺機器	CD-ROMドライブ
インターフェース	USB

Kimosetter 410とコンピュータの接続

第1章に記載されている手順で、プリンタとコンピュータを接続します。



プリンタの接続（Plug & Play）

プリンタの接続（Plug & Play）及び、プログラムのインストールを行うときは必ず管理者権限をもったユーザーでログインしてください。

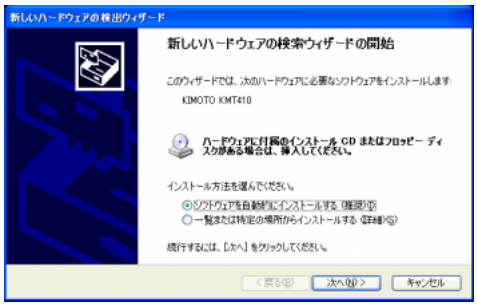
Windows XPの場合

1

インストール開始前に、ウィルス検出ソフトウェアがすべて無効になっていることを確認し、Kimosetter 410プリンタの電源をオンにする。

2

Windows上にて、次のようなUSBプリンタのプラグ＆プレイ画面が表示されたあと、CD-ROMドライブにRIPのインストールCDを挿入する。[ソフトウェアを自動的にインストール（推奨）]が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックする。

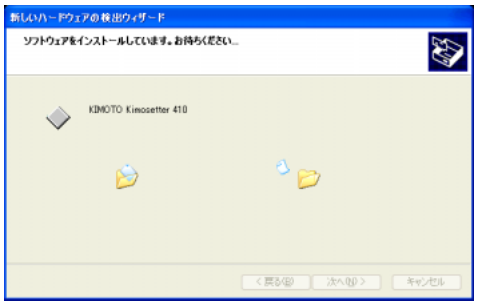


3

USBポート接続されたKimosetter 410プリンタのベンダー/プロダクトIDと一致する情報ファイル（.inf）をRIPのインストールCD内より自動で検索する。

4

次のような画面が表示され、プリンタドライバのインストールが実行される。



5

プリンタドライバのインストールが完了すると、次のような画面が表示され、[完了]ボタンをクリックする。

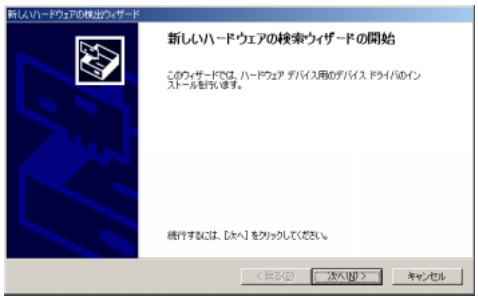
Windows 2000の場合

1

インストール開始前に、ウィルス検出ソフトウェアがすべて無効になっていることを確認し、Kimosetter 410プリンタの電源をオンにする。

2

Windows上にて、次のようなUSBプリンタのプラグ＆プレイ画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックする。

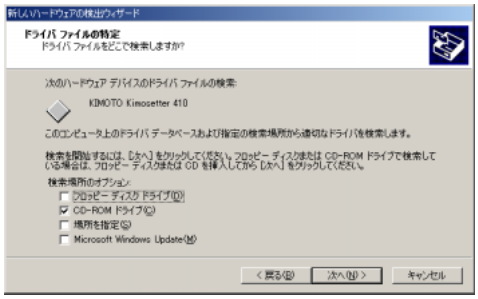


3

[デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)(S)]が選択されていることを確認して[次へ]ボタンをクリックする。

4

CD-ROMに[Kimosetter 410 RIP]CDを挿入する。[CD-ROMドライブ(C)]のみにチェックし、[次へ]ボタンをクリックする。

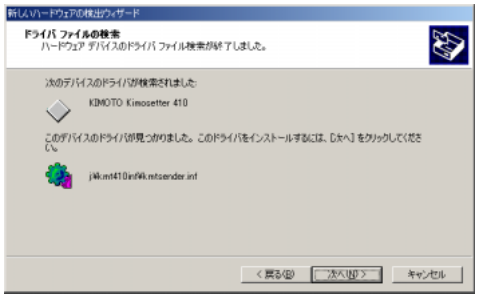


注意

CD-ROMの自動起動が有効な場合、ここでCD Setupの画面が表示されますが、上記ウィザードの画面に戻り[次へ]をクリックしてください。

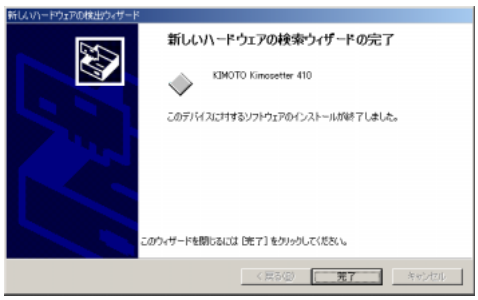
5

次のような画面が表示されたら[次へ]ボタンをクリックする。



6

プリンタドライバのインストールが完了すると、次のような画面が表示され、[完了]ボタンをクリックする。



プログラムのインストール

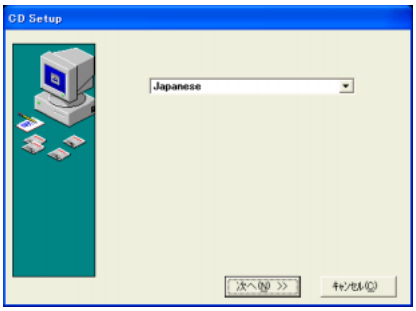
Kimosetter 410に同梱のCD-ROMからインストールを行います。

1

プリンタドライバのインストールが完了したら、CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてインストーラを起動します。
CD-ROMの自動起動が有効な場合はすでにCD Setupの画面が表示されています。

2　CD Setup 画面が表示される

インストーラの表示言語を[Japanese]に指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

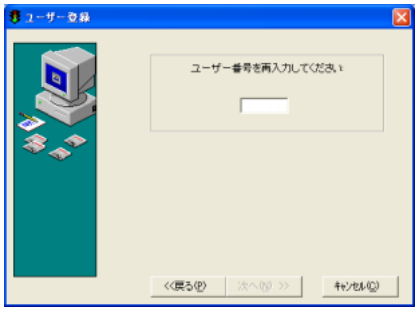


3-1　ユーザー登録

ユーザーID（6ケタの数字）を入力し、[次へ]ボタンをクリックする。
ユーザーIDは、CDケースに貼ってあるシールの6ケタの数字です。
ユーザーIDの入力は、プログラムのインストールの時、一度だけ行います。

3-2 ユーザーIDの再入力

確認のため、**3-1** で入力したユーザーIDと同じ6ケタの数字を再入力し、[次へ]ボタンをクリックする。

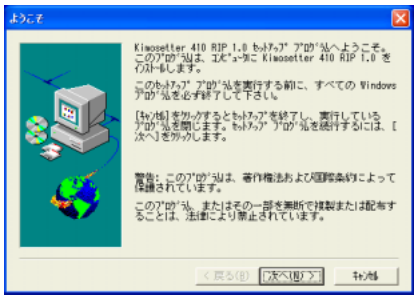


4 RIPのサポート言語を指定する

[インストールオプション]ダイアログが表示されるので、RIPのサポート言語として[言語]ポップアップメニューより[日本語(Japanese)]になっていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

5 [ようこそ]画面が表示される

[ようこそ]ダイアログが表示されるので、内容を確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

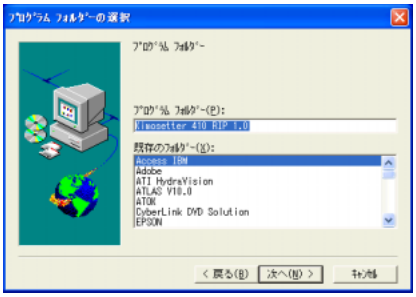


6　インストールするコンポーネントを指定する

[コンポーネントの選択]ダイアログが表示されます。デフォルトとして表示される[標準]を選択して[次へ]ボタンをクリックします。

7　インストールするプログラムフォルダを指定する

[プログラムフォルダーの選択]ダイアログが表示されます。Kimosetter 410 RIP がインストールされるプログラムグループを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



8　インストールの場所を指定する

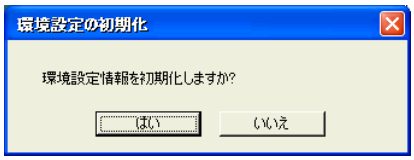
[インストール先の選択]ダイアログが表示されます。インストール先ディレクトリをデフォルトディレクトリから変更する場合は、[参照]ボタンをクリックして変更します。ディレクトリを指定後、[次へ]ボタンをクリックします。

注意

プログラムのインストール先のドライブには十分な空き容量（2GB以上）が確保されているドライブを選択することをお勧めします。

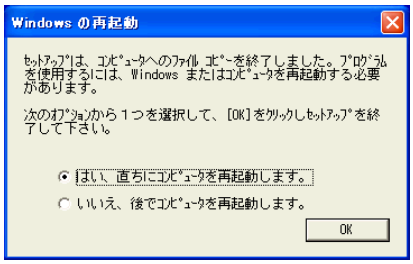
9 環境設定情報を初期化する

環境設定情報を初期化するメッセージが表示されるので[はい]ボタンをクリックします。



10 インストールを完了する

コンピュータの再起動を確認する画面が表示されます。[はい、直ちにコンピュータを再起動します]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

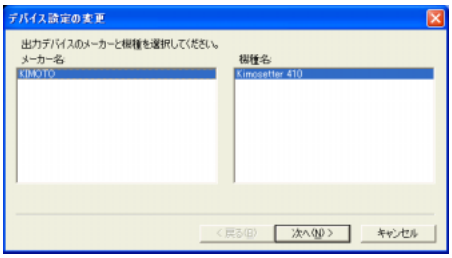


プリンタのセットアップ

引き続き、プリンタのセットアップを行います。

11　デバイス設定の追加を確認する

[デバイス設定の変更]ダイアログで、接続しているプリンタの機種を[機種名]より選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

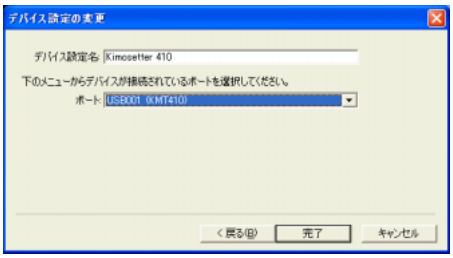


12　ポートを選択する

現在プリンタを接続しているポート(USBポート)を選択して、[完了]ボタンをクリックします。

Kimosetter 410を使用

[ポート]から”USBxxx(KMT410)”(xxxは、USBポートID)を選択します。



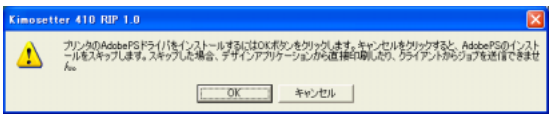
注意

[デバイス設定の変更]ダイアログで表示される[デバイス設定名]は、標準設定のままで使用してください。プリンタが接続されていない時またはプリンタの電源がオフの時は、USBxxx(KMT410)が表示されません。その場合は任意のポート名(例えば、”FILE”)を選択して[デバイス設定の変更]を完了させてください。

その後、RIPのプリントモニタから[デバイス設定のプロパティ]ダイアログを開く、[全般]タブにて改めてUSBポートを選択し直してください。

13　セットアップを完了する

[OK]ボタンをクリックします。



引き続きPostScriptプリンタドライバが自動的にインストールされます。

プリンタを使用する前に

Kimosetter 410 RIP を使用する前に、PostScriptプリンタドライバからのKimosetter 410 RIP が利用できるように設定を変更します。

1 プリンタフォルダを開く

タスクバーから[スタート]>[プリンタとFAX](Windows 2000:[スタート]>[設定]>[プリンタ])を選択してプリンタフォルダを開きます。

2 プロパティを開く

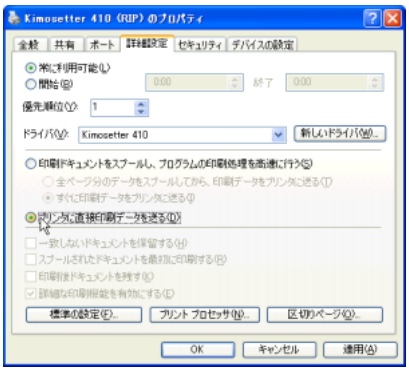
プリンタ名[Kimosetter 410 (RIP)]のアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、ポップアップメニュー[プロパティ]を実行します。

3 詳細設定タブを開く

プリンタのプロパティ画面で[詳細設定]タブを開きます。

4 プリンタスプールを指定する

[プリンタに直接印刷データを送る]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



5 設定を終了する

プリンタのプロパティ画面で、[OK]ボタンをクリックします。

RIPの削除

RIPを削除する場合は、以下の手順で行います。

1　プリントモニタを閉じる

RIPが起動している場合は、プリントモニタを閉じます。マウスの右ボタンで、タスクバー右端のタスクトレイより[Kimosetter 410 RIP]アイコンをクリックして、ポップアップメニューを表示します。[終了]を選択して、アプリケーションを終了します。

2　プリンタアイコンを削除する

タスクバーから[スタート] > [設定] > [プリンタ]（Windows 2000：[スタート] > [設定] > [プリンタ]）を選択して、プリンタフォルダを開きます。Kimosetter 410 RIPでインストールされたプリンタアイコンを、マウスの右ボタンをクリックして、ポップアップメニューの[削除]を実行します。

3　[コントロールパネル]を表示する

タスクバーから[スタート] > [設定] > [コントロールパネル]を実行します。

4　[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする

コントロールパネルで、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

5　Kimosetter 410 RIPを削除する

Kimosetter 410 RIPをリストから選択して、[変更/削除]ボタンをクリックします。

6　関連ファイルを削除する

表示されるリストからHot Folder 3を選択して、[変更/削除]ボタンをクリックします。削除が完了したら[アプリケーションの追加と削除]の[閉じる]ボタンを押します。

7　フォルダを削除する

Kimosetter 410 RIPがインストールされているフォルダを削除します。デフォルトではC:¥Program Files¥Kimosetter 410 RIPフォルダへインストールされています。

8　ごみ箱を空にする

ごみ箱を空にします。

RIPの機能

ここではRIPの機能について説明します。

プリントモニタ

RIPを起動（[Kimosetter 410 RIP]アイコンをダブルクリック）するとプリントモニタが表示されます。プリントモニタは、プリントするジョブのキュー管理および、ジョブをプリントします。

参考　プリントモニタ

Kimosetter 410 RIPは、コンピュータの起動時に自動的に起動されます。ただし、印刷ジョブを管理するプリンタモニタを表示するためには、タスクバー右端のタスクトレイよりKimosetter 410 RIPアイコンをダブルクリックする必要があります。

各ボタンの機能

ジョブ追加

プリントモニタにジョブを追加します。対応しているファイルフォーマットはJPEG，TIFF，PDF，PostScript，EPS，BMPです。追加されたジョブの[ステータス]は[保留中]となります。なお、PostScriptファイルの場合は、AdobePSプリンタドライバの[プリンタ固有機能]-[スプール後の処理]の設定に従って、プリントを行います。[保留中]のジョブファイルのプリントを行うには、ジョブファイルを選択し（ShiftキーまたはCtrlキー＋ジョブクリックで複数選択可）、[プリント]ボタンをクリックします。RIP処理が開始され、完了するとプリントが開始されます。

参考　RIP処理

RIPとはRaster Image Processorの略で、出力するデータをメディア上に表現するために、ドットの配列に変換する処理のことです。RIP処理は複雑な処理で、処理時間はコンピュータの処理能力、及びファイルサイズに大きく影響されます。

また、ジョブをマウスの右ボタンでクリックすると、下記のメニューが表示されます。

[プリント] ジョブのプリントを行います。
[削除]　ジョブの削除を行います。
[中断]　ジョブのプリントを中止します。

削除

ジョブを削除します。プリントモニタの画面上で、削除するジョブをマウスクリックで選択または、複数ジョブをShiftキーまたはCtrlキーを押しながらマウスクリックで選択し、[削除]ボタンをク0リックします。

プリント

ジョブをプリントします。プリントモニタの画面上で、プリントするジョブをマウスクリックで選択または、複数ジョブをShiftキーまたはCtrlキーを押しながらマウスクリックで選択し、[プリント]ボタンをクリックします。

中断

ジョブのプリントを中断します。プリントモニタの画面上で、中断するジョブをマウスクリックで選択または、複数ジョブをShiftキーまたはCtrlキーを押しながらマウスクリックで選択し、[中断]ボタンをクリックしてプリントを中断することができます。

各種情報の表示

プリントするジョブは、受信した順番に登録されます。プリントモニタでは、各ジョブに関して次の情報を表示します。

[ジョブ名]　ジョブのタイトル名を表示します。ジョブにタイトル名が含まれていない場合、ファイル名が表示されます。

[ステータス]　[保留中], [処理中], [プリント中]など、ジョブの処理状況を表示します。

[コピー数]　AdobePSプリンタドライバで設定したコピー数を表示します。

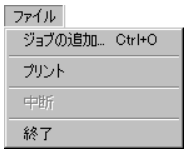
[ファイルの種類]　ジョブファイルの種類を表示します。

[寸法]　ジョブファイルに記述されたプリントイメージの大きさを表示します。RIPはここで表示される寸法のプリントイメージを生成するため、メディアサイズにはこれ以上の大きさの印刷可能領域を持つメディアを設定してください。通常、アプリケーションからプリントする場合は、AdobePSプリンタドライバで指定した用紙サイズを設定します。JPEG、TIFF、EPS、BMPファイルをプリントする場合は、ここで表示される寸法に上下左右の余白を追加した(又はそれ以上)メディアサイズを設定してください。メディアサイズと上下左右の余白の詳細は"付録C Kimosetter 410の印刷可能領域"をご覧ください。

メニュー

RIPを起動したときのメニューについて説明します。

[ファイル]



[ジョブの追加]　[ジョブ追加]ボタンと同じ働きをします。

[プリント]　[プリント]ボタンと同じ働きをします。

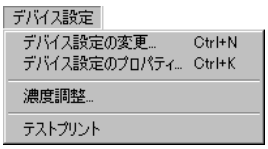
[中断]　[中断]ボタンと同じ働きをします。

[終了]　RIPを終了します。プログラムを終了し、プリンタモニタ画面を閉じます。

［編集］

［全て選択］　プリントモニタに追加されたジョブを全て選択します。
［削除］　［削除］ボタンと同じ働きをします。
［環境設定］　［環境設定］の項を参照してください。

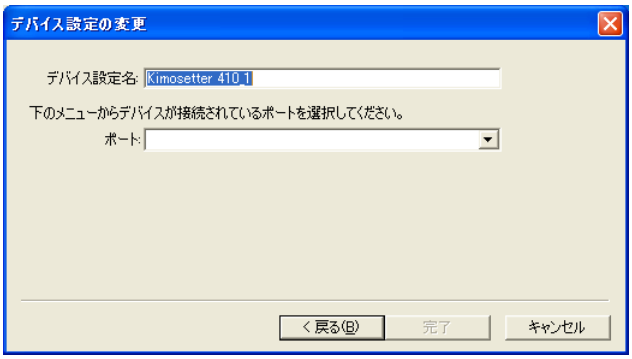
［デバイス設定］



［デバイス設定の変更］　プリントモニタで管理するプリンタの機種を変更します。なお、デバイス設定の変更を行うと、デバイス設定のプロパティで設定した項目が、初期設定になります。

注意

RIPプログラムの[デバイス設定]メニューから[デバイス設定の変更]を選択してプリンタ機種の切り替えを行う際、機種名を選択後、ポートを選択するダイアログにおいて以下の様に“デバイス設定名”に“_1”が付いた名前が表示された場合、既に同一機種での設定が完了しております。

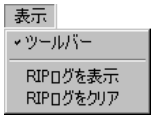


このような状態でデバイス設定の変更を行ってしまうと、新規設定したプリンタからプリントアウトすることができなくなります。[デバイス設定の変更]ダイアログを閉じて処理を中断してください。

※アプリケーションからプリントする際にプリントアウトできない旨のエラーダイアログが表示されます。
万が一、この様な状況でプリントアウトができなくなった場合は、一旦、RIPプログラムを終了させ、初期化手順を実行してください。初期化手順は、第5章「修理に出す前に」の「印字しない／印字が止まる」の項を参照してください。

［デバイス設定のプロパティ］［デバイス設定のプロパティ］の項を参照してください。
［濃度調整］　［濃度カーブ調整］の項を参照してください。
［テストプリント］　テストプリントを行います。テストプリントのデータはA4サイズです。

［表示］

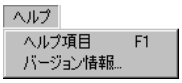


［**ツールバー**］　　ツールバーの表示、非表示の切り替えを行います。

［**RIPログを表示**］　　RIP処理の内部的な進行状況、エラー情報を表示します。

［**RIPログをクリア**］　　RIPログをクリアします。

［ヘルプ］



［**ヘルプ項目**］　ユーザーズガイドと同じ内容をPDFで表示します。

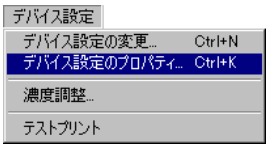
なおPDFを表示するためには、Adobe Acrobat Readerが必要となります。

Adobe Acrobat Readerは［Kimosetter 410 RIP CD］CD-ROMの［Kimosetter 410 RIP¥Util¥Acrobat Reader¥Japanese］に入っている［ar500jpn.exe］をクリックしてインストールします。

［**バージョン情報**］バージョン情報を表示します。

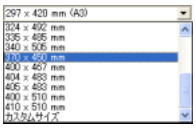
デバイス設定のプロパティ

デバイス設定のプロパティでは、プリンタの各種設定を行います。デバイス設定のプロパティを表示するには、メニューバーの[デバイス設定]-[デバイス設定のプロパティ]を実行します。



全般タブ

プリントモニタで管理しているプリンタ機種の確認とメディアサイズを設定します。メディアサイズから[その他]を選択すると、カスタムサイズを設定することができます。ただし最小値は横(幅)9.80×縦(高さ)9.80cm、最大値は横(幅)33.02×縦(高さ)51.00cm以内に設定してください。設定後は、[適用]ボタンをクリックします。



注意

・プリントする実際のメディアには、ここで設定したメディアサイズと同じかそれ以上のサイズのメディアを使用してください。

・用紙幅、用紙長が同サイズ(例100×100)では、正常に動作しません。

プリントタブ

[メディア], [品質], [濃度調整]を設定することができます。

[メディア]　[キモプレートe²]

[品質]　4つの線数(100, 85, 60lpi, アプリケーションの設定)を指定することができます。

注意

[アプリケーションの設定] を選択した場合は、RIP内のディザではなく、アプリケーション側で指定したディザ（線数, スクリーン角）が使用されます。このオプションを選択した場合は、ユーザーが意図した品質と異なる結果が生じることがありますので、ユーザーの責任にてご使用ください。

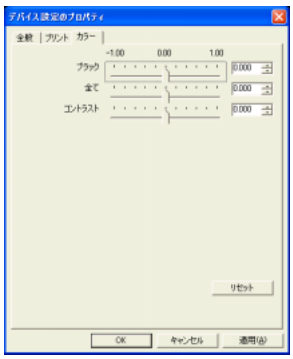
[スクリーン]　[品質]で [アプリケーションの設定]を選択したときに設定できるようになります。[線数], [角度], [ドット形状], を設定することができます。

[濃度調整]　濃度調整を行ったプロファイル(濃度カーブ)を選択できます。濃度調整については[濃度カーブ調整]の項を参照してください。

[ドライバオプション]　[ドライバオプション]の項を参照してください。

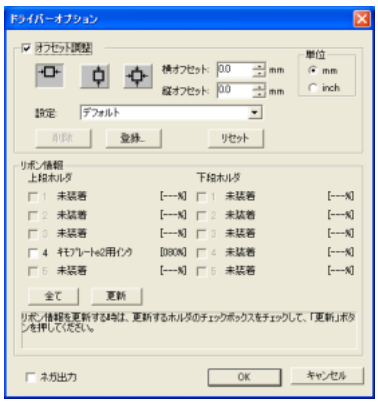
色調整タブ

濃度のガンマ調整([濃度]と[全て]は同じ働きをしますので、調整を行う場合はどちらかのスライダーを調整します。), コントラスト調整をすることができます。



ドライバオプション

現在接続しているプリンタのリボン装着状態の確認および、メディアにプリントされるイメージのオフセット調整を行います。



オフセット調整

プリントイメージをプリントする際に、オフセット調整を行う場合は、チェックボックスをチェックします。

左右中央合わせ

RIPで設定したメディアサイズの上隅を基準にして左右方向が中央になるようにプリントイメージを配置する場合は、ボタンをクリックします。

上下中央合わせ

RIPで設定したメディアサイズの右隅を基準にして上下方向が中央になるようにプリントイメージを配置する場合は、ボタンをクリックします。

中央合わせ

RIPで設定したメディアサイズの中央とプリントイメージの中央が重なるよう配置する場合は、ボタンをクリックします。

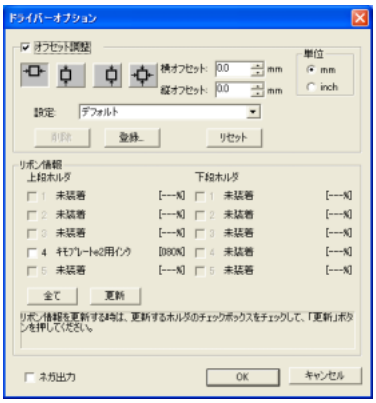
［横オフセット］　上記ボタンで配置されたプリントイメージを横方向に調整する値を入力します。
横方向に調整できる値は、mm単位で-150mmから+150mmの範囲です。

［縦オフセット］　上記ボタンで配置されたプリントイメージを縦方向に調整する値を入力します。
縦方向に調整できる値は、mm単位で-250mmから+250mmの範囲です。

参考

・オフセット調整の詳細については、「付録A オフセット調整の詳細説明」を参照ください。

・拡張ドライバオプションダイアログ：Shift-key+［ドライバオプション］ボタン
Shift-keyを押しながら［ドライバオプション］ボタンをクリックすると、［上下中央合わせ（左寄せ）］ボタンが追加された拡張ダイアログが表示されます。



上下中央合わせ，左寄せ

RIPで設定した左隅を基準にして上下方向が中央になるようにプリントイメージを配置します。
左隅基準とは、右用紙ガイドが標準位置にある場合の左端より3.4mmの位置です。右用紙ガイドを広げた場合でも、この位置は変わりません。

この機能は、横長の印刷イメージ（ランドスケープ）を縦長の用紙に回転して出力する場合に、「反時計回りに90°」で回転できるアプリケーションを使う場合に有効です。

［単位］　横／縦オフセットの入力値の単位を［mm］あるいは、［インチ］に切り替えます。

［設定］　登録されたオフセット調整の設定内容がリスト表示されます。リストより選択することで、登録した設定内容を使用することができます。

［削除］　登録されたオフセット調整の設定内容を設定リストから削除します。

［登録］　設定したオフセット調整の内容を名前を付けて登録します。登録できる名前の文字数は64文字以内です。また、オフセット調整の内容は最大10個まで登録できます。

［リセット］　［オフセット調整］をデフォルト（左右中央合わせ，［横オフセット］および［縦オフセット］の値を0）にします。

リボン情報

［更新］　ボタンをクリックすると、指定された（チェックボックスをチェックした）インクカセット情報を更新します。

［全て］　ボタンをクリックすると、指定できる全てのインクカセットを指定（チェックボックスをチェック）します。

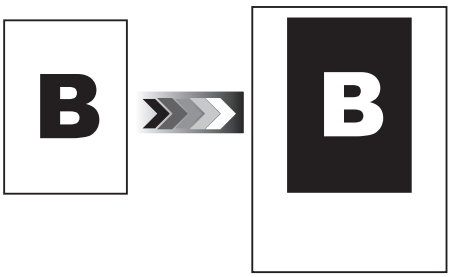
ネガ出力

チェックボックスをチェックすると、RIPで設定したメディアサイズの印刷可能領域全体をパターン反転プリント（ネガ出力）します。

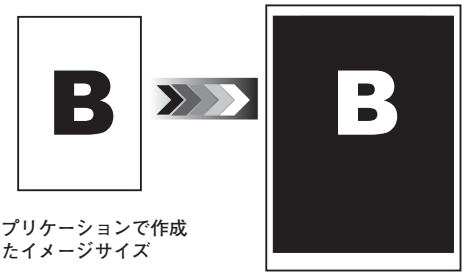
注意

この［ネガ出力］機能を使用してパターン反転プリントする場合には、「プリントする」で説明されているパターン反転プリントの設定は行わないでください。

なお、この［ネガ出力］機能を使用したパターン反転プリントと「第3章　プリントする」で説明している通常のパターン反転プリントとの違いは以下の通りです。



通常の反転：
AdobePS、アプリケーションで反転を指定した場合、アプリケーションで作成したイメージサイズの領域内での反転が行われる。
※イメージサイズの外側は反転プリントはされない。



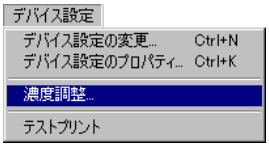
アプリケーションで作成したイメージサイズ

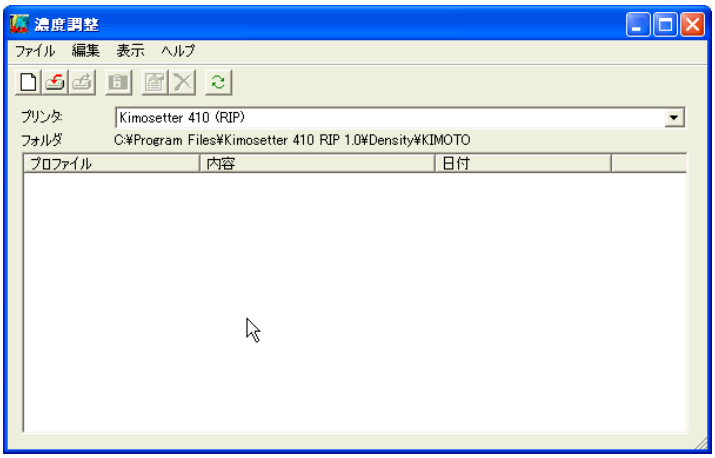
[全般]タブで指定された出力メディアサイズ

[ドライバオプション]での反転：
プリントに用いられるメディアの印刷可能領域全域での反転が行われる。

濃度カーブ調整

濃度カーブを調整することにより、プリンタの個体差、または損耗によるバラツキをある程度補正することができます。また、濃度カーブを調整することにより、プリンタのリニア化を行い、グラデーションをなるべくスムーズに出力したい場合などに威力を発揮します。濃度カーブの調整を行うには、メニューから[デバイス設定]－[濃度調整]を選択します。





各ボタンの機能

新規プロファイル

新規にプロファイル（濃度カーブ）を作成します。作成したプロファイル（濃度カーブ）は、[デバイス設定のプロパティ]の[プリント]タブの[濃度調整]に追加されます。

インポートプロファイル

プロファイル（濃度カーブ）を読み込みます。[インポートプロファイル]ボタンをクリックすると、ファイルを選択する画面が表示され、プロファイルを読み込むことができます。

エクスポートプロファイル

プロファイル（濃度カーブ）を別のファイルへ書き出します。プロファイルを選択して、[エクスポートプロファイル]ボタンをクリックすると、フォルダが開き保存します。

プロファイル編集

プロファイル（濃度カーブ）を編集します。プロファイルを選択して、[プロファイル編集]ボタンをクリックすると、[濃度カーブ調整]画面が表示され、濃度カーブを編集することができます。

プロファイル削除

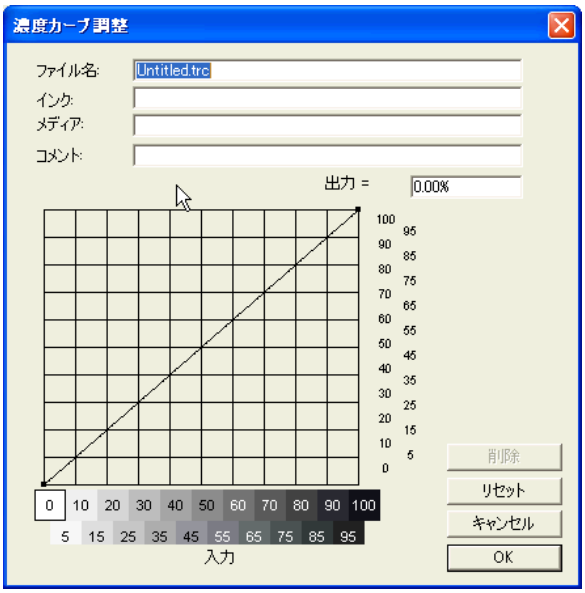
選択した濃度ファイルを削除します。プロファイルを選択して、[プロファイル削除]ボタンをクリックすると、削除します。

リスト更新

濃度カーブ調整ファイルのリスト更新をすることができます。

濃度カーブの作成・編集

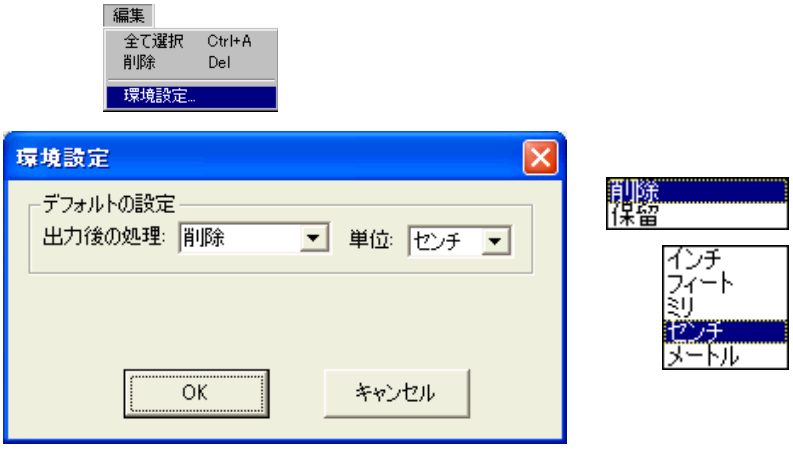
新規作成の場合は[新規プロファイル]ボタンをクリックし、編集する場合は濃度調整ダイアログからプロファイルを選択して[プロファイル編集]ボタンをクリックします。



水平方向の軸の入力値に対して、垂直方向の軸は出力される濃度を表します。デフォルトを使用した場合、濃度カーブは直線であり、濃度50%の入力データは、濃度50%で出力されます。編集するにはマウスでカーブの点を新しい位置までドラッグします。編集が終了したら、ファイル名を入力して[OK]ボタンをクリックします。

環境設定

プリント後のファイルの処理、プリントモニタで表示する単位を設定します。メニューから[編集]-[環境設定]を選択します。



[出力後の処理]　プリント後のジョブの処理を設定します。[削除], [保留]から選択できます。

[単位]　[全般]タブでメディアサイズを[その他]にした場合の表示、[プリントモニタ]の[寸法]の表示単位を選択できます。ミリ, センチ, メートル, インチ, フィートから選択できます。

プリントする

プリントする場合は、データ作成したアプリケーションを起動せずにプリントする場合と、データ作成したアプリケーションを起動してプリントする2種類の方法があります。

データ作成したアプリケーションを起動せずにプリントする方法

以下のファイルフォーマットのデータは、データ作成したアプリケーションを起動せずにプリントすることができます。**対応フォーマット：**JPEG，TIFF，PDF，PostScript，EPS，BMP

注意

・PDFのファイル形式はVer1.2,TIFFのファイル形式はVer5.0まで対応しています。うまくプリントしない場合は、作成したアプリケーションを起動してプリントを行います。

・CMYKカラーモードでファイルされたJPEGは、アプリケーションで保存した場合の大きさよりも大きくプリントされることがあります。プリントサイズは下記のとおりです。

横：横方向の画素数 / 72［インチ］

縦：縦方向の画素数 / 72［インチ］

・JPEG，TIFF，EPS，BMPはデータにページ情報が含まれないため、デフォルトではメディアの中央上に寄せられた状態でプリントされます。

・JPEG，TIFF，EPS，BMPはプリントモニタの［寸法］に表示される値よりも大きな用紙をセットしてください。

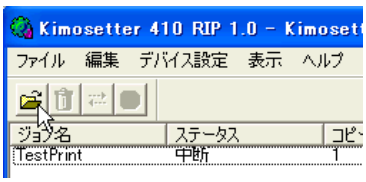
1 RIPを起動する

［Kimosetter 410 RIP］アイコンをダブルクリックします。

2 RIPの設定を確認する

各タブの設定を確認します。
［全般］タブ：［メディアサイズ］
［プリント］タブ：［品質］

3 プリントモニタから［ジョブの追加］ボタンをクリックする



4　プリントするファイルを選択する

プリントするファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

5　プリントモニタから[プリント]ボタンをクリックする

PostScriptファイル以外のジョブが追加された場合は、[ステータス]は[保留中]となります。なお、PostScriptファイルの場合は、AdobePSプリンタドライバの[プリンタ固有機能]-[スプール後の処理]の設定に従って、プリントを行います。プリントを行うには、ジョブファイル(複数可能)を選択し、[プリント]ボタンをクリックします。RIP処理が開始され、完了するとプリントが開始されます。

参考

ジョブの追加は、プリントするファイルをプリントモニタの画面に、直接ドラッグ&ドロップを行うことによってもできます。

データ作成したアプリケーションを起動してプリントする方法

1 任意のアプリケーションで、データを作成する

2 RIPを起動する

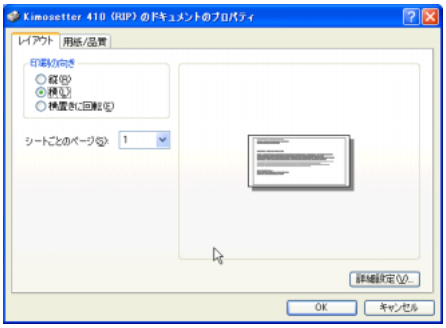
［Kimosetter 410 RIP］アイコンをダブルクリックします。

3 RIPの設定を確認する

各タブの設定を確認します。
［全般］タブ：［メディアサイズ］
［プリント］タブ：［品質］

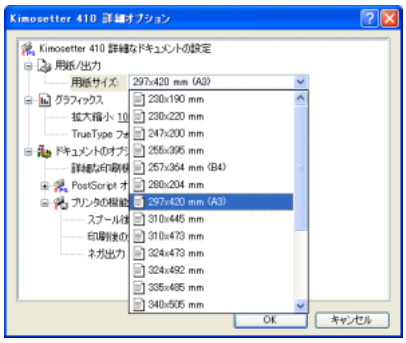
4 設定ダイアログを開く

［ファイル］メニューの［印刷...］を選択し、［印刷］ダイアログで［プロパティ］ボタンをクリックします。［レイアウト］タブを開き、［詳細設定］ボタンをクリックします。



5 オプションを指定する

使用する用紙サイズや方向を設定します。



注意

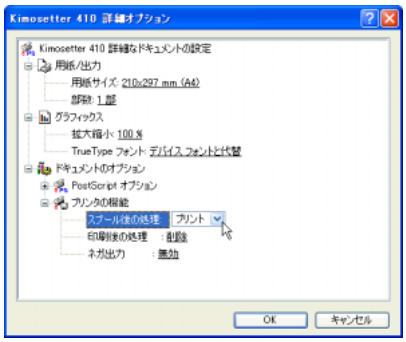
パターン反転プリント（ネガ出力）をしたい場合には、以下の設定をしてプリントを行ってください。

PostScriptプリンタドライバの［詳細オプション］−［PostScriptオプション］の［白黒反転印刷］を［はい］に設定してプリントを行ってください。

［白黒反転印刷］を［はい］に設定しても反転プリントされない場合には、代わりに［詳細設定］タブー［プリンタの機能］項目の［ネガ出力］を［有効］に設定してプリントを行ってください。

ここで設定されるパターン反転プリント（ネガ出力）は、AdobePSプリンタドライバで設定された”用紙サイズ”の範囲でパターンの反転が行われます。RIPの［全般］タブで設定された”メディアサイズ”がこの”用紙サイズ”より大きい場合、”用紙サイズ”の外側のエリアはパターン反転されずプリントされます。”メディアサイズ”全体にわたってパターン反転を行いたい場合は、ここでの設定を行わず、「第2章　RIPの機能」の［ドライバオプション］で説明されている［ネガ出力］機能を使用してください。

6　［プリンタの機能］を設定する



［スプール後の処理］　プリントモニタにジョブが追加された後の処理を設定します。
［保留］に設定すると、RIP処理を行いません。
［プリント］に設定するとRIP処理後、自動的にプリントを行います。

［プリント後の処理］　プリント後のジョブの処理を設定します。
［保留］と［削除］を選択できます。

［ネガ出力］　［無効］と［有効］を選択できます。［ネガティブイメージ印刷］がプリントに反映しない場合に［有効］にすると、ネガ（白黒反転）でプリントします。

7　印字を開始する

印刷ダイアログから［OK］ボタンをクリックして、プリントを開始します。

PageMaker 7.0Jからプリントする方法

PageMaker 7.0Jでプリントを行う場合は、次の手順で行います。

注意

PageMaker7.0Jでプリントを実行する前に、プリンタのPPD ファイルを<アプリケーションフォルダ>¥RSRC¥JAPANESE¥PPD4フォルダーへコピーしてください。

PPD ファイルは、Kimosetter 410 RIP CD の[PrinterDescriptions¥Japanese]フォルダに格納されています。

1 PageMaker 7.0Jで、データを作成する

2 RIPを起動する

[Kimosetter 410 RIP]アイコンをダブルクリックします。

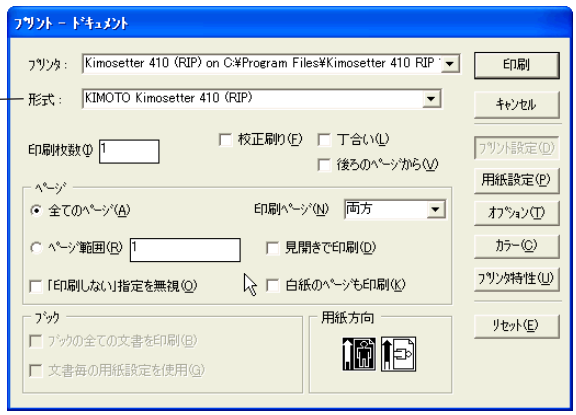
3 RIPの設定を確認する

各タブの設定を確認します。
[全般]タブ：[メディアサイズ]
[プリント]タブ：[品質]

4 [ファイル]-[プリント]を選択する

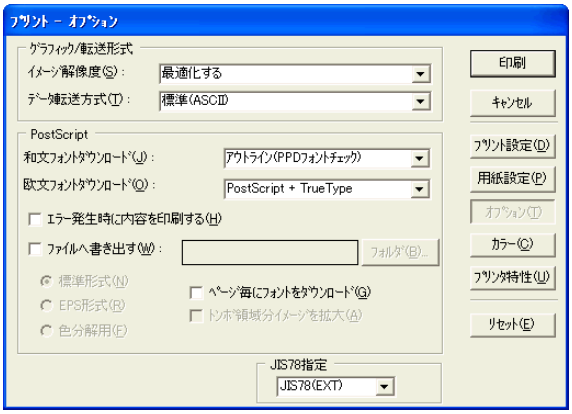
PageMaker 7.0Jの[ファイル]-[プリント]を選択し、[プリントードキュメント]ダイアログを表示させます。

形式がKIMOTO Kimosetter 410 (RIP)になっていることを確認する



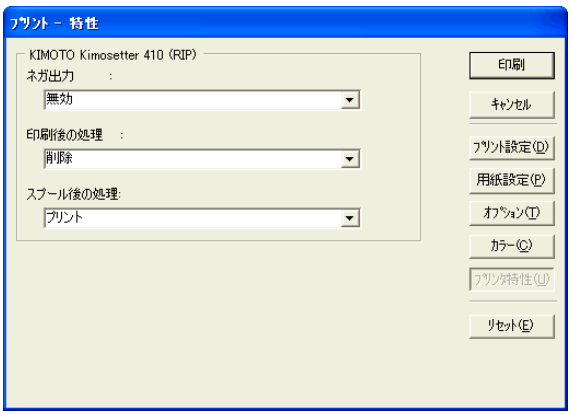
5　[オプション]を選択する

[オプション]ボタンをクリックして[プリントーオプション]ダイアログを開き、和文フォントダウンロードを[アウトライン(PPDフォントチェック)]に設定し、欧文フォントダウンロードを[PostScript + TrueType]に設定します。



6　[プリンタ特性]を選択する

[プリンタ特性]ボタンをクリックして[プリントー特性]ダイアログを開き、[ネガ出力],[プリント後の処理],[スプール後の処理]の項目を設定します。



注意

各項目でリストアップされる[プリンタのデフォルト]を選択しないでください。

7 各種設定を行う

用紙設定などの各種設定を行います。

注意

パターン反転プリント（ネガ出力）をしたい場合には、[プリント－カラー]ダイアログの[ネガ]チェックボックスをオンにしてプリントを行ってください。

[プリント－カラー]ダイアログの[ネガ]を設定してもパターン反転プリントされない場合には、代わりに[プリント－特性]ダイアログの[ネガ出力]を[有効]に設定してプリントを行ってください。

ここで設定されるパターン反転プリント（ネガ出力）は、PageMakerで設定された”用紙サイズ”の範囲でパターンの反転が行われます。RIPの[全般]タブで設定された”メディアサイズ”がこの”用紙サイズ”より大きい場合、”用紙サイズ”の外側のエリアはパターン反転されずプリントされます。”メディアサイズ”全体にわたってパターン反転を行いたい場合は、ここでの設定を行わず、「第2章　RIPの機能」の[ドライバオプション]で説明されている[ネガ出力]機能を使用してください。

8 プリントを開始する

[印刷]ボタンをクリックして、プリントを開始します。

添付フォント

本RIPには、平成明朝W3、平成角ゴシックW5の和文2書体及び欧文フォント136書体が標準でインストールされます。
これらのフォントに関しては、PostScriptプリンタドライバをインストールすることで、
各アプリケーションにおいてフォント選択及びRIP出力ができます。
しかし、画面上の表示に関しては、Windowsシステム上でデザイン的に類似しているフォントが代替え使用されて表示されます。

付録 A　オフセット調整の詳細説明

ここでは、オフセット調整を行った場合にプリントイメージが実際に出力されるメディアにどのようにレイアウトされるかについて説明します。
なお、プリントイメージとは、アプリケーション（AdobePSプリンタドライバ）で設定したメディアサイズに従って生成されるイメージまたは、TIFF、JPEG等の画像ファイルイメージをさします。また、出力されるメディアとはKimosetter 410にセットされたメディアをさし（これ以降、出力メディアと記載する）、RIPの[全般タブ]-[メディアサイズ]で設定したメディアサイズと実際にセットされたメディアサイズは、必ず一致していなければなりません。

最初に、**Kimosetter 410 RIP** のプリントにおけるデフォルト仕様を説明します。

1：プリントイメージ ＝ 出力メディア

プリントイメージが出力メディアのサイズと一致する場合、出力メディアの印刷可能領域にプリントイメージをプリントします。ただし、印刷可能領域外のプリントイメージは削除されます。

2：プリントイメージの幅 ＜ 印刷可能領域の幅

出力メディアの印刷可能領域の幅よりプリントイメージの幅が小さい場合、出力メディアの横方向の中央に配置してプリントイメージをプリントします。

3：プリントイメージの高さ ＜ 印刷可能領域の高さ

出力メディアの印刷可能領域の高さよりプリントイメージの高さが小さい場合、出力メディアの上端 12mmからプリントイメージをプリントします。

4：プリントイメージの幅、高さ ＜ 印刷可能領域の幅、高さ

出力メディアの印刷可能領域よりプリントイメージの幅、高さともに小さい場合、出力メディアの横方向の中央に配置し、縦方向は上端12mmからプリントイメージをプリントします。

5：プリントイメージの幅 ＞ 印刷可能領域の幅

出力メディアの印刷可能領域よりプリントイメージの幅が大きい場合、出力メディアの左右の中央とプリントイメージの左右の中央が重なるように配置し、プリントイメージをプリントします。なお、出力メディアの印刷可能領域の左右よりはみ出たプリントイメージは、削除されます。

6：プリントイメージの高さ ＞ 印刷可能領域の高さ

出力メディアの印刷可能領域よりプリントイメージの高さが大きい場合、出力メディアの上下の中央とプリントイメージの上下の中央が重なるように配置し、プリントイメージをプリントします。なお、出力メディアの印刷可能領域の上下よりはみ出たプリントイメージは、削除されます。

7：プリントイメージの幅、高さ ＞ 印刷可能領域の幅、高さ

出力メディアの印刷可能領域よりプリントイメージの幅、高さとも大きい場合、出力メディアの中央とプリントイメージの中央が重なるように配置し、プリントイメージをプリントします。なお、出力メディアの印刷可能領域の上下左右よりはみ出たプリントイメージは、削除されます。

注意

RIPの[全般タブ]-[メディアサイズ]で設定するメディアサイズは、アプリケーション（AdobePSプリンタドライバ）で設定したメディアサイズ以上のサイズを設定してください。もしRIPの[全般タブ]-[メディアサイズ]で設定したメディアサイズがアプリケーション（AdobePSプリンタドライバ）で設定したメディアサイズより小さい場合、RIPエラーが発生します。

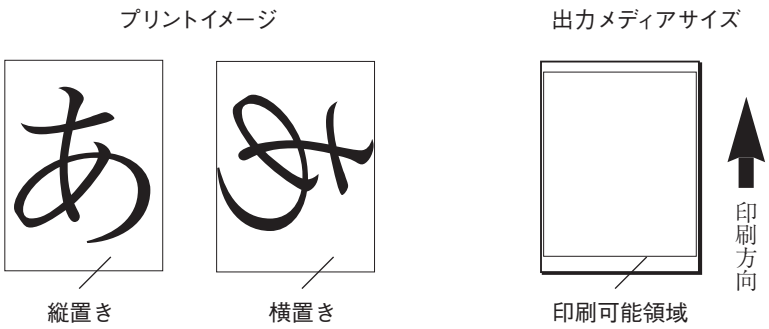
次に、Kimosetter 410 RIP の[ドライバオプション]ダイアログのオフセット調整を行った場合のレイアウト例を記載します。

なお、オフセット調整を行ってプリントイメージの配置を変更することにより、出力メディアの印刷可能領域よりはみ出たプリントイメージは削除されます。

注意

横オフセット、縦オフセットの調整値は、 、 ボタンまたは、 ボタンで配置された位置を基準に調整されます。

(1)プリントイメージと出力メディアのサイズが同じ場合



プリントイメージ：縦置き
オフセット調整：なし

※オフセット調整で
、 、 ボタン
（横、縦オフセットともに0mm）をクリックしてもセンター位置は変わりません。

プリント結果

プリントイメージ：横置き
オフセット調整：なし

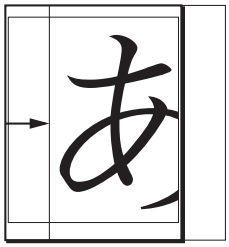
※オフセット調整で
、 、 ボタン
（横、縦オフセットともに0mm）をクリックしてもセンター位置は変わりません。

プリント結果

プリントイメージ：縦置き
オフセット調整：あり
ボタンON
横オフセット: 30mm
縦オフセット:　0mm

プリントイメージを右に30mm移動してプリントします。

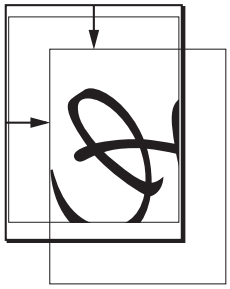
プリント結果



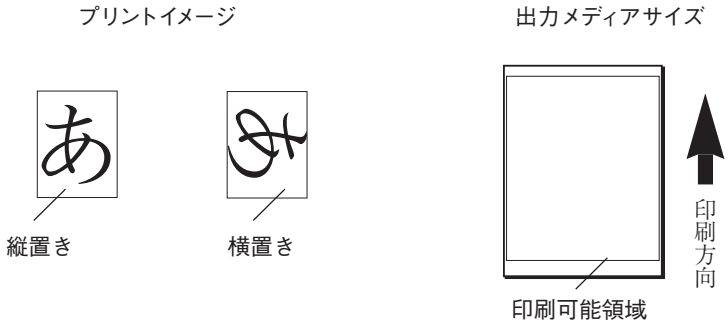
プリントイメージ：横置き
オフセット調整：あり
ボタンON
横オフセット: 30mm
縦オフセット: 30mm

プリントイメージを右に30mm、下に30mm移動してプリントします。

プリント結果



(2)プリントイメージが出力メディアのサイズより小さい場合



プリントイメージ：縦置き
オフセット調整：なし
（あるいは ボタンON
横、縦オフセットともに
0mmの場合）

プリントイメージの横方向は出力メディアの中央に、縦方向は出力メディアの上端から12mmの位置からプリントします。

プリント結果

プリントイメージ：横置き
オフセット調整：あり
ボタンON
横オフセット: 0mm
縦オフセット: 0mm

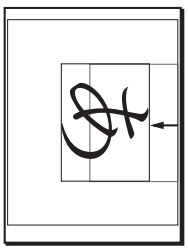
プリントイメージの横方向は出力メディアの右端から3.4mm※1、縦方向は出力メディアの中央にプリントします。

プリント結果

プリントイメージ：横置き
オフセット調整：あり
ボタン ON
横オフセット: -30mm
縦オフセット:　0mm

プリントイメージの横方向は出力メディアの右端から3.4mm※1、縦方向は出力メディアの中央に配置後、左に30mm移動してプリントします。

プリント結果



プリントイメージ：横置き
オフセット調整：なし
（あるいは ボタンON
横、縦オフセットともに
0mmの場合）

プリントイメージの横方向は出力メディアの中央に、縦方向は出力メディアの上端から12mmの位置からプリントします。

プリント結果

プリントイメージ：縦置き
オフセット調整：あり
ボタン ON
横オフセット: 0mm
縦オフセット: 0mm

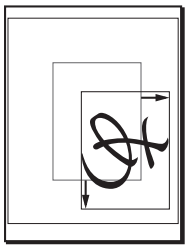
プリントイメージを出力メディアの中央に配置してプリントします。

プリント結果

プリントイメージ：横置き
オフセット調整：あり
ボタン ON
横オフセット: 30mm
縦オフセット: 30mm

プリントイメージを出力メディアの中央に配置後、右に30mm、下に30mm移動してプリントします。

プリント結果



※1

各メディアサイズの右端からの距離は付録C「Kimosetter 410の印刷可能領域」参照。

付録 B　サポートフォントの一覧

Kimosetter 410 RIPがサポートするフォント名とフォントイメージの一覧を以下に記載します。

平成明朝W3

6pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg
8pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg
10pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg
12pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg
14pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg
16pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg
18pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg

平成角ゴシックW5

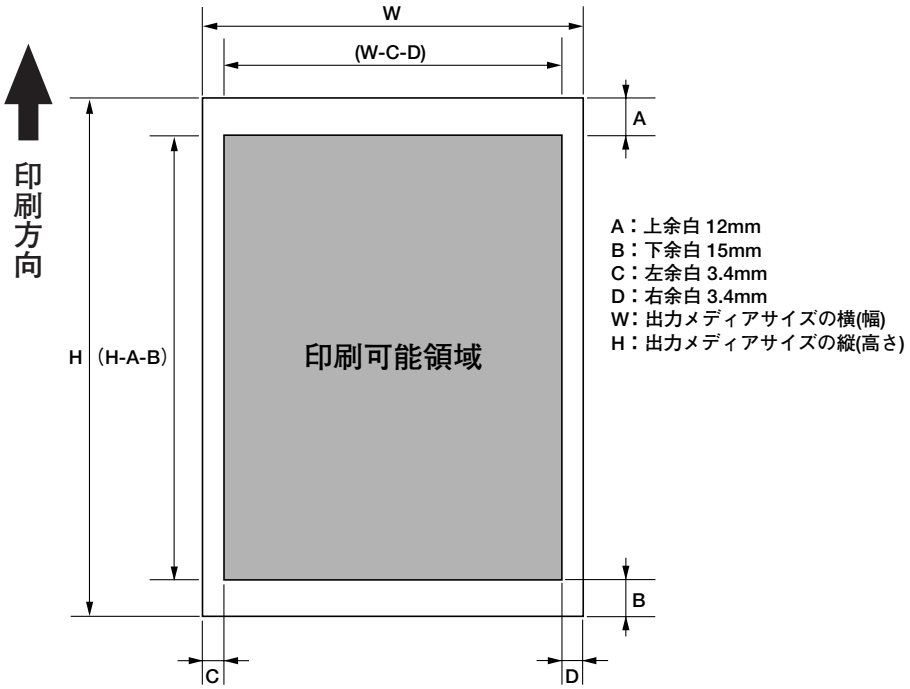
6pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg
8pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg
10pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg
12pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg
14pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg
16pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg
18pt 印字品質0123456789ABCDEFGabcdefg

Albertus MT Light
Albertus MT
Albertus MT Italic
Antique Olive
Antique Olive Italic
Antique Olive Bold
Antique Olive Compact
Apple Chancery
Arial
Arial Italic
Arial Bold
Arial Bold Italic
Bodoni
Bodoni Italic
Bodoni Bold
Bodoni Bold Italic
Bodoni Poster
Bodoni Poster Compressed
Carta
Chicago
Clarendon Light
Clarendon Roman
Clarendon Bold
Cooper Black
Cooper Black Italic
Copperplate Gothic
Thirty Two BC
Copperplate Gothic
Thirty Three BC
Coronet
Courier
Courier Oblique
Courier Bold
Courier Bold Oblique

Eurostile Medium
Eurostile Bold
Eurostile Extended Two
Eurostile Bold Ext Two
Geneva
Gill Sans Light
Gill Sans Light Italic
Gill Sans
Gill Sans Italic
Gill Sans Bold
Gill Sans Bold Italic
Gill Sans Extra Bold
Gill Sans Condensed
Gill Sans Bold Condensed
Goudy
Goudy Italic
Goudy Bold
Goudy Bold Italic
Goudy Extra Bold
Helvetica
Helvetica Oblique
Helvetica Bold
Helvetica Bold Oblique
Helvetica Condensed
Helvetica Condensed Oblique
Helvetica Condensed Bold
Helvetica Condensed Bold Oblique
Helvetica Narrow
Helvetica Narrow Oblique
Helvetica Narrow Bold
Helvetica Narrow Bold Oblique
Hoefler Text
Hoefler Text Italic
Hoefler Text Black
Hoefler Text Black Italic
Hoefler Text Ornaments

Joanna MT
Joanna MT Italic
Joanna MT Bold
Joanna MT Bold Italic
Letter Gothic
Letter Gothic Slanted
Letter Gothic Bold
Letter Gothic Bold Slanted
ITC Avant Garde Gothic Book
ITC Avant Garde Gothic Book Oblique
ITC Avant Garde Gothic Demi
ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
ITC Bookman Light
ITC Bookman Light Italic
ITC Bookman Demi
ITC Bookman Demi Italic
ITC Lubalin Graph Book
ITC Lubalin Graph Book Oblique
ITC Lubalin Graph Demi
ITC Lubalin Graph Demi Oblique
ITC Zapf Chancery Medium Italic
ITC Zapf Dingbats ❁✪✪✳❑❍➪①②
ITC Mona Lisa Recut
Marigold
Monaco
New Century Schoolbook
New Century Schlbk Italic
New Century Schlbk Bold
New Century Schlbk Bold Italic
New York
Optima
Optima Italic
Optima Bold
Optima Bold Italic
Oxford
Palatino
Palatino Italic
Palatino Bold
Palatino Bold Italic
Stempel Garamond
Stempel Garamond Italic
Stempel Garamond Bold
Stempel Garamond Bold Italic
Symbol αβχδABXΔ♥♦♣♠⇑⇒∉∞
Tekton
Times
Times Italic
Times Bold
Times Bold Italic
Times New Roman
Times New Roman Italic
Times New Roman Bold
Times New Roman Bold Italic
Univers 45 Light
Univers 45 Light Oblique
Univers 55
Univers 55 Oblique
Univers 65 Bold
Univers 65 Bold Oblique
Univers 57 Condensed
Univers 57 Condensed Oblique
Univers 67 Condensed Bold
Univers 67 Condensed Bold Oblique
Univers 53 Extended
Univers 53 Extended Oblique
Univers 63 Extended Bold
Univers 63 Ext Bold Oblique
Wingdings ♋♌♍♎♏

付録 C　Kimosetter 410の印刷可能領域



メディアサイズ	左マージン	右マージン
“335 x 485 mm”	3.4mm	8.2mm
“340 x 505 mm”	3.4mm	13.2mm
“370 x 450 mm”	30mm	16.6mm
“400 x 467 mm”	30mm	46.6mm
“404 x 483 mm”	30mm	50.6mm
“405 x 483 mm”	30mm	51.6mm
“400 x 510 mm”	30mm	46.6mm
“410 x 510 mm”	30mm	56.6mm

第3章
Macintosh操作ガイド

MacintoshユーザーのRIPセットアップから、RIP機能とプリント方法を説明します。

セットアップ

必要システム構成

KIMOTO Kimosetter 410 RIP 1.0を使用するには、下記のシステムが必要です。

	推奨システム
プロセッサ	Power PC G3 400MHz
空きメモリ容量	128MB以上 （仮想メモリ＝256MB）
ディスクの空き容量（インストール時）	90MB
ディスクの空き容量（作業時）	2GB以上（データ保存用）
OS	Mac OS 9.x Mac OS XはClassic環境 Mac OS X 10.3以上
ビデオシステム	17インチモニタ、3万色以上
その他周辺機器	CD-ROMドライブ
インターフェイス	USB

注意

・Mac OS X Classic環境で使用している場合には、「デスクトップ」にあるという表現は、すべてClassic環境として起動するシステムがあるボリュームの中の「Desktop Folder」を指しています。

・スタンドアロンのMacintoshでは、Mac OS X Classic環境のセレクタでAppleTalkを「使用」に設定することができません。AdobePSプリンタドライバを使用するには、AppleTalkを使用できる環境が必要となります。Ethernetのポートにネットワークの機器（例えばネットワークハブなど）を接続してください。

・Mac OS X Classic環境でお使いの場合には、システム環境設定の[省エネルギー]の設定でスリープしない設定にしてください。一度スリープに入るとスリープから復帰してもAppleTalk上からプリンタが見えなくなる場合があります。この場合には、システム環境設定の[Classic]の設定でClassicを再起動してください。

・Adobe PageMaker 7.0Jからの印刷には、[Kimosetter 410 RIP 1.0]-[Jobs]-[Kimosetter 410]へスプールファイルを保存すると記載されていますが、Mac OS X Classic環境で使用する場合には、直接印刷して、プリントモニタでプリント開始を指示するか、Mac OS Xアプリケーションと同様にPostScriptファイルを作成してプリントモニタにドロップしてください。

プログラムのインストール

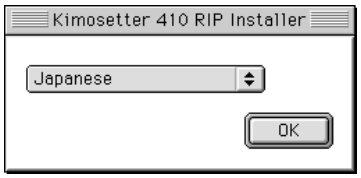
Kimosetter 410 RIP 1.0に同梱のCD-ROMからインストールを行います。

1 CD-ROMをコンピュータにセットする

2 Kimosetter 410 RIP Installerアイコンをダブルクリックする

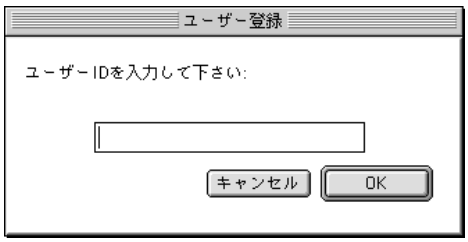
3 インストーラの表示言語を「Japanese」に指定する

［Kimosetter 410 RIP インストーラ］ダイアログが表示されるので、インストーラのサポート言語としてポップアップメニューより［Japanese］を選択し、［OK］ボタンをクリックする。



4-1 ユーザー登録

ユーザーID（6ケタの数字）を入力し、［OK］ボタンをクリックする。
ユーザーIDは、CDケースに貼ってあるシールの6ケタの数字です。
ユーザーIDの入力は、プログラムのインストールの時、一度だけ行います。



4-2　ユーザーIDの再入力

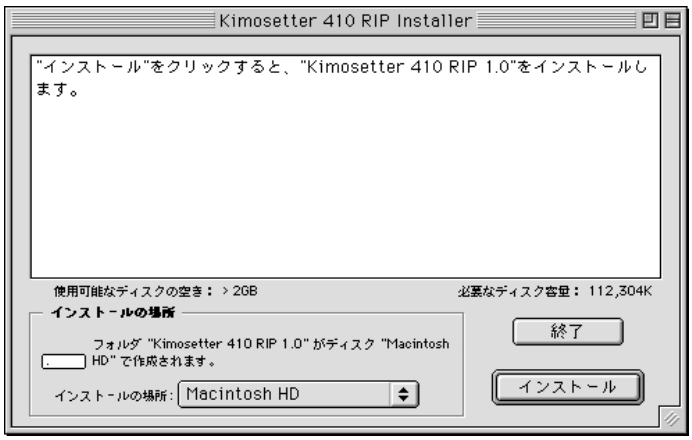
確認のため、**4-1** で入力したユーザーIDと同じ6ケタの数字を再入力し、[OK]ボタンをクリックする。

5　RIPのサポート言語を指定する

[インストールオプション]ダイアログが表示されるので、RIPのサポート言語として[言語]ポップアップメニューより[日本語(Japanese)]になっていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

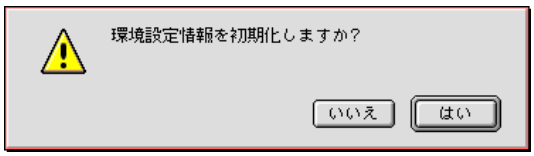
6　インストールの場所を指定する

[Kimosetter 410 RIP Installer]ダイアログから、インストールの場所を指定して[インストール]ボタンをクリックします。



7 環境設定情報を初期化する

環境設定情報を初期化するメッセージが表示されるので[はい]ボタンをクリックします。

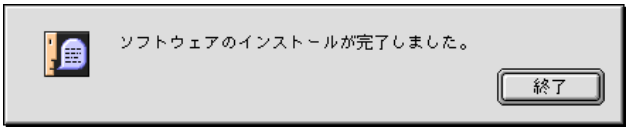


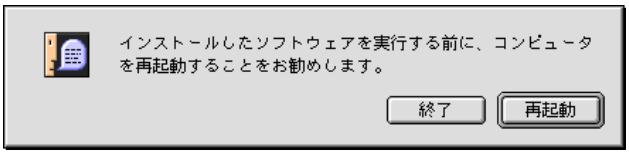
8 メッセージを確認する

AdobePSプリンタドライバのインストールメッセージが表示されるので[OK]ボタンをクリックします。

9 インストールを完了する

インストール完了のメッセージが表示されるので[終了]ボタンをクリックします。





注意

再起動を行うメッセージが表示された場合は、再起動は行わず、[終了]ボタンをクリックします。再起動はAdobePSプリンタドライバをインストールした後に行います。

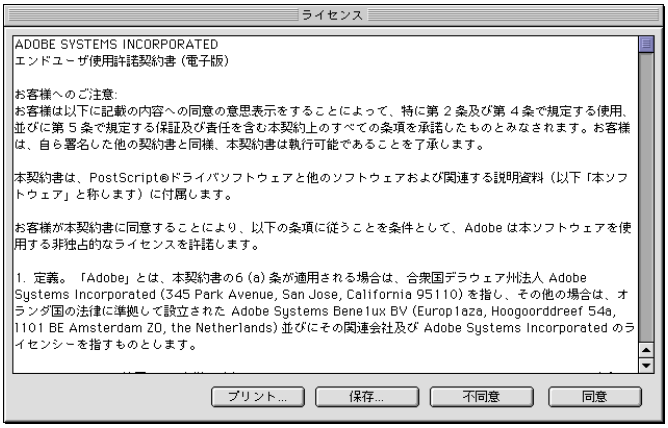
10　AdobePSプリンタドライバのインストールを行う

CD-ROMに付属しているAdobePSプリンタドライバはAdobePS8.8Jです。すでにMac OSにインストールされている場合は、再度インストールする必要はありませんので、[和文スクリーンビットマップフォントのインストール]項目に移ります。

[Kimosetter 410 RIP]CD内のAdobePS Installersフォルダを開き、[Japanese AdobePS Installer]アイコンをダブルクリックします。

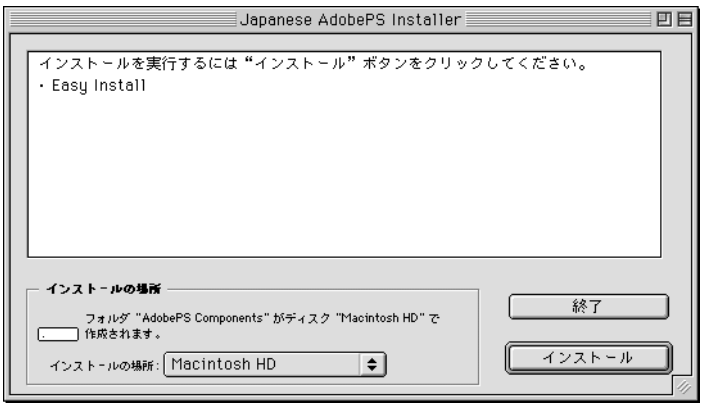
11　契約書の内容に目を通す

画面の指示に従い[続ける]ボタンをクリックすると、[エンドユーザーライセンス契約書]が表示されます。契約書の内容に目を通し、同意していただいた場合には[同意する]ボタンをクリックします。



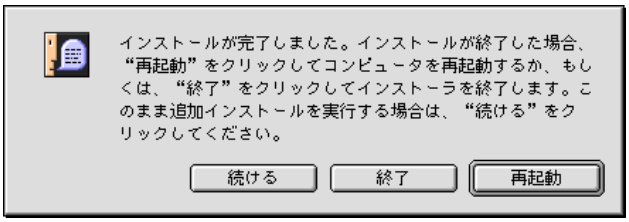
12 インストールの場所を指定する

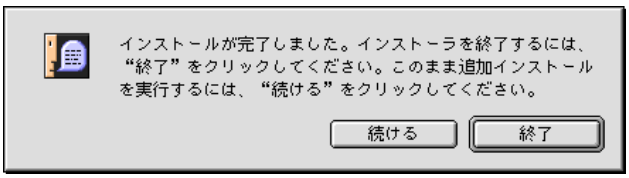
[AdobePS Installer]ダイアログから、インストールの場所を指定して[インストール]ボタンをクリックします。



13 インストーラを完了する

インストール完了のメッセージが表示されるので[再起動]ボタンをクリックし、Macintoshを再起動するか、[終了]ボタンをクリックしてインストーラを終了します。





次に、Kimosetter 410 RIP 1.0に付属している和文スクリーンビットマップフォントのインストールを行います。

和文スクリーンビットマップフォントのインストール

Kimosetter 410 RIP 1.0には「平成明朝 W3」と「平成角ゴシック W5」の和文スクリーンビットマップフォントが付属されています。

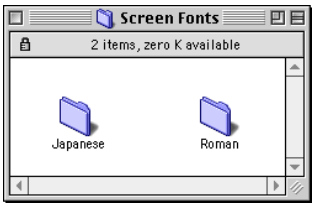
参考

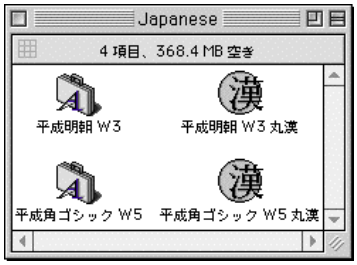
すでに同名のATM，スクリーンビットマップフォントをMacintoshのシステムにインストールしている場合は、[欧文スクリーンフォントのインストール]項目に移ります。

注意

ATMフォントとして、同名のフォントをインストールしている場合は、RIPに付属している和文スクリーンビットマップフォントをインストールしないでください。インストールを行うと、ATMフォントがスクリーンビットマップフォントに置き換わります。

1　[Kimosetter 410 RIP] CD内の [Screen Fonts] フォルダを開き、[Japanese] フォルダを開く





2　インストールする

[Japanese]フォルダにある全てのファイルを選択し、[システム]フォルダにある[フォント]フォルダにドラッグ＆ドロップします。

3　Macintoshを再起動する

欧文スクリーンフォントのインストールが必要でない場合は、Macintoshを再起動し、[Kimosetter 410とコンピュータの接続]項目に移ります。

次に、Kimosetter 410 RIP 1.0に付属している欧文スクリーンフォントのインストールを行います。

欧文スクリーンフォントのインストール

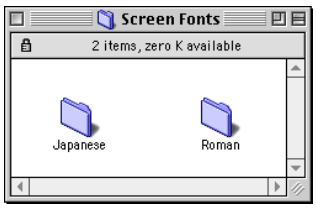
Kimosetter 410 RIP 1.0には「Type1フォント（117書体）」と「TrueTypeフォント（19書体）」の欧文スクリーンフォントが付属されています。なお、Kimosetter 410 RIP 1.0がサポートする欧文スクリーンフォントは、[付録B サポート欧文フォントの一覧]を参照ください。

注意

・MacintoshのシステムにTrueType形式のTimes，Helvetica，Courier，Symbolのスクリーンフォントが入っている場合、Type1形式のフォントに置き換えます。

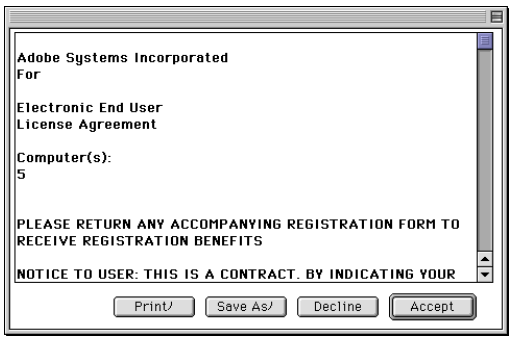
・AdobePSプリンタドライバの初期設定ではNew YorkはTimes，GenevaはHelvetica，MonacoはCourierに置き換わります。置き換えずにプリントする場合は、AdobePSプリンタドライバの[用紙設定]の[PostScriptオプション]タブの[代用フォント]のチェックを外します。

1 [Kimosetter 410 RIP] CD内の [Screen Fonts] フォルダを開き、[Roman] フォルダを開く



2 許諾書の内容に目を通す

[PS3 Fonts Installer]アイコンをダブルクリックします。使用許諾契約[Electronic End User License Agreement]が表示されます。契約書の内容に目を通し、同意していただいた場合には[Accept]ボタンをクリックします。

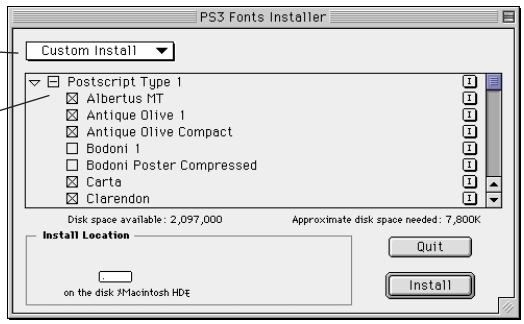


3　追加するフォントを選択する

［PS3 Fonts Installer］ダイアログから、必ず［Custom Install］を選択して追加するフォントのみを選び、［Install］ボタンをクリックします。

［Custom Install］を選択する

追加するフォントのチェックボックスをチェックする



注意

・追加する欧文スクリーンフォントと同名のフォントがすでにMacintoshのシステムにインストールしている場合、［PS3 Fonts Installer］は、システムにインストールしているフォントをゴミ箱に移動し、選択した欧文スクリーンフォントをインストールします。

・［Easy Install］を選択した場合、全てのフォントがインストールされます。

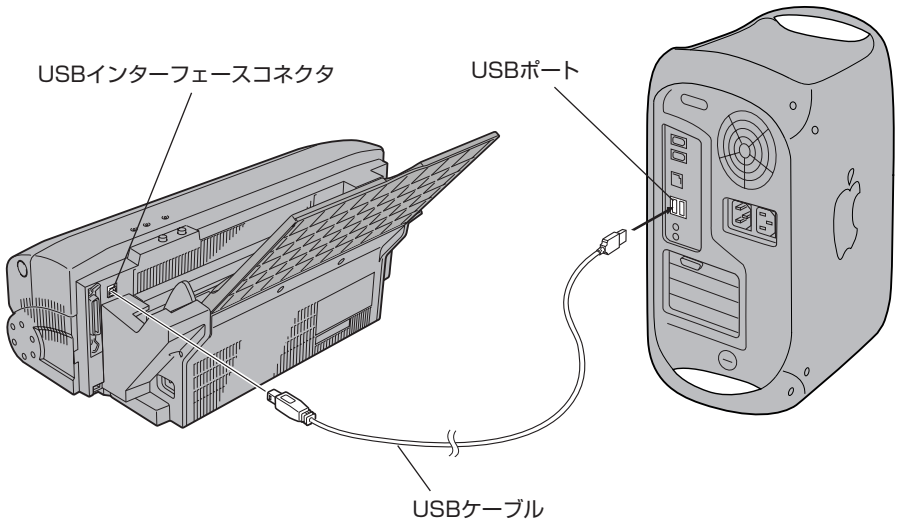
4　Macintoshを再起動する

［Restart］をクリックして、Macintoshを再起動します。

これでインストールは終了です。次に、プリンタの接続、RIPのセットアップを行います。

Kimosetter 410とコンピュータの接続

第1章に記載されている手順で、プリンタとコンピュータを接続し、プリンタとコンピュータの電源をオンにします。



プリンタのセットアップ

RIPを起動して、プリンタのセットアップを行います。

参考

Kimosetter 410 RIP 1.0はRIPをインストールしたマシンから直接プリントできるほか、RIPをインストールしたマシンをプリントサーバーとして使用し、ネットワークに接続されている個々のクライアントマシンよりプリントすることもできます。

1　RIPを起動する

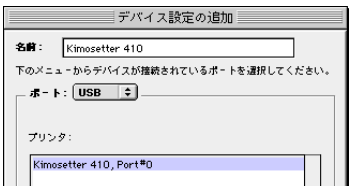
[Kimosetter 410 RIP 1.0]アイコンをダブルクリックする。
[Kimosetter 410 RIP 1.0]アイコンは、Kimosetter 410 RIP 1.0のインストールが完了すると、デスクトップに作成されます。

2　デバイス設定の追加を確認する

接続しているプリンタの機種を[機種名]より選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

3　ポートを選択する

[デバイス設定の追加]ダイアログで、現在プリンタを接続しているUSBポートを選択します。ポートを選択すると、接続されているプリンタ名の一覧が表示されます。
この中から使用するプリンタを選択して[OK]ボタンをクリックします。



注意

[デバイス設定の追加]ダイアログで表示される[名前]は、標準設定のままで使用してください。

4 RIPの起動を確認する

プリントモニタが表示することを確認します。

5 AdobePSプリンタドライバを選択する

5-1 RIPをインストールしたマシンから直接プリントする場合

[アップルメニュー]から[セレクタ]を開き、[AdobePS]を選択します。
[PostScriptプリンタの選択]から[Kimosetter 410@XXXX]を選択して[設定]ボタンをクリックします。

5-2 クライアントマシンよりプリントする場合

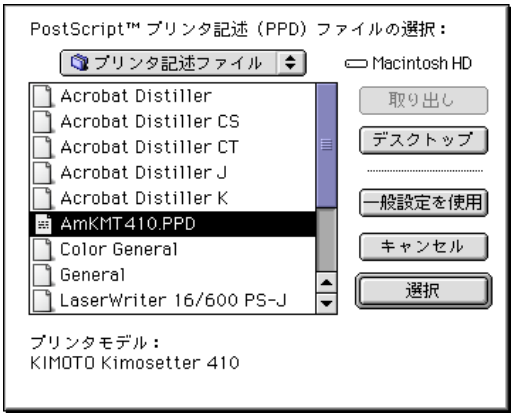
CD-ROMの[Printer Descriptions]フォルダ内にあるPPDファイル[AmKMT410.PPD]をクライアントマシンの[システムフォルダ]-[機能拡張]-[プリンタ記述ファイル]フォルダにコピーします。
[アップルメニュー]から[セレクタ]を開き、[AdobePS]を選択します。
[PostScriptプリンタの選択]から[Kimosetter 410@XXXX]を選択して[作成]ボタンをクリックします。

注意

XXXXは、RIPを起動しているマシンの[ファイル共有]コントロールパネルの[開始／停止]タブに設定されている[コンピュータの名前]と同じ名前が表示されます。

6　PPDファイルを選択する

[システムフォルダ]-[機能拡張]-[プリンタ記述ファイル]フォルダに格納されいる[AmKMT410.PPD]を選択して[選択]ボタンをクリックします。[Kimosetter 410 @XXXX]のプリンタアイコンがデスクトップに表示されます。



7　セレクタを閉じる

8　テストプリントを行う

プリンタとの接続を確認するために、RIPをインストールしたマシンからテストプリントを行うことをおすすめします。

参考

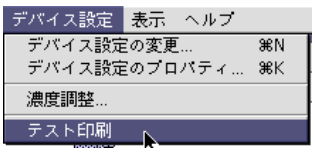
テストプリントを行う際は、Kimosetter 410プリンタユーザーズマニュアル第1章「インクカセットを装着する」と「用紙をセットする」を参照して、インクカセットおよびメディアをプリンタにセットします。

8-1　インクカセットをセットする

8-2　メディアをセットする

8-3　テスト印刷を実行する

[デバイス設定]-[テスト印刷]でテストプリントを実行します。なお、テスト印刷のパターンはA4サイズです。



RIPの削除

RIPを削除する場合は、以下の手順で行います。

1 プリントモニタを閉じる

RIPが起動している場合は、プリントモニタを閉じます。

2 [Kimosetter 410 RIP 1.0]アイコンをゴミ箱にドラッグする

デスクトップにある[Kimosetter 410 RIP 1.0]アイコンをゴミ箱にドラッグします。

3 [Kimosetter 410 RIP 1.0]フォルダをゴミ箱にドラッグする

4 [システムフォルダ]を開く

5 [初期設定]フォルダを開く

[初期設定]フォルダから[Kimosetter 410 RIP Preferences]と[Kimosetter 410 RIP 1.0 Prefs]をゴミ箱にドラッグします。

6 [機能拡張]フォルダを開く

[機能拡張]フォルダから以下の2つのファイルをゴミ箱にドラッグします。
[Am_Kimosetter 410], [E3ITF]

7 [機能拡張]-[プリンタ記述ファイル]を開く

[機能拡張]-[プリンタ記述ファイル]から[AmKMT410.PPD]をゴミ箱にドラッグします。

8 コンピュータを再起動する

9 ゴミ箱を空にする

RIPの機能

ここではRIPの機能について説明します。

プリントモニタ

RIPを起動（[Kimosetter 410 RIP 1.0]アイコンをダブルクリック）するとプリントモニタが表示されます。プリントモニタは、プリントするジョブのキュー管理および、ジョブをプリントします。

各ボタンの機能

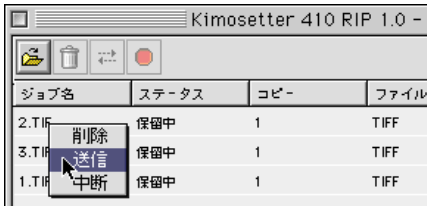
ジョブ追加

プリントモニタにジョブを追加します。対応しているファイルフォーマットはJPEG, TIFF, PDF, PostScript, EPSです。追加されたジョブの[ステータス]は[保留中]となります。なお、PostScriptファイルの場合は、AdobePSプリンタドライバの[プリンタ固有機能]-[スプール後の処理]の設定に従って、プリントを行います。[保留中]のジョブファイルのプリントを行うには、ジョブファイルを選択し(Shiftキー＋ジョブクリックで複数選択可)、[プリント]ボタンをクリックします。RIP処理が開始され、完了するとプリントが開始されます。

参考　RIP処理

RIPとはRaster Image Processorの略で、出力するデータをメディア上に表現するために、ドットの配列に変換する処理のことです。RIP処理は複雑な処理で、処理時間はコンピュータの処理能力、及びファイルサイズに大きく影響されます。

また、ジョブをマウスで押したままにすると、下記のメニューが表示されます。



［削除］　ジョブの削除を行います。

［送信］　RIP処理を実行し、プリンタにデータを送信します。

［中断］　処理を中断します。

削除

ジョブを削除します。プリントモニタの画面上で、削除するジョブをマウスクリックで選択または、複数ジョブをShiftキーを押しながらマウスクリックで選択し、[削除]ボタンをクリックします。

プリント

ジョブをプリントします。プリントモニタの画面上で、プリントするジョブをマウスクリックで選択または、複数ジョブをShiftキーを押しながらマウスクリックで選択し、[プリント]ボタンをクリックします。

一時停止

ジョブのプリントを一時停止します。プリントモニタの画面上で、一時停止するジョブ をマウスクリックで選択または、複数ジョブをShiftキーを押しながらマウスクリックで選択し、[一時停止]ボタンをクリックすることでプリント出力を一時停止したり、再開することができます。

中断

ジョブのプリントを中断します。プリントモニタの画面上で、中断するジョブをマウスクリックで選択または、複数ジョブをShiftキーを押しながらマウスクリックで選択し、[中断]ボタンをクリックしてプリントを中断することができます。

各種情報の表示

プリントするジョブは、受信した順番に登録されます。プリントモニタでは、各ジョブに関して次の情報を表示します。

[ジョブ名] ファイル名を表示します。

[ステータス] [保留中], [処理中], [プリント中]など、ジョブの処理状況を表示します。

[コピー数] 出力する枚数を表示します。

[ファイルの種類] ジョブファイルの種類を表示します。

[寸法] JPEG, TIFF, EPSに関しては、ジョブファイルの全イメージを取り囲む、矩形領域のサイズを表示します。アプリケーションによっては、矩形領域のサイズとプリントに使用する用紙サイズとが一致しない場合があります。一致しない場合は、「21.54cm×27.94cm」と表示されますが、プリントされるサイズは、ファイルの持っているページ情報のサイズでプリントされます。

メニュー

RIPを起動したときのメニューについて説明します。

[ファイル]

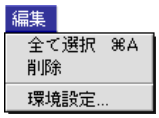
[ジョブの追加] [ジョブ追加]ボタンと同じ働きをします。

[プリント] [プリント]ボタンと同じ働きをします。

[中断] [中断]ボタンと同じ働きをします。

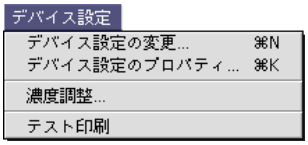
[終了] RIPを終了します。

［編集］



［全て選択］　プリントモニタに追加されたジョブを全て選択します。
［削除］　［削除］ボタンと同じ働きをします。
［環境設定］　［環境設定］の項を参照してください。

［デバイス設定］



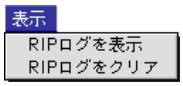
［デバイス設定の変更］　プリントモニタで管理するプリンタの機種を変更します。なお、デバイス設定の変更を行うと、デバイス設定のプロパティで設定した項目が、初期設定になります。

注意

［デバイス設定の変更］を行うと、プリントモニタに登録されていたジョブは削除されます。プリントモニタで管理するプリンタの機種を変更する場合は、必ず現在登録されているジョブがプリントに必要ないか、ジョブ未登録の場合に変更してください。

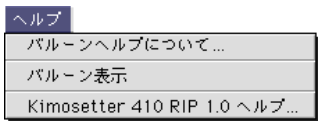
［デバイス設定のプロパティ］［デバイス設定のプロパティ］の項を参照してください。
［濃度調整］　［濃度カーブ調整］の項を参照してください。
［テストプリント］　テストプリントを行います。テストプリントのデータはA4サイズです。

［表示］



［RIPログを表示］　RIP処理の内部的な進行状況、エラー情報を表示します。
［RIPログをクリア］　RIPログをクリアします。

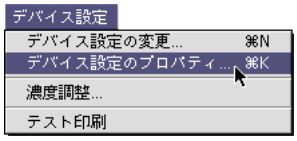
［ヘルプ］



［Kimosetter 410 RIP 1.0のヘルプ］　ユーザーズガイドと同じ内容をPDFで表示します。
なおPDFを表示するためには、Adobe Acrobat Readerが必要となります。
Adobe Acrobat ReaderはCD-ROMの［Acrobat Reader］フォルダの［Japanese Reader Installer］をクリックしてインストールします。

デバイス設定のプロパティ

デバイス設定のプロパティでは、プリンタの各種設定を行います。デバイス設定のプロパティを表示するには、メニューバーの[デバイス設定]-[デバイス設定のプロパティ]を実行します。



全般タブ

プリントモニタで管理しているプリンタ機種の確認とメディアサイズを設定します。メディアサイズから[その他]を選択すると、カスタムサイズを設定することができます。
最小値、最大値を超えて設定した場合、

横(幅)の場合

無効な値が入力されました。

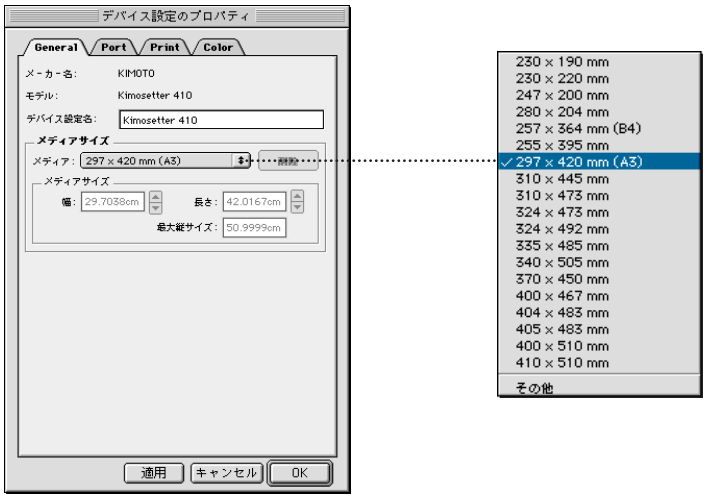
次の範囲内の値を入力してください。:76.2mm(3inch)～330.2mm(13inch)

縦(高さ)の場合

無効な値が入力されました。

次の範囲内の値を入力してください。:76.2mm(3inch)～533.4mm(21inch)

というようなアラートが表示される場合がありますが、最小値は横(幅)9.80×縦(高さ)9.80cm、最大値は横(幅)33.02×縦(高さ)51.00cm以内に設定してください。設定後は、[適用]ボタンをクリックします。



注意

・必ず、全般タブでのメディアサイズとプリントする実際のメディアサイズを一致させてください。故障の原因となります。

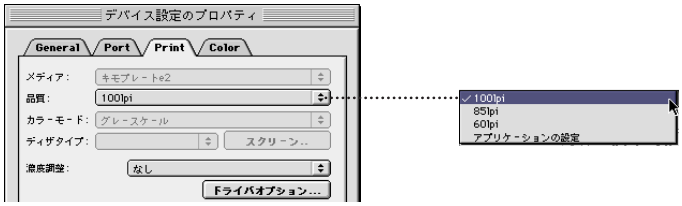
・用紙幅、用紙長が同サイズ(例100×100)では、正常に動作しません。

ポートタブ

現在プリンタを接続しているUSBポートを選択します。ポートを選択すると、接続されているプリンタ名が表示されます。

プリントタブ

［メディア］,［品質］,［濃度調整］を設定することができます。



［メディア］　［キモプレートe^2］

［品質］　4つの線数（100, 85, 60lpi, アプリケーションの設定）を指定することができます。

［アプリケーションの設定］を選択した場合は、RIP内のディザではなく、アプリケーション側で指定したディザ（線数, スクリーン角）が使用されます。このオプションを選択した場合は、ユーザーが意図した品質と異なる結果が生じることがありますので、ユーザーの責任にてご使用ください。

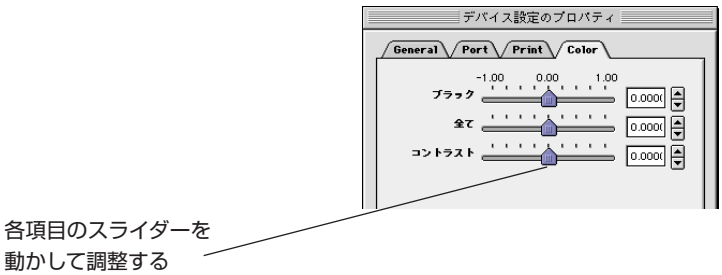
［スクリーン］　［品質］で［アプリケーションの設定］を選択したときに設定できるようになります。［線数］,［角度］,［ドット形状］, を設定することができます。

［濃度調整］　濃度調整を行ったプロファイル（濃度カーブ）を選択できます。濃度調整については「濃度カーブ調整」の項を参照してください。

［ドライバオプション］　［ドライバオプション］の項を参照してください。

色調整タブ

濃度のガンマ調整（［濃度］と［すべて］は同じ働きをしますので、調整を行う場合はどちらかのスライダーを調整します。）, コントラスト調整をすることができます。



ドライバオプション

現在接続しているプリンタのリボン装着状態の確認および、メディアにプリントされるイメージのオフセット調整を行います。

オフセット調整

プリントイメージをプリントする際に、オフセット調整を行う場合は、チェックボックスをチェックします。

左右中央合わせ

RIPで設定したメディアサイズの上隅を基準にして左右方向が中央になるようにプリントイメージを配置する場合は、ボタンをクリックします。

上下中央合わせ

RIPで設定したメディアサイズの右隅を基準にして上下方向が中央になるようにプリントイメージを配置する場合は、ボタンをクリックします。

センター合わせ

RIPで設定したメディアサイズの中央とプリントイメージの中央が重なるよう配置する場合は、ボタンをクリックします。

[横オフセット] [左上合わせ]あるいは、[センター合わせ]ボタンで配置されたプリントイメージを横方向に調整する値（mm単位固定）を入力します。
横方向に調整できる値は、-150mmから+150mmの範囲です。

[縦オフセット] [左上合わせ]あるいは、[センター合わせ]ボタンで配置されたプリントイメージを縦方向に調整する値（mm単位固定）を入力します。
縦方向に調整できる値は、-250mmから+250mmの範囲です。

[リセット] [オフセット調整]をデフォルト（左上合わせ, [横オフセット]および[縦オフセット]の値0mm）にします。

参考

・オフセット調整の詳細については、「付録A オフセット調整の詳細説明」を参照ください。

・拡張ドライバオプションダイアログ：Shift-key+Control-key+［ドライバオプション］ボタン

Shift-key+Control-keyを押しながら［ドライバオプション］ボタンをクリックすると、［上下中央合わせ（左寄せ）］ボタンが追加された拡張ダイアログが表示されます。

リボン情報

［更新］　ボタンをクリックすると、指定された（チェックボックスをチェックした）インクカセット情報を更新します。

［全て］　ボタンをクリックすると、指定できる全てのインクカセットを指定（チェックボックスをチェック）します。

参考

オフセット調整の詳細については、［付録A オフセット調整の詳細説明］を参照ください。

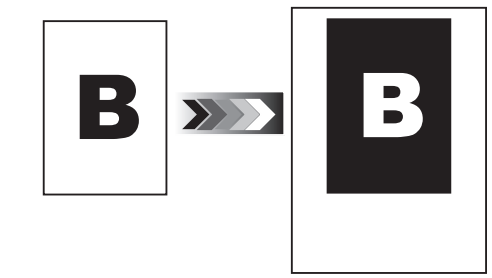
ネガ出力

チェックボックスをチェックすると、RIPで設定したメディアサイズの印刷可能領域全体をパターン反転プリント（ネガ出力）します。

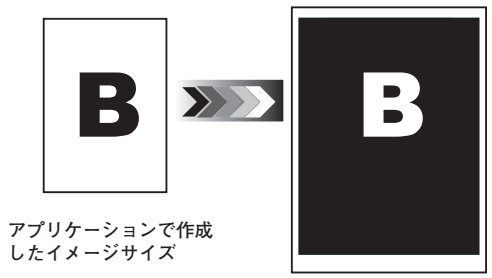
注意

この［ネガ出力］機能を使用してパターン反転プリントする場合には、「第3章　プリントする」で説明されているパターン反転プリントの設定は行わないでください。

なお、この［ネガ出力］機能を使用したパターン反転プリントと「第3章　プリントする」で説明している通常のパターン反転プリントとの違いは以下の通りです。



通常の反転：
AdobePS、アプリケーションで反転を指定した場合、アプリケーションで作成したイメージサイズの領域内での反転が行われる。
※イメージサイズの外側は反転プリントはされない。



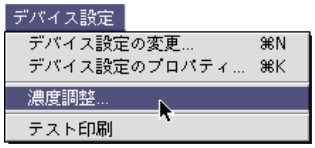
[ドライバオプション]での反転：
プリントに用いられるメディアの印刷可能領域全域での反転が行われる。

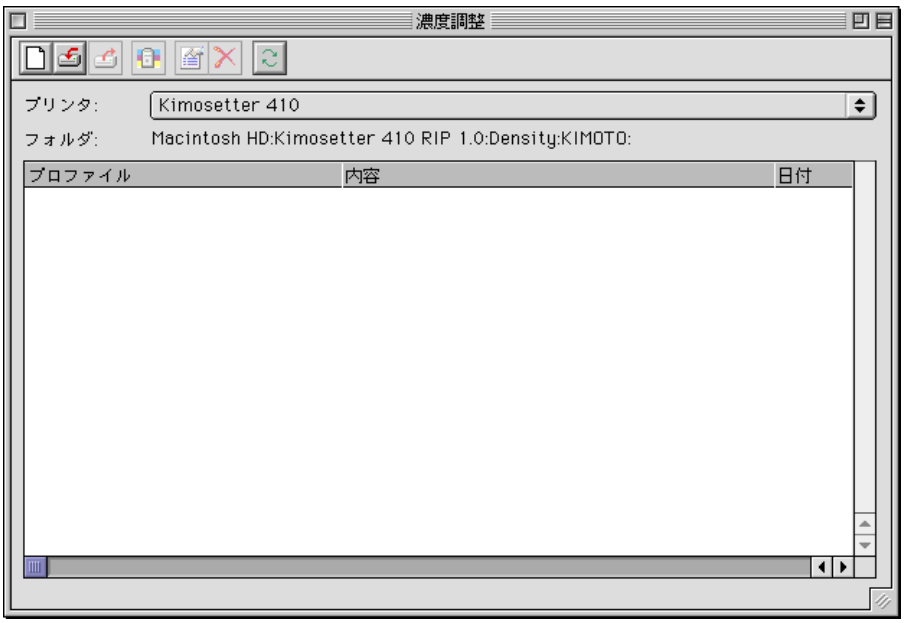
アプリケーションで作成したイメージサイズ

[全般]タブで指定された出力メディアサイズ

濃度カーブ調整

濃度カーブを調整することにより、プリンタの個体差、または損耗によるバラツキをある程度補正することができます。また、濃度カーブを調整することにより、プリンタのリニア化を行い、グラデーションをなるべくスムーズに出力したい場合などに威力を発揮します。濃度カーブの調整を行うには、メニューから[デバイス設定]-[濃度調整]を選択します。





各ボタンの機能

新規プロファイル

新規にプロファイル(濃度カーブ)を作成します。作成したプロファイル(濃度カーブ)は、[デバイス設定のプロパティ]の[プリント]タブの[濃度調整]に追加されます。

インポートプロファイル

プロファイル(濃度カーブ)を読み込みます。[インポートプロファイル]ボタンをクリックすると、ファイルを選択する画面が表示され、プロファイルを読み込みことができます。

エクスポートプロファイル

プロファイル(濃度カーブ)を別のファイルへ書き出します。プロファイルを選択して、[エクスポートプロファイル]ボタンをクリックすると、フォルダが開き保存します。

プロファイル編集

プロファイル（濃度カーブ）を編集します。プロファイルを選択して、[プロファイル編集]ボタンをクリックすると、[濃度カーブ調整]画面が表示され、濃度カーブを編集することができます。

プロファイル削除

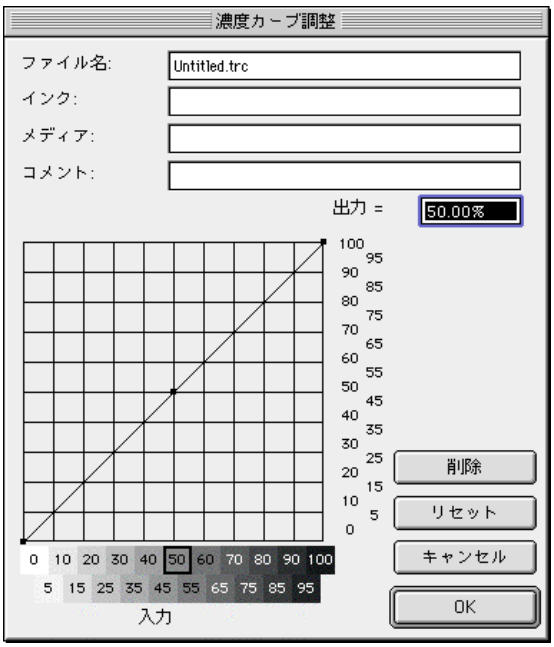
選択した濃度ファイルを削除します。プロファイルを選択して、[プロファイル削除]ボタンをクリックすると、削除します。

リスト更新

濃度カーブ調整ファイルのリスト更新をすることができます。

濃度カーブの作成・編集

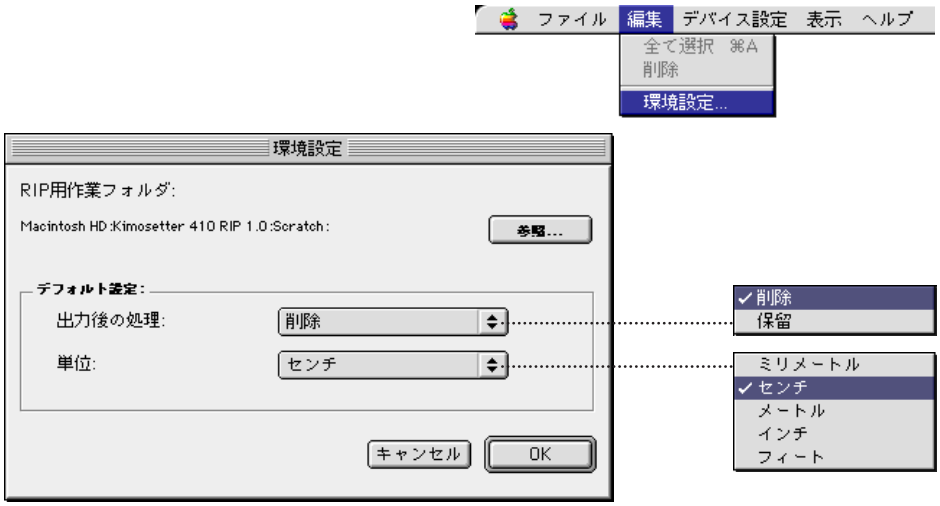
新規作成の場合は[新規プロファイル]ボタンをクリックし、編集する場合は濃度調整ダイアログからプロファイルを選択して[プロファイル編集]ボタンをクリックします。



水平方向の軸の入力値に対して、垂直方向の軸は出力される濃度を表します。デフォルトを使用した場合、濃度カーブは直線であり、濃度50%の入力データは、濃度50%で出力されます。編集するにはマウスでカーブの点を新しい位置までドラッグします。編集が終了したら、ファイル名を入力して[OK]ボタンをクリックします。

環境設定

プリント後のファイルの処理、プリントモニタで表示する単位を設定します。メニューから［編集］-［環境設定］を選択します。



［参照］　ファイル処理中に必要となるテンポラリファイルを作成する［RIP用作業フォルダ］を指定します。複数のハードディスクが存在する場合、空き容量の多いハードディスクをここに指定します。大きなデータの処理中に発生するメモリエラーは、ディスクの空き容量不足による場合があります。

［プリント後の処理］　プリント後のジョブの処理を設定します。［ジョブ削除］, ［保留］から選択できます。

［単位］　［全般］タブでメディアサイズを［その他］にした場合の表示、［プリントモニタ］の［寸法］の表示単位を選択できます。ミリ, センチ, メートル, インチ, フィートから選択できます。

プリントする

プリントする場合は、データ作成したアプリケーションを起動せずにプリントする場合と、データ作成したアプリケーションを起動してプリントする2種類の方法があります。

データ作成したアプリケーションを起動せずにプリントする方法

以下のファイルフォーマットのデータは、データ作成したアプリケーションを起動せずにプリントすることができます。**対応フォーマット：**JPEG，TIFF，PDF，PostScript，EPS

注意

・PDFのファイル形式はVer1.2,TIFFのファイル形式はVer5.0まで対応しています。うまくプリントしない場合は、作成したアプリケーションを起動してプリントを行います。

・CMYKカラーモードでファイルされたJPEGは、アプリケーションで保存した場合の大きさよりも大きくプリントされることがあります。プリントサイズは下記のとおりです。

横：横方向の画素数 / 72［インチ］

縦：縦方向の画素数 / 72［インチ］

・JPEG，TIFF，EPSはデータにページ情報が含まれないため、デフォルトではメディアの左上に寄せられた状態でプリントされます。

・JPEG，TIFF，EPSはプリントモニタの［寸法］に表示される値よりも大きな用紙をセットしてください。

・アプリケーションによっては、矩形領域のサイズとプリントに使用する用紙サイズとが一致しない場合があります。一致しない場合は、「21.54cm×27.94cm」と表示されますが、プリントされるサイズは、ファイルの持っているページ情報のサイズでプリントされます。

1　RIPを起動する

［Kimosetter 410 RIP 1.0］アイコンをダブルクリックします。

2　RIPの設定を確認する

各タブの設定を確認します。
［全般］タブ：［メディアサイズ］
［ポート］タブ：［プリンタ］リスト上にプリンタ名が表示されていることを確認します。
［プリント］タブ：［品質］

3　プリントモニタから［ジョブの追加］ボタンをクリックする

［ジョブ追加］ボタンをクリックする

4 プリントするファイルを選択する

プリントするファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

5 プリントモニタから[ジョブ送信]ボタンをクリックする

PostScriptファイル以外のジョブが追加された場合は、[ステータス]は[保留中]となります。なお、PostScriptファイルの場合は、AdobePSプリンタドライバの[プリンタ固有機能]-[スプール後の処理]の設定に従って、プリントを行います。プリントを行うには、ジョブファイル(複数可能)を選択し、[ジョブ送信]ボタンをクリックします。RIP処理が開始され、完了するとプリントが開始されます。

参考

ジョブの追加は、プリントするファイルをプリントモニタの画面に、直接ドラッグ&ドロップすることでもできます。

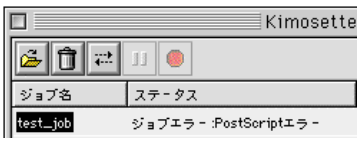
注意

・ジョブの追加時に、プリントモニタのステータスに以下のメッセージが表示されたら、RIPを終了します。次に、アップルメニューの[このコンピュータについて]を選択して、現在のメモリの使用状況を確認します。使用していないアプリケーションを終了するなどして、メモリを確保してください。

・ジョブの追加後、RIPの処理中にプリントモニタのステータスに以下のメッセージが表示されたら、メニューの[表示]-[RIPログを表示]の表示を確認します。

%%[Error: VMerror; xxxx]%%

と表示されたら、[Program]フォルダの[RIP Engine]に割り当てるメモリを増やして、再度RIP処理を行ってください。



データ作成したアプリケーションを起動してプリントする方法

1　任意のアプリケーションで、データを作成する

2　RIPを起動する

[Kimosetter 410 RIP 1.0]アイコンをダブルクリックします。

3　RIPの設定を確認する

各タブの設定を確認します。
[全般]タブ：[メディアサイズ]
[ポート]タブ：[プリンタ]リスト上にプリンタ名が表示されていることを確認します。
[プリント]タブ：[品質]

4　セレクタで[Kimosetter 410@XXXX]を確認する

[アップルメニュー]から[セレクタ]を開き[Kimosetter 410@XXXX]（XXXXは、RIPを起動しているMacintosh の[ファイル共有]コントロールパネルで設定されている[コンピュータの名前]と同じ名前が表示されます）が表示，選択されていることを確認し、[セレクタ]を閉じます。

5　[ファイル]メニューから[用紙設定]を選択する

使用する用紙サイズや方向を設定し、用紙設定が終了した後、[OK]ボタンをクリックします。

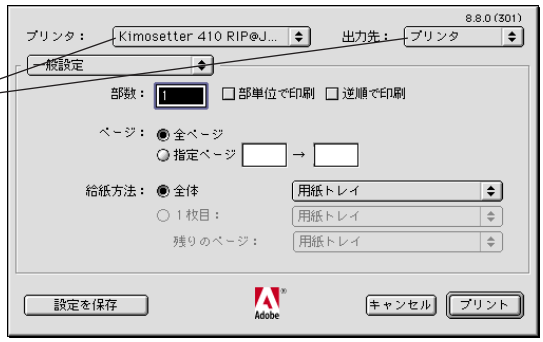
注意

[PostScriptオプション]ポップアップメニューにある[パターン反転]の機能の指定は有効になりません。パターン反転してプリントを行う場合には、プリントダイアログの[プリンタ固有機能]ポップアップメニューを選択してから[ネガ出力]を[有効]に設定してプリントを行ってください。

6 ［ファイル］-［プリント］を選択する

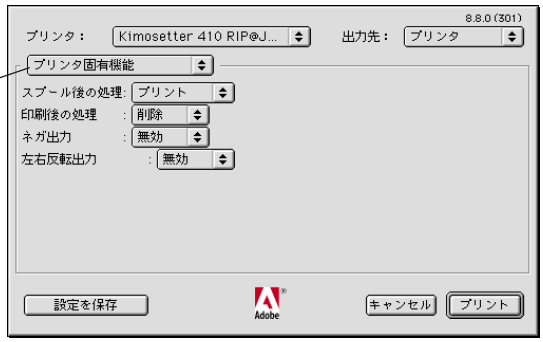
アプリケーションの［ファイル］-［プリント］を選択し、プリントダイアログを表示させます。

プリンタ：Kimosetter 410@XXXX
出力先：プリンタ
になっていることを確認する。



7 ポップアップメニューから［プリンタ固有機能］を選択する

［プリンタ固有機能］
をポップアップメニュー
から選択



［スプール後の処理］ プリントモニタにジョブが追加された後の処理を設定します。
［保留］に設定すると、RIP処理を行いません。
［プリント］に設定するとRIP処理後、プリントを行います。

［プリント後の処理］ プリント後のジョブの処理を設定します。
［保留］と［削除］を選択できます。

［左右反転出力］ ［有効］にすると、左右が反転してプリントされます。

［ネガ出力］ ［無効］と［有効］を選択できます。［有効］にすると、ネガ（白黒反転）でプリントします。

8 ［プリント］ボタンをクリックする

プリントダイアログから［プリント］ボタンをクリックして、プリントを開始します。

PageMaker 7.0Jからプリントする方法

PageMaker 7.0Jでプリントを行う場合は、次の手順で行います。

1　PageMaker 7.0Jで、データを作成する

2　RIPを起動する

[Kimosetter 410 RIP 1.0]アイコンをダブルクリックします。

3　RIPの設定を確認する

各タブの設定を確認します。
[全般]タブ：[メディアサイズ]
[ポート]タブ：[プリンタ]リスト上にプリンタ名が表示されていることを確認します。
[プリント]タブ：[品質]

4　セレクタで[Kimosetter 410@XXXX]を確認する

[アップルメニュー]から[セレクタ]を開き[Kimosetter 410@XXXX]（XXXXは、RIPを起動しているMacintosh の[ファイル共有]コントロールパネルで設定されている[コンピュータの名前]と同じ名前が表示されます）が選択されていることを確認し、[セレクタ]を閉じます。

5　[ファイル]-[プリント]を選択する

PageMaker 7.0Jの[ファイル]-[プリント]を選択し、[プリント ― ドキュメント]ダイアログを表示させます。

形式がAmKMT410.PPDになっていることを確認する。

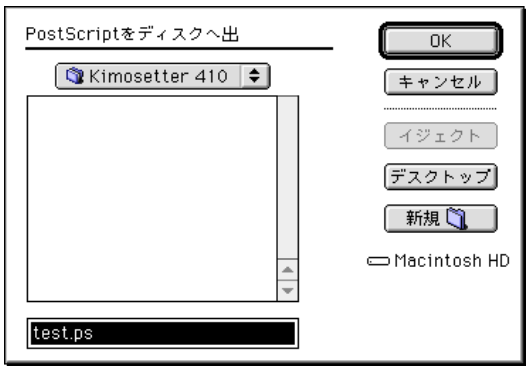
6 [オプション]を選択する

[オプション]ボタンをクリックして[プリント ― オプション]ダイアログを開き、[ファイルへ書き出す]をチェックします。

7 フォルダを指定する

7-1 RIPをインストールしたマシンから直接プリントする場合

[フォルダ]ボタンをクリックして、[Kimosetter 410 RIP 1.0] - [Jobs] - [Kimosetter 410]を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

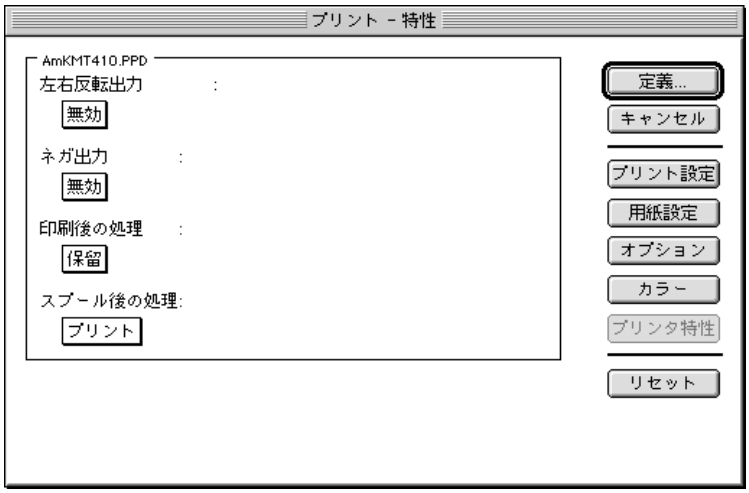


7-2 クライアントマシンよりプリントする場合

[フォルダ]ボタンをクリックして、デスクトップまたは任意のフォルダを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

8　[プリンタ特性]を選択する

[プリンタ特性]ボタンをクリックして[プリント － プリンタ特性]ダイアログを開き、[ネガ出力],[プリント後の処理],[スプール後の処理]の項目を設定します。



注意

各項目でリストアップされる[プリンタのデフォルト]を選択しないでください。

9　各種設定を行う

用紙設定などの各種設定を行います。

注意

[カラー]ボタンをクリックして、[ネガ]チェックボックスをチェックしてもパターン反転はできません。パターン反転プリントを行う場合は、[プリント － 特性]ダイアログの[ネガ出力]を[有効]に設定してプリントを行ってください。

10　プリントを開始する

10-1　RIPをインストールしたマシンから直接プリントする場合

[保存]ボタンをクリックすると、[Kimosetter 410]フォルダにファイルを保存されプリントモニタが自動的にジョブを追加し、プリントを開始します。

10-2　クライアントマシンよりプリントする場合

デスクトップのプリンタアイコン[Kimosetter 410@XXXX](XXXXは、RIPを起動しているMacintosh の[ファイル共有]コントロールパネルで設定されている[コンピュータの名前]と同じ名前が表示されます)に保存したPostScriptファイルをドラック&ドロップします。

PostScriptフォントのインストール

本RIPは追加インストール可能なフォントとして、Adobe Type Library 2.0J（CIDフォント），Adobe Type Library 1.0J（OCFフォント），モリサワNewCID, OCFフォント，株式会社フォントワークスジャパン，ダイナブラ・ジャパン株式会社および、大日本スクリーン製造株式会社の日本語フォントをサポートしています。
モリサワNewCID, OCFフォントについては、Adobe Type Libraryのインストール手順を参考にインストールを行ってください。
なお、フォントインストールは、RIPをインストールした後に行います。

注意

フォントをインストールする前に次の点に注意してください。

・ウイルスチェックプログラムが動作している場合は、プログラムを「OFF」にしてください。

・Adobe Type Manager（ATM）やフォント関連のユーティリティが動作している場合は、「OFF」にしてください。

・コピープロテクトされているフォントのフロッピーディスクをUSB対応外付けFDドライブでご使用する際は、各ドライブメーカーの最新ドライバと各フォントメーカーが配付する機能拡張ファイル「USB Floppy Enabler Ver X.X」をシステムにインストールしてください。

以上のいずれかの設定をした場合は、必ずMacintoshを再起動してからフォントインストールを始めてください。

詳細につきましては、各フォントメーカーの取り扱い説明書，ホームページ等も併せて御覧ください。

Adobe Type Library 2.0J（CIDフォント）のインストール手順

Adobe Type Library 2.0JはCD及びフロッピーディスク（インストーラ）で配布されます。

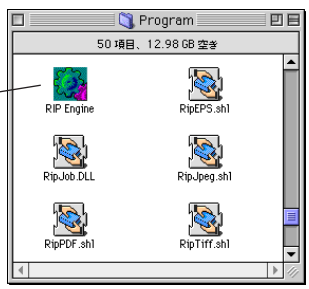
1 プリントモニタを閉じる

RIPが起動している場合は、プリントモニタを閉じます。

2 [RIP Engine]アイコンをダブルクリックする

[Kimosetter 410 RIP 1.0]-[Program]フォルダの[RIP Engine]アイコンをダブルクリックします。

[RIP Engine]アイコンを
ダブルクリックする



3　CD-ROMをセットする

4　フロッピーディスクをセットする

コピープロテクトされているフォントの場合は、フロッピーディスクドライブにフォントパッケージ同梱のフロッピーディスクを挿入します。

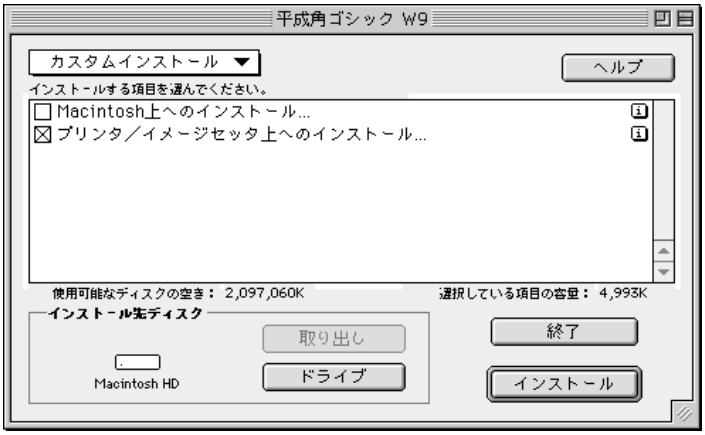
注意

フロッピーディスクは、必ず書き込み可能状態にしてください。

ライトプロテクトスイッチの位置が書き込み禁止状態のままですと正常にフォントインストールされません。

5　インストーラを起動する

6　[カスタムインストール]を選択する



[カスタムインストール]を選択して、[プリンタ／イメージセッター上へのインストール]をチェックします。RIPがインストールされているMacintoshで、同じスクリーンフォントを使用する場合は、[Macintosh上へのインストール]もチェックします。

7　インストールを開始する

[インストール]ボタンをクリックしてインストールを開始します。

8　メッセージに従う

他のアプリケーションが実行されている場合は、[続ける]ボタンをクリックして、他のアプリケーションを終了します。

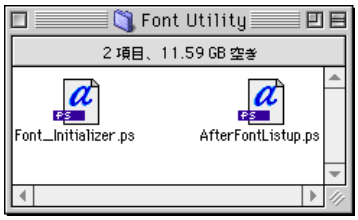
複数のCPSIデバイスが検出された場合は、[CPSIデバイスを選択]画面が表示されるので、[RIP Engine]を選択します。

9 再起動を行う

メッセージに従いコンピュータを再起動します。インストールが完了して、コンピュータが再起動されます。自動的に再起動されない場合は、正常にインストールされなかった可能性がありますので、再度インストールを行います。

10 フォントのイニシャライズを行う

RIPを再起動し、[Kimosetter 410 RIP 1.0]-[Font Utility]フォルダ内にある[Font_Initializer.ps]をプリントモニタに直接ドラッグ&ドロップします。これでインストールしたフォントがイニシャライズされ、フォントが使用可能状態になります。



参考

フォントのイニシャライズを行った後、プリントモニタに[AfterFontListup.ps]を直接ドラッグ&ドロップすると、RIPログ([表示]-[RIPログの表示]メニューを選択)にインストールした市販フォントの一覧が表示されます。

Adobe Type Library 1.0J（OCFフォント）のインストール手順

Adobe Type Library 1.0Jはフロッピーディスクのみで配布されます。

注意

・Adobe Type Library 1.0Jに付属のフォントインストーラは、対応していませんので使用しないでください。

・Adobe Type Library 1.0Jのフロッピーディスクは、USB対応外付けFDドライブに対応しておりません。

1　プリントモニタを閉じる

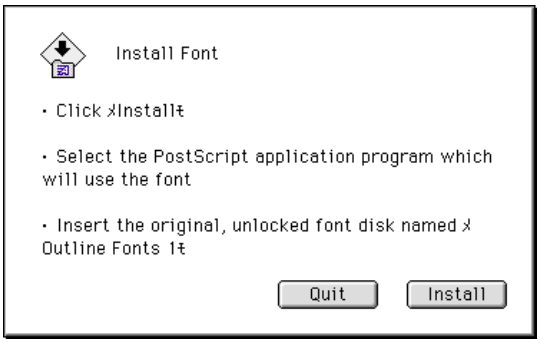
RIPが起動している場合は、プリントモニタを閉じます。

2　[Japanese Font Installer]アイコンをダブルクリックする

[Kimosetter 410 RIP 1.0]-[Program]フォルダの[Japanese Font Installer]アイコンをダブルクリックします。

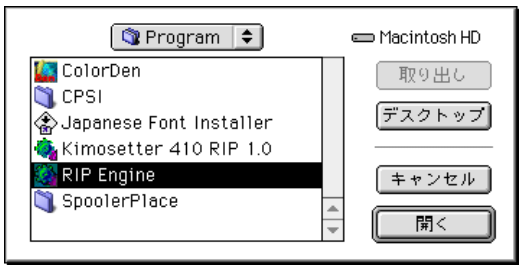
3　インストールを開始する

警告ダイアログが表示された後に、インストールダイアログが表示されるので[Install]ボタンをクリックしインストールを開始します。


Install Font
・Click メInstallヒ
・Select the PostScript application program which will use the font
・Insert the original, unlocked font disk named メOutline Fonts 1ヒ
Quit
Install

4　[RIP Engine]を選択する

フォントインストールの対象となるPostScriptアプリケーションを選択する画面が表示されるので、[Kimosetter 410 RIP 1.0]-[Program]フォルダの[RIP Engine]を選択します。



5 フロッピーディスクを挿入する

メッセージに従って、フォントパッケージ同梱のフロッピーディスクを挿入します。

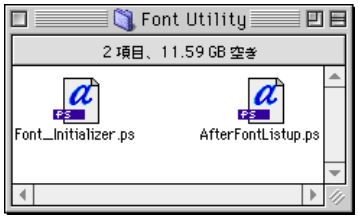
注意

「Outline Fonts 1」ディスクは、必ず書き込み可能状態にしてください。

ライトプロテクトスイッチの位置が書き込み禁止状態のままですと正常にフォントインストールされません。

6 フォントのイニシャライズを行う

RIPを再起動し、[Kimosetter 410 RIP 1.0]-[Font Utility]フォルダ内にある[Font_Initializer.ps]をプリントモニタに直接ドラッグ&ドロップします。これでインストールしたフォントがイニシャライズされ、フォントが使用可能状態になります。



参考

フォントのイニシャライズを行った後、プリントモニタに[AfterFontListup.ps]を直接ドラッグ&ドロップすると、RIPログ([表示]-[RIPログの表示]メニューを選択)にインストールした市販フォントの一覧が表示されます。

（株）フォントワークスジャパンのフォントインストール手順

株式会社フォントワークスジャパンのPostScriptフォントをインストールするにはFont Downloaderを使用します。Font Downloaderは、AppleTalkを経由して本RIPにPostScriptフォントをインストールするためのユーティリティソフトウェアです。
フォントをインストールするためには、AppleTalkでネットワーク接続されたクライアントMacintoshマシンが必要です。フォントのインストールはFont Downloaderを起動した状態で、ネットワーク接続されたクライアント側のMacintosh上から行います。ネットワークを介さずに、本RIPがインストールされているMacintosh上から直接フォントをインストールすることはできません。

注意

RIPをインストールしているMacintosh の［ファイル共有］コントロールパネルで設定されている［コンピュータの名前］が半角英数で17文字、または2バイト日本語で8文字以内で、記号「/」を含んでいないことを確認してください。

この条件が満たされていない場合は、Font Downloaderが正常に動作致しませんので、［コンピュータの名前］を変更し、Macintoshを再起動してからインストール作業を実施してください。

株式会社フォントワークスジャパンのPostScriptフォントをインストールする前に、必ずフォントの取り扱い説明書をお読みください。また株式会社フォントワークスジャパンのホームページで最新情報を確認した上でPostScriptフォントをインストールすることをお勧めします。

1　プリントモニタを閉じる

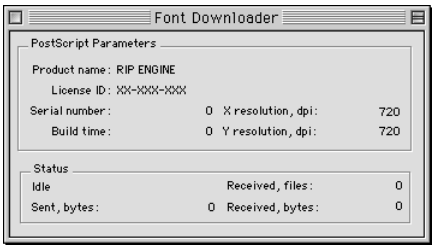
RIPが起動している場合は、プリントモニタを閉じます。

2　［Font Downloader］のエイリアスファイルをダブルクリックする

［Kimosetter 410 RIP 1.0］フォルダの［Font Downloader］をダブルクリックします。

3　Font Downloaderの起動を確認する

Font Downloaderが起動し、［PostScript Parameters］,［Status］の表示ウインドウが表示され、フォントインストールが可能な状態になります。



4 インストーラをダブルクリックする

AppleTalkでネットワーク接続されたクライアント側のMacintoshに、フォントパッケージ同梱のインストーラフロッピー ディスクとCD-ROMを挿入します。インストーラフロッピーディスク内の[インストーラ]アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。

注意

インストーラフロッピーディスクは、必ず書き込み可能状態にしてください。

ライトプロテクトスイッチの位置が書き込み禁止状態のままですと正常にフォントインストールされません。

5 機能の確認をする

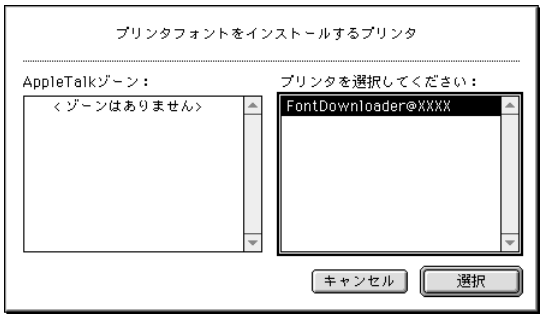
オープニング画面に続いて、[機能の選択]ダイアログが表示されますので、[日本語]、[フォントのインストール]が選択されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

6 [プリンタの選択ボタン]をクリックする

[フォントのインストール]ダイアログが表示されたら、[プリンタの選択]ボタンをクリックします。

7　プリンタを選択する

[プリンタの選択]ダイアログが表示されたら、[FontDownloader@XXXX]（XXXXは、Font Downloaderを起動しているMacintosh の[ファイル共有]コントロールパネルで設定されている[コンピュータの名前]と同じ名前が表示されます）を選択し、[選択]ボタンをクリックします。



注意

フォントをインストールする場合は、[Kimosetter 410@XXXX]を選択しないでください。

8　プリンタのハードディスクの選択を行う

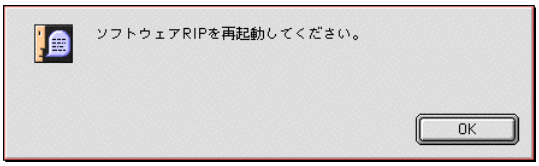
[プリンタのハードディスクの選択]ダイアログが表示されたら、[選択]ボタンをクリックします。

9　フォントのダウンロードを行う

[フォントのインストール]ダイアログに戻るので、[プリンタフォント]のチェックボックスをチェックし、[インストール]ボタンをクリックしてフォントのダウンロードを実行します。

10 インストーラを終了する

メッセージが表示された後に、フォントワークスのインストーラを終了します。

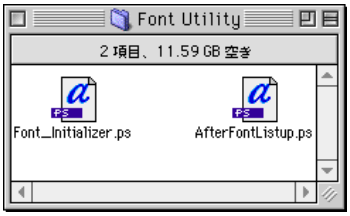


11 Font Downloaderを終了する

Font Downloaderを起動しているMacintosh上のFont Downloaderを終了します。

12 フォントのイニシャライズを行う

RIPを再起動し、[Kimosetter 410 RIP 1.0]-[Font Utility]フォルダ内にある[Font_Initializer.ps]をプリントモニタに直接ドラッグ＆ドロップします。これでインストールしたフォントがイニシャライズされ、フォントが使用可能状態になります。



参考

フォントのイニシャライズを行った後、プリントモニタに[AfterFontListup.ps]を直接ドラッグ＆ドロップすると、RIPログ（[表示]-[RIPログの表示]メニューを選択）にインストールした市販フォントの一覧が表示されます。

ダイナラブ・ジャパン（株）のフォントインストール手順

ダイナラブ・ジャパン株式会社のPostScriptフォントをインストールするにはFont Downloaderを使用します。Font Downloaderは、AppleTalkを経由して本RIPにPostScriptフォントをインストールするためのユーティリティソフトウェアです。
フォントをインストールするためには、AppleTalkでネットワーク接続されたクライアントMacintoshマシンが必要です。フォントのインストールはFont Downloaderを起動した状態で、ネットワーク接続されたクライアント側のMacintosh上から行います。ネットワークを介さずに、本RIPがインストールされているMacintosh上から直接フォントをインストールすることはできません。

注意

RIPをインストールしているMacintosh の［ファイル共有］コントロールパネルで設定されている［コンピュータの名前］が半角英数で17文字、または2バイト日本語で8文字以内で、記号「/」を含んでいないことを確認してください。

この条件が満たされていない場合は、Font Downloaderが正常に動作致しませんので、［コンピュータの名前］を変更し、Macintoshを再起動してからインストール作業を実施してください。

ダイナラブ・ジャパン株式会社のPostScriptフォントをインストールする前に、必ずフォントの取り扱い説明書をお読みください。またダイナラブ・ジャパン株式会社のホームページで最新情報を確認した上でPostScriptフォントをインストールすることをお勧めします。

1　プリントモニタを閉じる

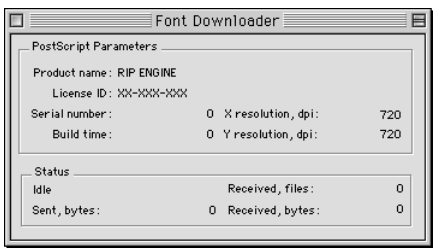
RIPが起動している場合は、プリントモニタを閉じます。

2　［Font Downloader］のエイリアスファイルをダブルクリックする

［Kimosetter 410 RIP 1.0］フォルダの［Font Downloader］をダブルクリックします。

3　Font Downloaderの起動を確認する

Font Downloaderが起動し、［PostScript Parameters］,［Status］の表示ウインドウが表示され、フォントインストールが可能な状態になります。



4 プリンタを選択する

AppleTalkでネットワーク接続されたクライアント側のMacintoshからアップルメニューの「セレクタ」を選び、[FontDownloader@XXXX]（XXXXは、Font Downloaderを起動しているMacintosh の[ファイル共有]コントロールパネルで設定されている[コンピュータの名前]と同じ名前が表示されます）を選択します。

注意

フォントをインストールする場合は、[Kimosetter 410@XXXX]を選択しないでください。

5 インストーラをダブルクリックする

AppleTalkでネットワーク接続されたクライアント側のMacintoshに、フォントパッケージ同梱のインストーラフロッピーディスクとCD-ROMを挿入します。インストーラフロッピーディスク内の[インストーラ]アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。

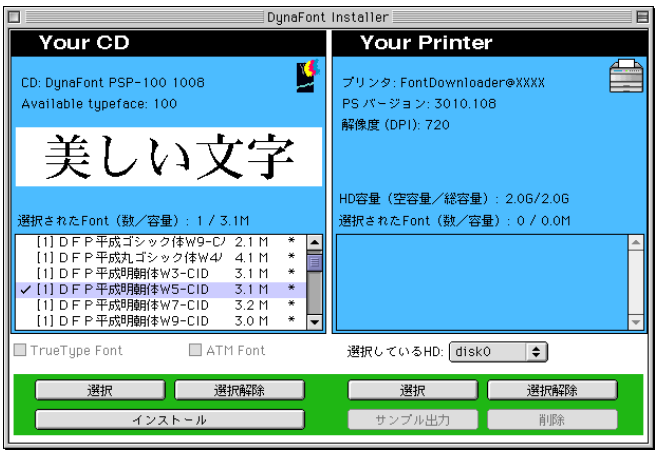
注意

インストーラフロッピーディスクは、必ず書き込み可能状態にしてください。

ライトプロテクトスイッチの位置が書き込み禁止状態のままですと正常にフォントインストールされません。

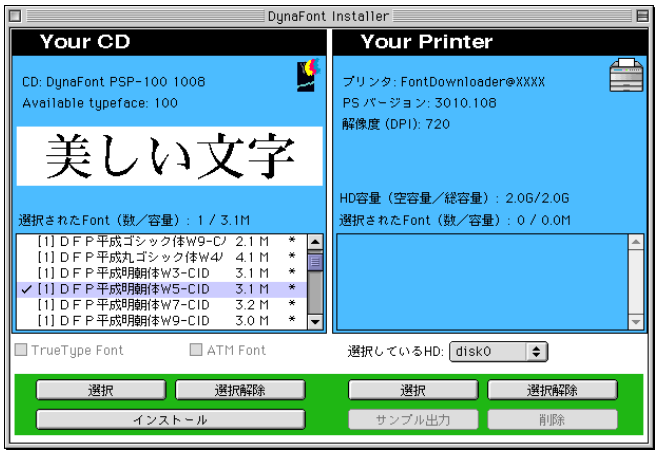
6 インストールするフォントを選択する

インストーラはプリンタ情報を確認した後、メインダイアログを表示しますので、[Your CD]の中からインストールしたいフォント名をクリックし選択します。



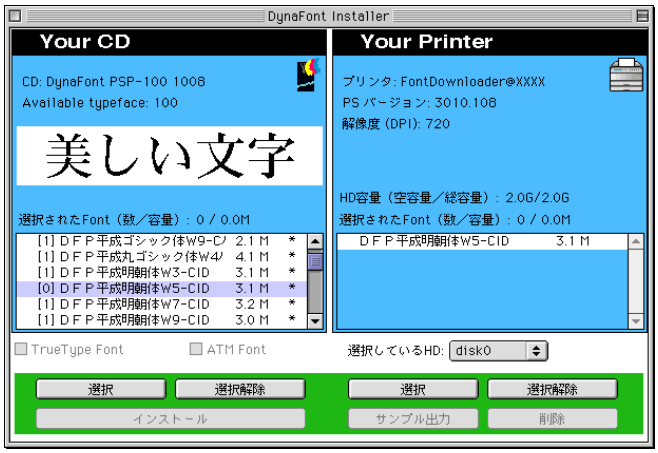
7　フォントのインストールを行う

［インストール］ボタンをクリックしてフォントのダウンロードを実行します。
インストール中は、インストールの状況を示す画面が表示されます。



8　インストーラを終了する

フォントインストールが無事に終了すると、メインダイアログ画面の「Your Printer」にインストールされたフォントが表示されます。その後、メインダイアログ左上隅のクローズボックスをクリックし、インストーラを終了します。

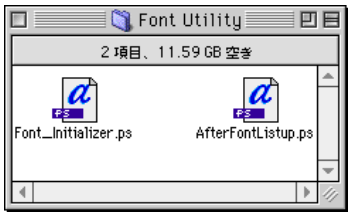


9 Font Downloaderを終了する

Font Downloaderを起動しているMacintosh上のFont Downloaderを終了します。

10 フォントのイニシャライズを行う

RIPを再起動し、[Kimosetter 410 RIP 1.0]-[Font Utility]フォルダ内にある[Font_Initializer.ps]をプリントモニタに直接ドラッグ＆ドロップします。これでインストールしたフォントがイニシャライズされ、フォントが使用可能状態になります。



参考

フォントのイニシャライズを行った後、プリントモニタに[AfterFontListup.ps]を直接ドラッグ＆ドロップすると、RIPログ([表示]-[RIPログの表示]メニューを選択)にインストールした市販フォントの一覧が表示されます。

大日本スクリーン製造（株）のフォントインストール手順

大日本スクリーン製造株式会社のPostScriptフォントをインストールするには、フォントパッケージ同梱の標準インストーラ［SENT CD FontDownloader］を使用し、本RIPがインストールされているMacintosh上より直接フォントをインストールします。

注意

USB対応外付けFDドライブでキーディスクをご使用する際は、機能拡張マネージャーを使用し、［システムフォルダ］-［機能拡張］フォルダ内の「USB Floppy Enabler Ver X.X」を一時的にはずしてから、インストールを行ってください。

大日本スクリーン製造株式会社のPostScriptフォントをインストールする前に、必ずフォントの取り扱い説明書をお読みください。また大日本スクリーン製造株式会社のホームページで最新情報を確認した上でPostScriptフォントをインストールすることをお勧めします。

1　プリントモニタを閉じる

RIPが起動している場合は、プリントモニタを閉じます。

2　［SENT CD FontDownloader］をコピーする

フォントパッケージ同梱のインストーラディスク内にある［SENT CD FontDownloader］をRIPがインストールされているMacintosh上にコピーします。

注意

［SENT CD FontDownloader］は、フロッピーディスクから直接起動すると正しく動作しません。

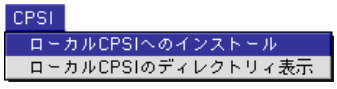
3　［SENT CD FontDownloader］をダブルクリックする

フォントパッケージ同梱のCD-ROMを挿入した後、［SENT CD FontDownloader］をダブルクリックしてインストールを開始します。

SENT CD FontDownloader 2.00

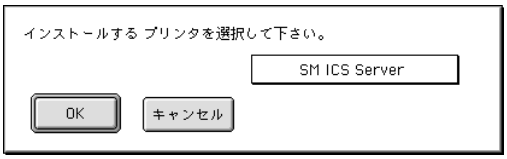
4　［ローカルCPSIへのインストール］を選択する

スプラッシュスクリーン上の任意場所をクリックした後、［CPSI］-［ローカルCPSIへインストール］を選択します。



5 プリンタの種類を選択する

フォントをインストールするプリンタの種類を選択するダイアログが表示されますが、デフォルト（SM ICS Server）のまま、[OK]ボタンをクリックします。



注意

プリンタリスト上に本RIP製品名は、リストアップされません。必ずデフォルトのSM ICS Serverを選択してください。

6 フォントフォルダを選択する

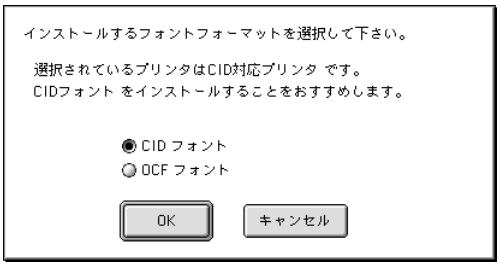
Macintosh上にインストールしているRIPのフォントフォルダが自動検索されますので、リストから本RIPの[CPSI]フォルダを選択します。

注意

Macintosh上に複数のRIP製品をインストールされている場合、フォントフォルダが複数検出される場合があります。この場合は、必ず本RIPの[CPSI]フォルダを選択します。

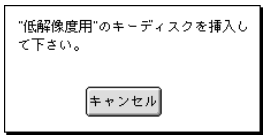
7 フォントフォーマットを選択する

フォントフォーマットを選択するダイアログが表示され、インストールするフォントのフォーマットを指定した後、[OK]ボタンをクリックします。



8　キーディスクを挿入する

キーディスクを挿入を促すダイアログが表示されたら、フォントパッケージに同梱のキーディスクを挿入します。正常に読み込まれるとダイアログが消えます。



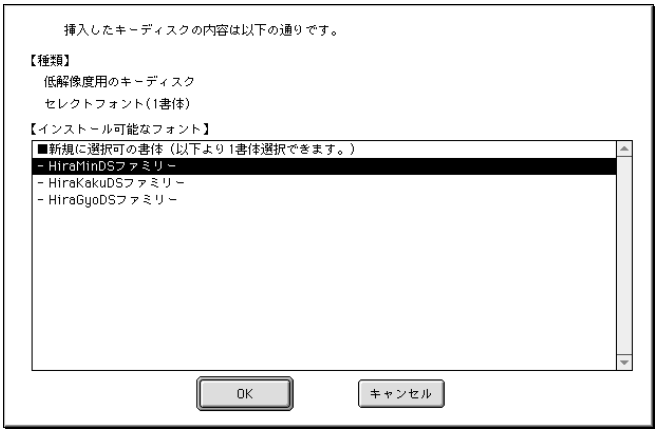
注意

キーディスクは、必ず書き込み可能状態にしてください。

ライトプロテクトスイッチの位置が書き込み禁止状態のままですと正常にフォントインストールされません。

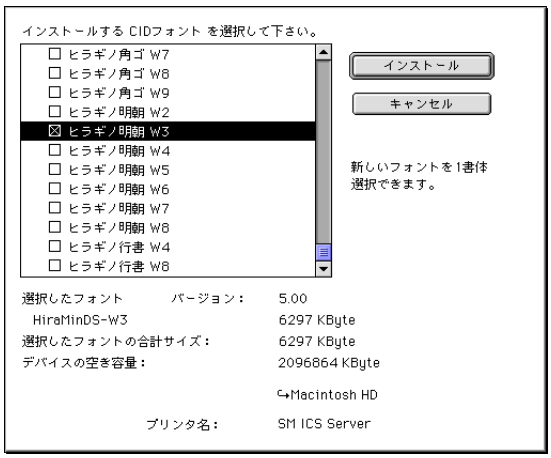
9　フォント書体を選択する

キーディスクの内容を確認するダイアログが表示され、インストールするフォント書体を選択した後、[OK]ボタンをクリックします。



10　フォントを選択する

インストールするフォントを選択するダイアログが表示されます。インストールするフォント名のチェックボックスをクリックし、[インストール]ボタンをクリックします。

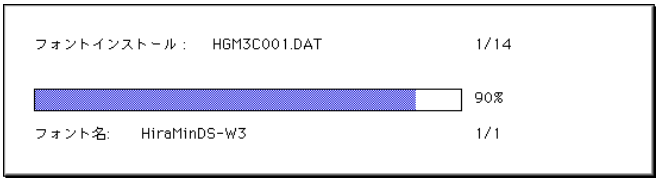


11 設定内容を確認する

設定内容を再確認するダイアログが表示され、設定したフォント名を再確認し、[OK]ボタンをクリックします。

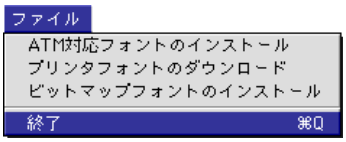
12 フォントのインストールを行う

フォントインストールの進行状況を示すダイアログが表示されます。その後、インストールが終了したことを示すダイアログが表示され、[OK]ボタンをクリックします。



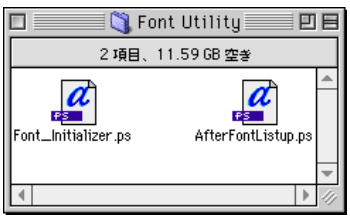
13 [SENT CD FontDownloader]を終了する

[ファイル]-[終了]を選択し、[SENT CD FontDownloader]を終了します。



14 フォントのイニシャライズを行う

RIPを再起動し、[Kimosetter 410 RIP 1.0]-[Font Utility]フォルダ内にある[Font_Initializer.ps]をプリントモニタに直接ドラッグ＆ドロップします。これでインストールしたフォントがイニシャライズされ、フォントが使用可能状態になります。



参考

フォントのイニシャライズを行った後、プリントモニタに[AfterFontListup.ps]を直接ドラッグ＆ドロップすると、RIPログ（[表示]-[RIPログの表示]メニューを選択）にインストールした市販フォントの一覧が表示されます。

付録 A　オフセット調整の詳細説明

ここでは、オフセット調整を行った場合にプリントイメージが実際に出力されるメディアにどのようにレイアウトされるかについて説明します。
なお、プリントイメージとは、アプリケーション（AdobePSプリンタドライバ）で設定したメディアサイズに従って生成されるイメージまたは、TIFF、JPEG等の画像ファイルイメージをさします。また、出力されるメディアとはKimosetter410にセットされたメディアをさし（これ以降、出力メディア）、RIPの[全般タブ]-[メディアサイズ]で設定したメディアサイズと実際にセットされたメディアサイズは、必ず一致していなければなりません。

最初に、**Kimosetter 410 RIP 1.0**のプリントにおけるデフォルト仕様を説明します。

1：プリントイメージ ＝ 出力メディア

プリントイメージが出力メディアのサイズと一致する場合、出力メディアの左上隅からプリントイメージをプリントします。ただし、印刷可能領域外（出力メディアの左端 3.4mm、上端 12mm、右端 3.4mm、下端 15mm）のプリントイメージは削除されます。

2：プリントイメージの幅 ＜ 印刷可能領域の幅

出力メディアの印刷可能領域の幅よりプリントイメージの幅が小さい場合、出力メディアの左端 3.4mmからプリントイメージをプリントします。

3：プリントイメージの高さ ＜ 印刷可能領域の高さ

出力メディアの印刷可能領域の高さよりプリントイメージの高さが小さい場合、出力メディアの上端 12mmからプリントイメージをプリントします。

4：プリントイメージの幅、高さ ＜ 印刷可能領域の幅、高さ

出力メディアの印刷可能領域よりプリントイメージの幅、高さともに小さい場合、出力メディアの左上隅（左端 3.4mm、上端 12mm）からプリントイメージをプリントします。

5：プリントイメージの幅 ＞ 印刷可能領域の幅

出力メディアの印刷可能領域よりプリントイメージの幅が大きい場合、出力メディアの左右の中央とプリントイメージの左右の中央が重なるように配置し、プリントイメージをプリントします。なお、出力メディアの印刷可能領域の左右よりはみ出たプリントイメージは、削除されます。

6：プリントイメージの高さ ＞ 印刷可能領域の高さ

出力メディアの印刷可能領域よりプリントイメージの高さが大きい場合、出力メディアの上下の中央とプリントイメージの上下の中央が重なるように配置し、プリントイメージをプリントします。なお、出力メディアの印刷可能領域の上下よりはみ出たプリントイメージは、削除されます。

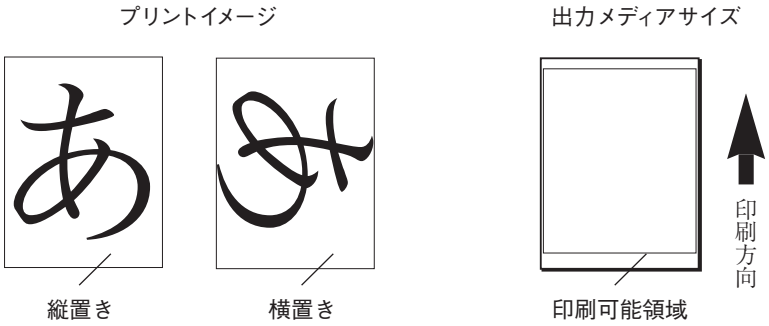
7：プリントイメージの幅、高さ ＞ 印刷可能領域の幅、高さ

出力メディアの印刷可能領域よりプリントイメージの幅、高さとも大きい場合、出力メディアの中央とプリントイメージの中央が重なるように配置し、プリントイメージをプリントします。なお、出力メディアの印刷可能領域の上下左右よりはみ出たプリントメージは、削除されます。

次に、**Kimosetter 410 RIP 1.0**の[ドライバオプション]ダイアログのオフセット調整を行った場合のレイアウト例を記載します。

なお、オフセット調整を行ってプリントイメージの配置を変更して、出力メディアの印刷可能領域よりはみ出たプリントイメージは、削除されます。

(1)プリントイメージと出力メディアのサイズが同じ場合



プリントイメージ：縦置き
オフセット調整：なし

※オフセット調整で
、 、 ボタン
（横、縦オフセットともに0mm）をクリックしてもセンター位置は変わりません。

プリント結果

プリントイメージ：横置き
オフセット調整：なし

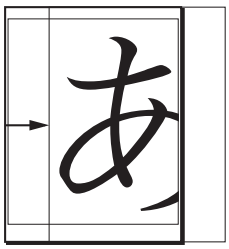
※オフセット調整で
、 、 ボタン
（横、縦オフセットともに0mm）をクリックしてもセンター位置は変わりません。

プリント結果

プリントイメージ：縦置き
オフセット調整：あり
ボタンON
横オフセット: 30mm
縦オフセット:　0mm

プリントイメージを右に30mm移動してプリントします。

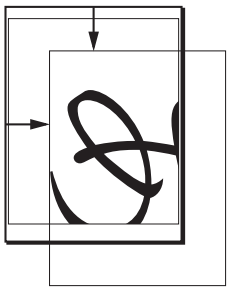
プリント結果



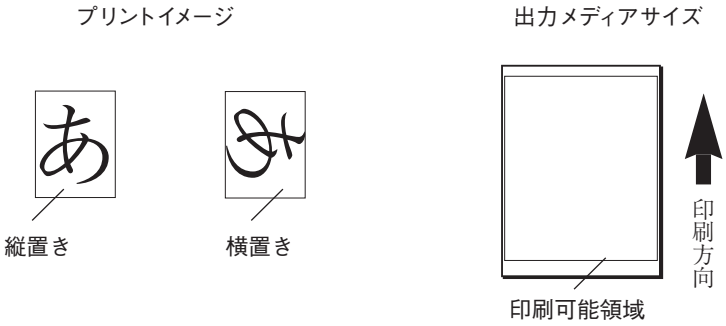
プリントイメージ：横置き
オフセット調整：あり
ボタンON
横オフセット: 30mm
縦オフセット: 30mm

プリントイメージを右に30mm、下に30mm移動してプリントします。

プリント結果



(2)プリントイメージが出力メディアのサイズより小さい場合



プリントイメージ：縦置き
オフセット調整：なし
（あるいは ボタンON
横、縦オフセットともに
0mmの場合）

プリントイメージの横方向は出力メディアの中央に、縦方向は出力メディアの上端から12mmの位置からプリントします。

プリント結果

プリントイメージ：横置き
オフセット調整：あり
ボタンON
横オフセット: 0mm
縦オフセット: 0mm

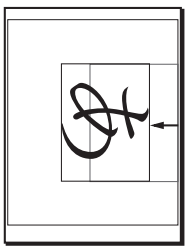
プリントイメージの横方向は出力メディアの右端から3.4mm※1、縦方向は出力メディアの中央にプリントします。

プリント結果

プリントイメージ：横置き
オフセット調整：あり
ボタン ON
横オフセット: -30mm
縦オフセット:　0mm

プリントイメージの横方向は出力メディアの右端から3.4mm※1、縦方向は出力メディアの中央に配置後、左に30mm移動してプリントします。

プリント結果



プリントイメージ：横置き
オフセット調整：なし
（あるいは ボタンON
横、縦オフセットともに
0mmの場合）

プリントイメージの横方向は出力メディアの中央に、縦方向は出力メディアの上端から12mmの位置からプリントします。

プリント結果

プリントイメージ：縦置き
オフセット調整：あり
ボタン ON
横オフセット: 0mm
縦オフセット: 0mm

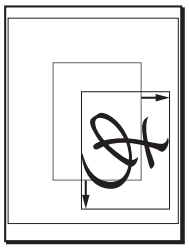
プリントイメージを出力メディアの中央に配置してプリントします。

プリント結果

プリントイメージ：横置き
オフセット調整：あり
ボタン ON
横オフセット: 30mm
縦オフセット: 30mm

プリントイメージを出力メディアの中央に配置後、右に30mm、下に30mm移動してプリントします。

プリント結果



※1

各メディアサイズの右端からの距離は付録C「Kimosetter 410の印刷可能領域」参照。

付録 B　サポート欧文フォントの一覧

Kimosetter 410 RIP 1.0がサポートする欧文フォントのフォント名とフォントイメージの一覧を以下に記載します。

Albertus MT Light
Albertus MT
Albertus MT Italic
Antique Olive
Antique Olive Italic
Antique Olive Bold
Antique Olive Compact
Apple Chancery
Arial
Arial Italic
Arial Bold
Arial Bold Italic
Bodoni
Bodoni Italic
Bodoni Bold
Bodoni Bold Italic
Bodoni Poster
Bodoni Poster Compressed
Carta
Chicago
Clarendon Light
Clarendon Roman
Clarendon Bold
Cooper Black
Cooper Black Italic
Copperplate Gothic
Thirty Two BC
Copperplate Gothic
Thirty Three BC
Coronet
Courier
Courier Oblique
Courier Bold
Courier Bold Oblique

Eurostile Medium
Eurostile Bold
Eurostile Extended Two
Eurostile Bold Ext Two
Geneva
Gill Sans Light
Gill Sans Light Italic
Gill Sans
Gill Sans Italic
Gill Sans Bold
Gill Sans Bold Italic
Gill Sans Extra Bold
Gill Sans Condensed
Gill Sans Bold Condensed
Goudy
Goudy Italic
Goudy Bold
Goudy Bold Italic
Goudy Extra Bold
Helvetica
Helvetica Oblique
Helvetica Bold
Helvetica Bold Oblique
Helvetica Condensed
Helvetica Condensed Oblique
Helvetica Condensed Bold
Helvetica Condensed Bold Oblique
Helvetica Narrow
Helvetica Narrow Oblique
Helvetica Narrow Bold
Helvetica Narrow Bold Oblique
Hoefler Text
Hoefler Text Italic
Hoefler Text Black
Hoefler Text Black Italic
Hoefler Text Ornaments

Joanna MT
Joanna MT Italic
Joanna MT Bold
Joanna MT Bold Italic
Letter Gothic
Letter Gothic Slanted
Letter Gothic Bold
Letter Gothic Bold Slanted
ITC Avant Garde Gothic Book
ITC Avant Garde Gothic Book Oblique
ITC Avant Garde Gothic Demi
ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
ITC Bookman Light
ITC Bookman Light Italic
ITC Bookman Demi
ITC Bookman Demi Italic
ITC Lubalin Graph Book
ITC Lubalin Graph Book Oblique
ITC Lubalin Graph Demi
ITC Lubalin Graph Demi Oblique
ITC Zapf Chancery Medium Italic
ITC Zapf Dingbats ❁✪✪✳❑❍➪①②
ITC Mona Lisa Recut
Marigold
Monaco
New Century Schoolbook
New Century Schlbk Italic
New Century Schlbk Bold
New Century Schlbk Bold Italic
New York
Optima
Optima Italic
Optima Bold
Optima Bold Italic
Oxford
Palatino
Palatino Italic
Palatino Bold
Palatino Bold Italic
Stempel Garamond
Stempel Garamond Italic
Stempel Garamond Bold
Stempel Garamond Bold Italic
Symbol αβχδABXΔ♥♦♣♠⇑⇒∉∞
Tekton
Times
Times Italic
Times Bold
Times Bold Italic
Times New Roman
Times New Roman Italic
Times New Roman Bold
Times New Roman Bold Italic
Univers 45 Light
Univers 45 Light Oblique
Univers 55
Univers 55 Oblique
Univers 65 Bold
Univers 65 Bold Oblique
Univers 57 Condensed
Univers 57 Condensed Oblique
Univers 67 Condensed Bold
Univers 67 Condensed Bold Oblique
Univers 53 Extended
Univers 53 Extended Oblique
Univers 63 Extended Bold
Univers 63 Ext Bold Oblique
Wingdings ♋♌♍♎♏🖒☺☝🖬🗀

Mac OS X Classic環境でのセットアップ

Kimosetter 410 RIPをMac OS X Classic環境とMac OS Xアプリケーションからプリントを行うには、Classic PPD Installerをインストールして、以下の手順で設定を確認して下さい。

Mac OS X Classic環境に新規インストールを行う場合

Mac OS X Classic環境に新規インストールを行う場合には、以下の手順に従いインストールをすすめてください。Mac OS でのインストールとほとんど同じですが、インストール先には、必ずKimosetter 410 RIPを起動するClassicシステムが入ったボリュームを選択してください。すでにインストール済みの場合には、「コンピュータ名の設定」の項目へお進みください。

注意

Mac OS Xでソフトウェアのインストールを行うときは、必ず管理者権限をもったユーザーでログインし直してください。

プログラムの新規インストール

お手持ちのKimosetter 410 RIP CD-ROMからインストールを行います。

1 CD-ROMをコンピュータにセットする

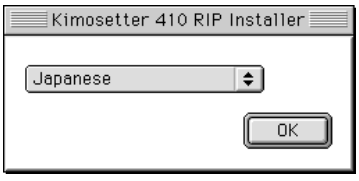
CD-ROMをコンピュータにセットします。「Kimosetter 410 RIP 1.0 CD」のアイコンが表示されるので、このアイコンをダブルクリックして開きます。

2 Kimosetter 410 RIP Installerアイコンをダブルクリックする

「Kimosetter 410 RIP 1.0 CD」フォルダにある「Kimosetter 410 RIP Installer」アイコンをダブルクリックします（Classic環境が起動していない場合は、ダブルクリック後に起動します）。

3 インストーラの表示言語を「Japanese」に指定する

［Kimosetter 410 RIP インストーラ］ダイアログが表示されるので、インストーラのサポート言語としてポップアップメニューより［Japanese］を選択し、［OK］ボタンをクリックする。ユーザー登録ダイアログが表示されたら、ユーザーIDとしてCDケースに貼ってあるシールの6ケタの数字を入力する。



4　RIPのサポート言語を指定する

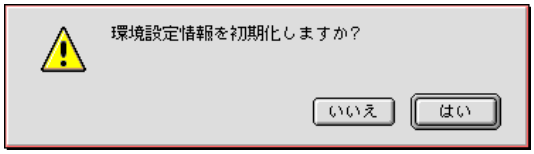
［インストールオプション］ダイアログが表示されるので、RIPのサポート言語として［言語］ポップアップメニューより［日本語（Japanese）］になっていることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

5　インストールの場所を指定する

［Kimosetter 410 RIP Installer］ダイアログから、インストールの場所を指定して［インストール］ボタンをクリックします。

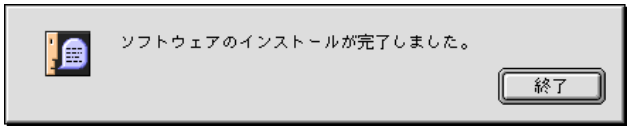
6　環境設定情報を初期化する

環境設定情報を初期化するメッセージが表示されるので［はい］ボタンをクリックします。



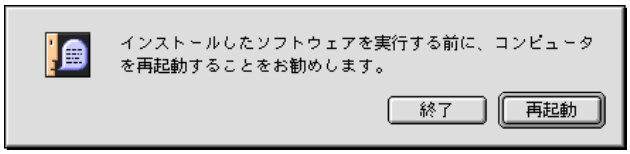
7　メッセージを確認する

Adobe PostScript Driverのインストールメッセージが表示されるので［OK］ボタンをクリックします。



8 インストールを完了する

インストール完了のメッセージが表示されるので[終了]ボタンをクリックします。



参考

・再起動を行うメッセージが表示された場合は、再起動は行わず、[終了]ボタンをクリックします。再起動はAdobe PostScript Driverをインストールした後に行います。

・Adobe PostScript DriverはClassicアプリケーションからしか使用することができません。Mac OS X対応のアプリケーションからプリントを行うにはシステム標準のPostScriptドライバを使用します。この後のSTEPで詳しく説明します。

9 Adobe PostScript Driverのインストールを行う

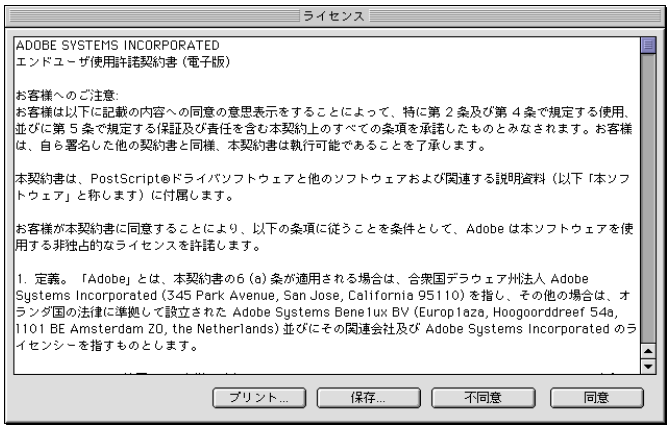
「Kimosetter 410 RIP 1.0 CD」フォルダにある、「AdobePS Installers」フォルダを開き、[Japanese AdobePS Installer]アイコンをダブルクリックします。

参考

CD-ROMに入っているAdobe PostScript DriverはAdobePS8.8Jです。既にインストールされている場合は、インストールする必要はありません。

10 契約書の内容に目を通す

画面の指示に従い[続ける]ボタンをクリックすると、[エンドユーザライセンス契約書]が表示されます。契約書の内容に目を通し、同意していただいた場合には[同意する]ボタンをクリックします。



11　インストールの場所を指定する

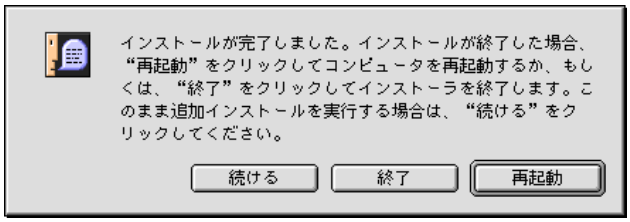
[Japanese AdobePS Installer]ダイアログから、インストールの場所を指定して[インストール]ボタンをクリックします。

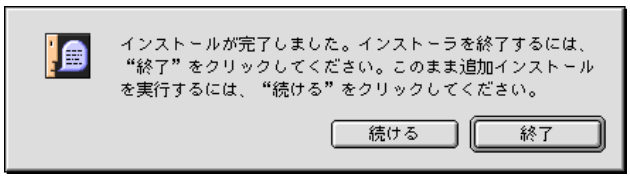
注意

インストールの場所には、必ずKimosetter 410 RIPを起動するClassicシステムが入ったボリュームを指定してください。

12　インストールを完了し、再起動する

インストール完了のメッセージが表示されるので[再起動]ボタンをクリックし、Macintoshを再起動します。





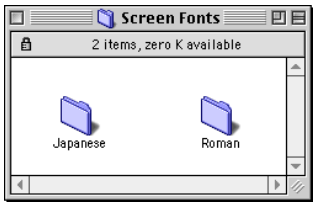
和文スクリーンビットマップフォントのインストール

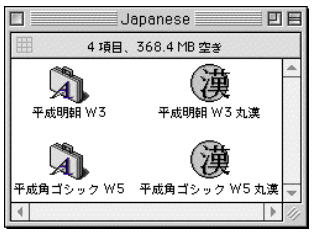
Kimosetter 410 RIP 1.0 CDには「平成明朝 W3」と「平成角ゴシック W5」の和文スクリーンビットマップフォントが付属されています。

注意

すでにATMフォントとして、同名のフォントをインストールしている場合は、RIPに付属している和文スクリーンビットマップフォントをインストールしないでください。インストールを行うと、ATMフォントがスクリーンビットマップフォントに置き換わってしまいます。

1 [Kimosetter 410 RIP] CD内の [Screen Fonts] フォルダを開き、[Japanese] フォルダを開く





2 インストールする

[Japanese]フォルダにある全てのファイルを選択し、[システム]フォルダにある[フォント]フォルダにドラッグ＆ドロップします。

注意

[システム]フォルダは、必ずKimosetter 410 RIPを起動するClassicシステムが入ったフォルダを選択してください。Classic環境で使用するにはここにコピーします。

3 再起動する

Mac OS Xの[Appleメニュー]から「システム環境設定」を起動して「Classic」アイコンを選択します。表示が切り替わったら「再起動」ボタンをクリックします。

参考

続けて欧文フォントをインストールする時には再起動せずに次へ進んでください。

欧文スクリーンフォントのインストール

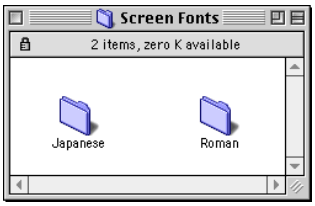
Kimosetter 410 RIP 1.0 CDには「Type1フォント（117書体）」と「TrueTypeフォント（19書体）」の欧文スクリーンフォントが付属されています。

注意

・MacintoshのシステムにTrueType形式のTimes、Helvetica、Courier、Symbolのスクリーンフォントが入っている場合、Type1形式のフォントに置き換えます。

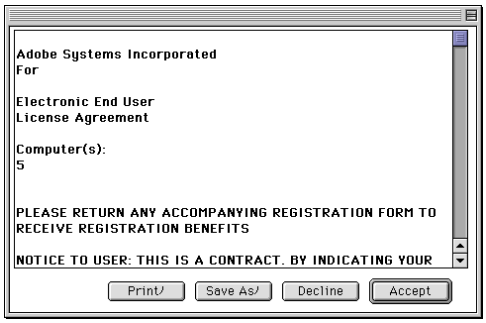
・初期設定ではNew YorkはTimes、GenevaはHelvetica、MonacoはCourierに置き換わります。置き換えずにプリントする場合は、Adobe PostScript Driverの[用紙設定]の[PostScriptオプション]タブの[代用フォント]のチェックを外してください。

1　[Kimosetter 410 RIP] CD内の [Screen Fonts] フォルダを開き、[Roman] フォルダを開く



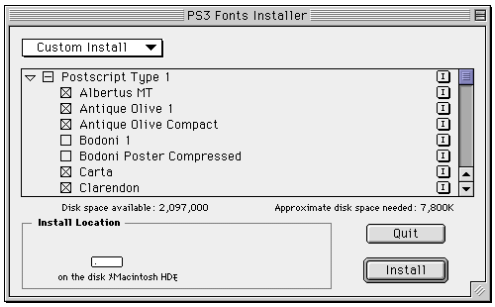
2　許諾書の内容に目を通す

[PS3 Fonts Installer] アイコンをダブルクリックします。使用許諾契約 [Electronic End User License Agreement] が表示されます。契約書の内容に目を通し、同意していただいた場合には [Accept] ボタンをクリックします。



3　追加するフォントを選択する

[PS3 Fonts Installer] ダイアログから、インストールの場所を指定し、[Custom Install] を選択して追加するフォントを選び、[Install] ボタンをクリックします。



注意

[Easy Install] を選択した場合、全てのフォントがインストールされます。[Custom Install] を選択して、使用するフォントを選択してインストールします。

4　再起動する

インストール完了のダイアログが表示されます。[Restart] ボタンをクリックして、再起動します。

参考

Classic環境で実行している時には、Classicのみ再起動します。

コンピュータ名の設定

Kimosetter 410 RIPをMac OS X上で使用するには、Mac OS X上のコンピュータ名と、Kimosetter 410 RIPを起動するClassic上のコンピュータ名を同じに設定する必要があります。以下のステップに従って設定を行ってください。

1 システム環境設定を起動する

Mac OS Xの[アップルメニュー]から[システム環境設定...]を選択して起動します。

2 共有アイコンを選択する

[システム環境設定]が起動されたら、一覧から[共有]のアイコンを選択します。

3　コンピュータ名の設定

[コンピュータ名]を設定します。

4　システム環境設定の終了

設定が終了したら[システム環境設定]を終了します。

5 Classic環境の起動

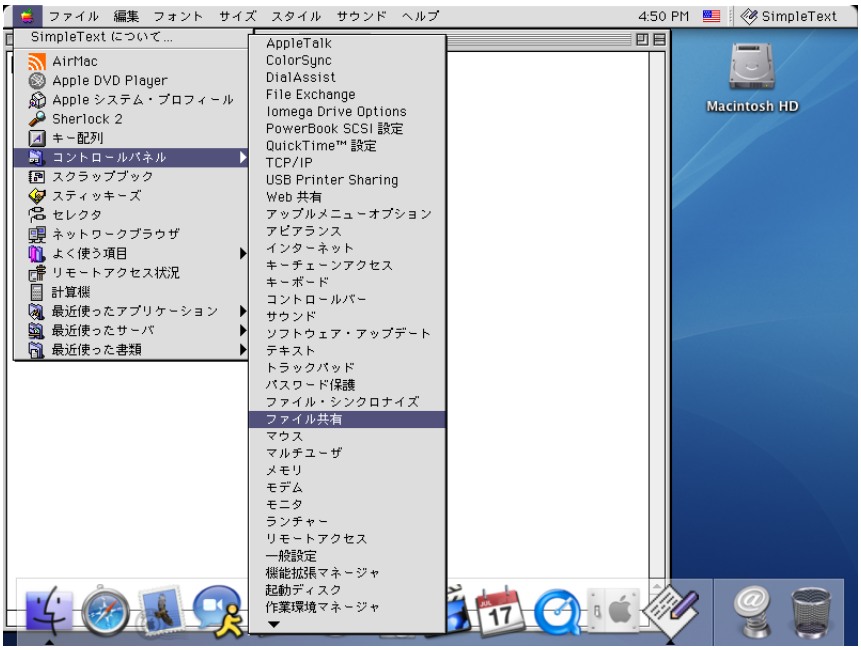
Classicアプリケーションを起動します。ここでは、仮に[SimpleText] を起動します。

注意

ここで、Classicに必要なファイルのアップデートが必要になる場合があります。アップデートボタンをクリックして、必要なファイルをコピーしてClassic環境の起動を継続します。

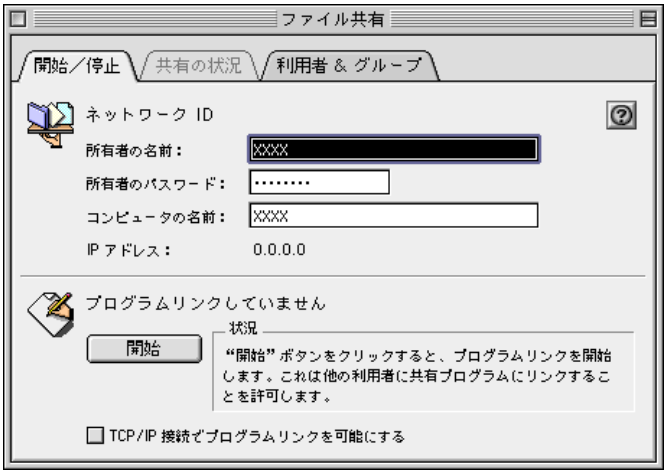
6　ファイル共有コントロールパネルを開く

Classicアプリケーションが起動できたら、Classicの[アップルメニュー]から[コントロールパネル]を選択して[ファイル共有]を起動します。



7　コンピュータの名前の設定

[ファイル共有]コントロールパネルが起動できたら、[コンピュータの名前]を前述のコンピュータ名と同じ設定にします。



8　ファイル共有コントロールパネルを終了

設定が終了したらファイル共有コントロールパネルを終了します。

プリンタのセットアップ

RIPを起動して、プリンタのセットアップを行います。

参考

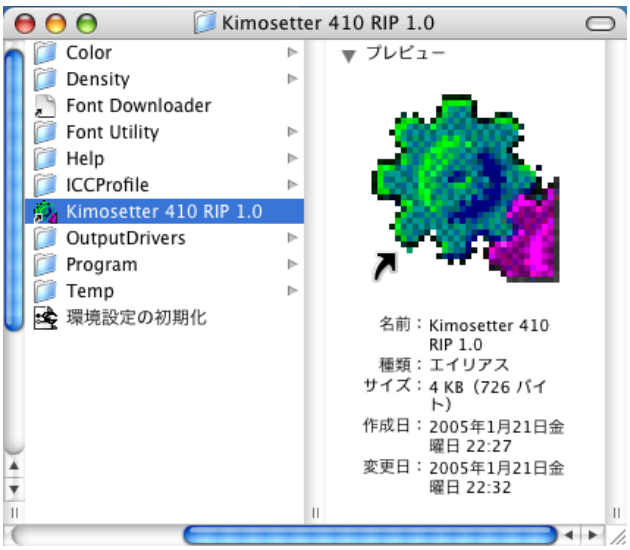
[Kimosetter 410 RIP 1.0]はRIPをインストールしたMacintoshから直接プリントできるほか、RIPをインストールしたMacintoshをプリントサーバーとして使用し、ネットワークに接続されている個々のクライアントよりプリントすることもできます。

1 RIPを起動する

[Kimosetter 410 RIP 1.0]アイコンをダブルクリックします。

注意

[Kimosetter 410 RIP 1.0]アイコンは、Mac OS Xのデスクトップには表示されません。インストール先のフォルダ[Kimosetter 410 RIP 1.0]にあるアイコンを探してダブルクリックしてください。

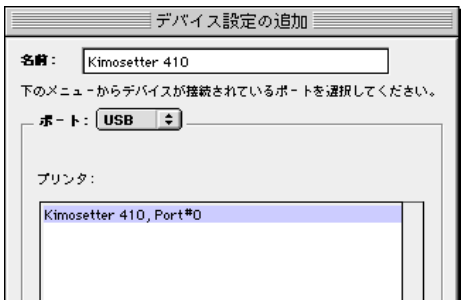


2 デバイス設定の追加を確認する

[デバイス設定の追加]ダイアログで[メーカー名]、[機種名]の確認を行い[次へ]ボタンをクリックします。

3　ポートを選択する

[デバイス設定の変更]ダイアログで、現在プリンタを接続しているポート(Mac OS X Classic環境では必ずUSBポート)を選択します。ポートを選択すると、接続されているプリンタ名が表示されます。この中から使用するプリンタを選択して[OK]ボタンをクリックします。



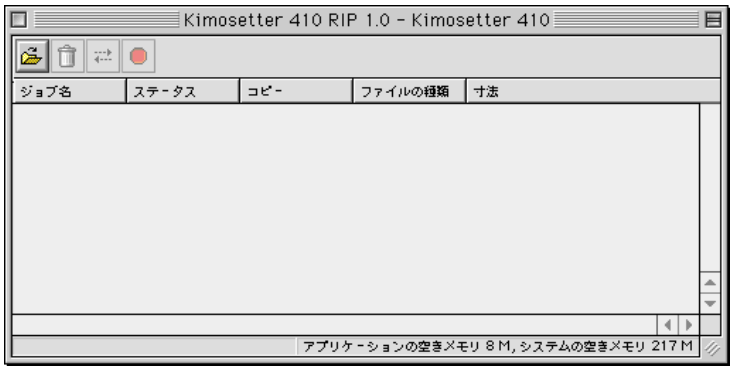
注意

・[デバイス設定の変更]ダイアログで表示される[名前]は、標準設定のままで使用してください。

・Kimosetter 410プリンタを長い間接続状態にしておくと「デバイス設定の追加」ダイアログでプリンタが表示されない場合があります。USBケーブルの抜き差しを行うことで復帰する場合があります。それでも改善されない場合には、プリンタの電源、USBケーブルの接続などの基本的な確認をしてください。

4　RIPの起動を確認する

プリントモニタが表示されることを確認します。



5 テスト印刷を行う

プリンタとの接続を確認するために、テスト印刷を行うことをおすすめします。

5-1 インクカセットをセットする

第1章「インクカセットの取り扱い方」を参照して、インクカセットをセットします。

5-2 用紙をセットする

第1章「用紙をセットする」を参照して、用紙をセットします。このとき用紙は、A4サイズ以上の用紙をセットします。テスト印刷のパターンはA4サイズです。

5-3 テスト印刷を実行する

[デバイス設定]-[テスト印刷]でテスト印刷を実行します。

プリンタの登録

アプリケーションからプリントを行うときは、Kimosetter 410 RIP 1.0に登録されたKimosetter 410をシステムに登録する必要があります。Classicアプリケーションからプリントを行う場合と、Mac OS Xアプリケーションからプリントを行う場合について説明します。以下のステップに従って設定を行ってください。

Classicアプリケーションからプリントを行うには

Classicアプリケーションからプリントを行うには[セレクタ]でプリンタを選択します。

参考

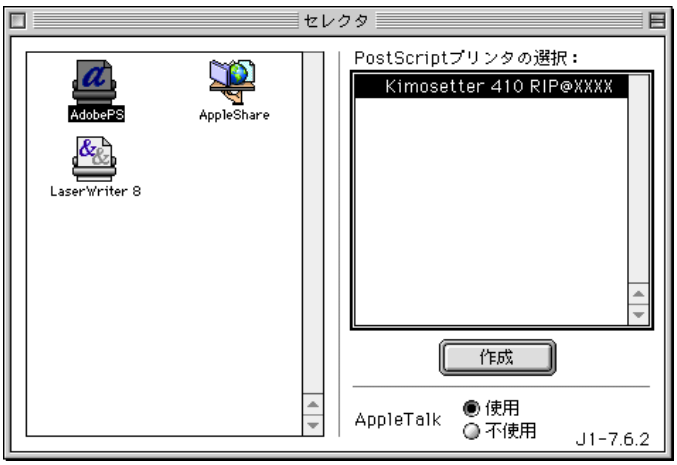
ネットワーク経由のクライアントからプリントする場合には、CD-ROMの[Printer Descriptions]フォルダ内にあるPPDファイル[AmKMT410.PPD]をクライアントの[システムフォルダ]-[機能拡張]-[プリンタ記述ファイル]フォルダにコピーします。Kimosetter 410 RIP 1.0をインストールしたシステムフォルダにはインストーラがPPDファイルをコピーしています。

1　セレクタを起動する

[アップルメニュー]から[セレクタ]を起動します。

2　プリンタを選択する

[AdobePS]を選択します。[PostScriptプリンタの選択]から[Kimosetter 410@XXXX](XXXXは使用しているコンピュータの名前が表示されます)を選択して[設定]ボタンをクリックします。

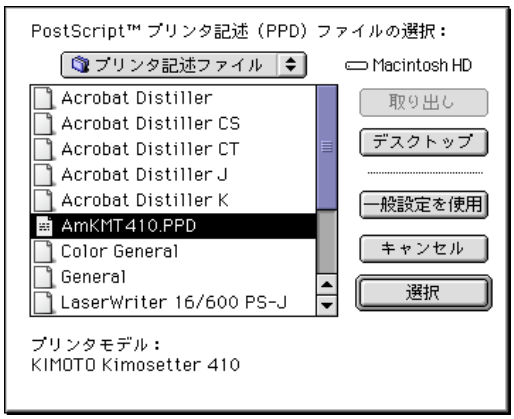


注意

AppleTalkが起動していないとセレクタに表示されない場合があります。特にスタンドアロンの場合に発生します。Ethernetのポートに少なくともHUBを接続するなどAppleTalkがアクティブな状態にしてください。

3 PPDファイルを選択する

PPDファイルの選択ダイアログが表示されるので、[システムフォルダ]-[機能拡張]-[プリンタ記述ファイル]フォルダを順にたどり[AmKMT410.PPD]を選択して[選択]ボタンをクリックします。



注意

デスクトッププリンタのアイコンはMac OS Xのデスクトップには表示されません。

4 セレクタを終了する

クローズボックスをクリックするか、[ファイルメニュー]から[閉じる]か[終了]を選択してセレクタを終了します。

Mac OS Xアプリケーションからプリントを行うには

Mac OS XアプリケーションからClassicで起動しているKimosetter 410 RIP 1.0でプリントを行うには、[プリントセンター]でプリンタを登録する必要があります。登録を行うために、PPDファイルをMac OS Xへインストールします。

1　[Kimosetter 410 RIP]CD内のClassic PPD Installerを起動する

［Classic PPD Installer］フォルダ内の「Classic PPD Installer」をダブルクリックして起動します。

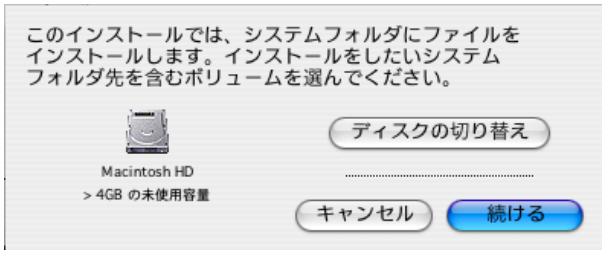
2　認証ダイアログで管理者パスワードを入力します

システム領域へファイルをコピーするために、管理者の認証が必要となります。管理者権限をもったユーザー名を入力しパスワードを入力してください。
「OK」ボタンをクリックします。

3 インストールを開始します

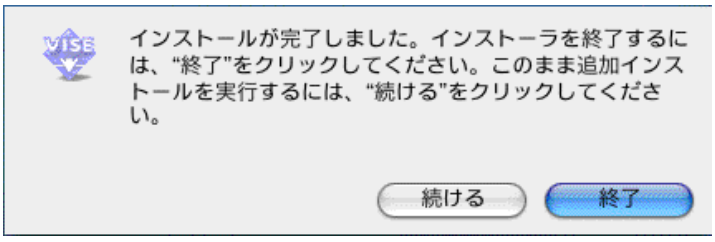
Classic PPD Installerのダイアログで「インストール」ボタンをクリックしてインストールを開始します。

パーティションを切り直した場合、ハードディスクを増設した場合、別ディスクにMac OS Xのシステムがある場合にインストールを行う場合などは「ディスク切り替え」ボタンをクリックして正しいインストール先になるまでくり返し、「続ける」ボタンをクリックしてください。



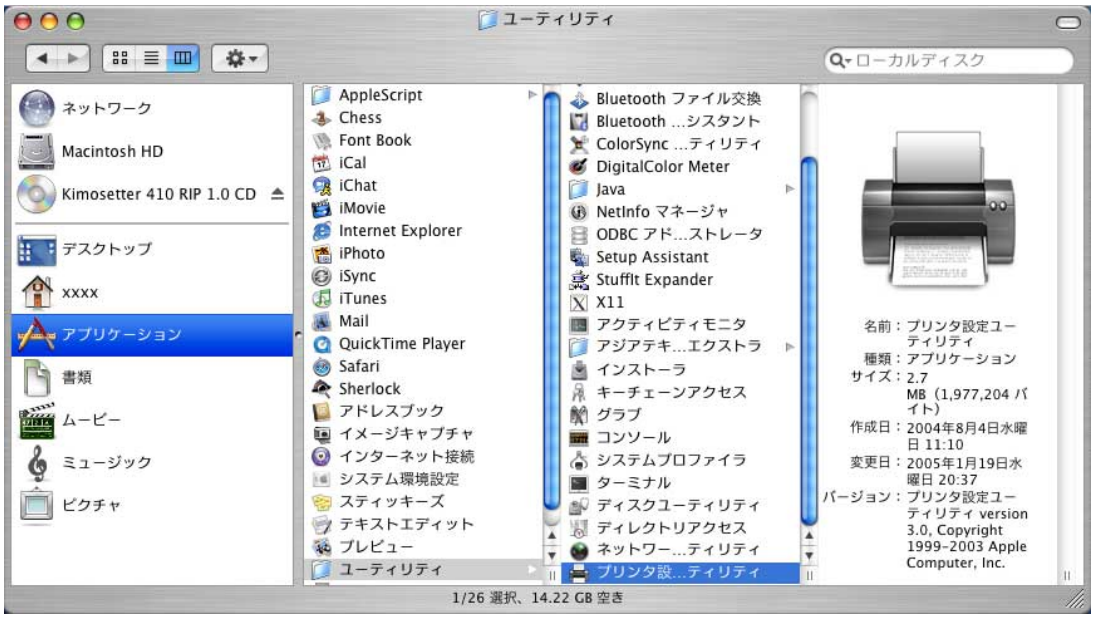
4 Classic PPD Installerを終了する

インストールが完了の確認ダイアログが表示されます。「終了」ボタンをクリックして「Classic PPD Installer」を終了して下さい。

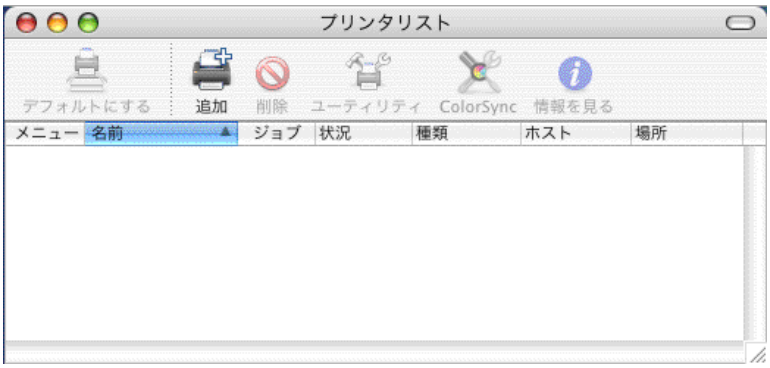


5　プリンタ設定ユーティリティを起動します

サイドバーの「アプリケーション」-「ユーティリティ」-「プリンタ設定ユーティリティ」を起動します。

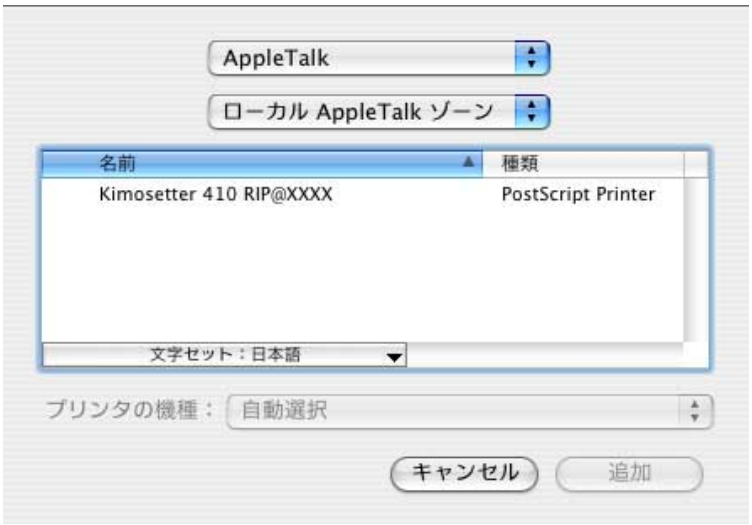


プリンタリストのウィンドウで[追加]ボタンをクリックします。



6 プリンタを選択する

上のメニューから[AppleTalk]を選択します。リストに表示されている[Kimosetter 410@XXXX]（XXXXは使用しているコンピュータの名前が表示されます）を選択します。



注意

プリンタが表示されないときは、Classic環境の再起動を行ってください。それでも表示されない場合は、再度プリンタのセットアップをやり直してください。

7 プリンタの機種を選択する

[プリンタの機種：]メニューをクリックして[その他...]を選択します。

8　PPDファイルを選択する

ファイルの選択ダイアログが表示されるので、[Macintosh HD]から順に[ライブラリ]-[Printers]-[PPDs]-[Contents]-[Resources]-[ja.lproj]と選択していきます。[ja.lproj]フォルダ内の[AmKMT410.PPD]を選択して[選択]ボタンをクリックします。

9　追加ボタンをクリックする

「プリンタの機種：」メニュー、「機種名」のリストの選択が確認できたら「追加」ボタンをクリックします。

10 プリンタ設定ユーティリティを終了する

[プリンタ設定ユーティリティ]のメニューから[プリンタ設定ユーティリティを終了]を選択して[プリンタ設定ユーティリティ]を終了します。これでどのMac OS X対応のアプリケーションからでも[プリント]を実行すると[Kimosetter 410@XXXX]（XXXXは使用しているコンピュータの名前が表示されます）が選択できるようになります。

プリント方法

Classicアプリケーションからプリントを行うには、マニュアルに記載されている2通りのプリント方法があります。詳細はマニュアルを参照して下さい。

[データ作成したアプリケーションを起動せずにプリントする方法]

[データ作成したアプリケーションを起動してプリントする方法]

Mac OS Xアプリケーションからプリントするには、以下のステップでプリントを行います。

1　Mac OS Xアプリケーションで、データを作成する

Mac OS Xアプリケーションを起動してプリントするデータを作成します。

2　Kimosetter 410 RIPの設定

Kimosetter 410 RIPを起動する前にあらかじめClassicを起動しておいて下さい。
Kimosetter 410 RIPを起動して[デバイス設定のプロパティ]を実行します。
各タブの設定を確認します。
[全般]タブ：[メディアサイズ]
[ポート]タブ：[プリンタ]リスト上にプリンタ名が表示されていることを確認します。
[プリント]タブ：

メディア：プリンタの選択で切り替わる
品質：使用するハーフトーンを選択
濃度調整：特に指定しない場合は[なし]
ドライバオプション：オフセットを確認

注意

プロパティの設定は必ずジョブを追加する前に行っておいてください。

3 [ファイル]メニューから[ページ設定...]を選択する

Mac OS Xアプリケーションの[ファイル]メニューから[ページ設定...]を選択し、ページ属性ダイアログを表示します。

[対象プリンタ]のメニューから、[Kimosetter 410@XXXX](XXXXはコンピュータの名前が表示されます)を選択すると、Kimosetter 410がサポートしている用紙サイズが表示されます。

ここで正しい用紙サイズを選択して、方向、拡大縮小を設定してOKボタンをクリックします。

4　[ファイル]-[プリント...]を選択する

アプリケーションの[ファイル]メニューから[プリント...]を選択し、プリントダイアログを表示させます。

参考

ポップアップメニューから[プリンタの機能]を選択して、設定を変更することができます。

[スプール後の処理]　プリントモニタにジョブが追加された後の処理を設定します。
[保留]に設定すると、自動でRIP処理を行いません。
[プリント]に設定するとRIP処理後、プリントを行います。

[プリント後の処理]　プリント後のジョブの処理を設定します。
[保留]と[削除]を選択できます。

[ネガ出力]　[無効]と[有効]を選択できます。
[有効]にすると、ネガ(白黒反転)でプリントします。

[左右反転出力]　[無効]と[有効]を選択できます。
[有効]にすると、左右反転されてプリントします。

6　[プリント]ボタンをクリックする

プリントダイアログから[プリント]ボタンをクリックします。

第4章
メンテナンス・仕様

本章では、プリンタのメンテナンス方法や本体の仕様などについて説明します。

プリンタのメンテナンス

本プリンタを長期間にわたって快適にご使用いただくため、定期的に清掃を行うことをおすすめいたします。

本体の清掃

本体の清掃は、以下の手順で行います。

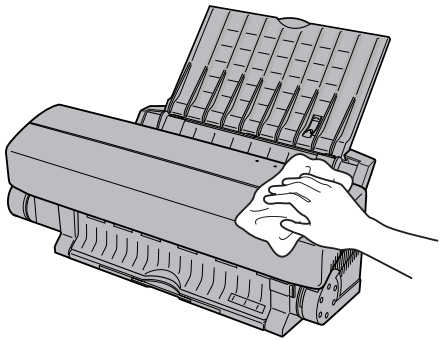
注意

必ずプリンタの電源を切ってから行ってください。

1　プリンタの電源を切る

2　外側を掃除する

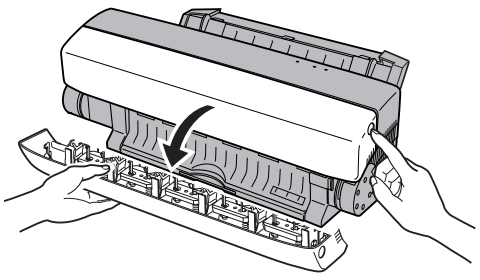
本プリンタの外部を清掃します。 本プリンタ外部についたホコリや汚れは、早いうちに柔らかい布で拭き取ります。



3　内側の清掃

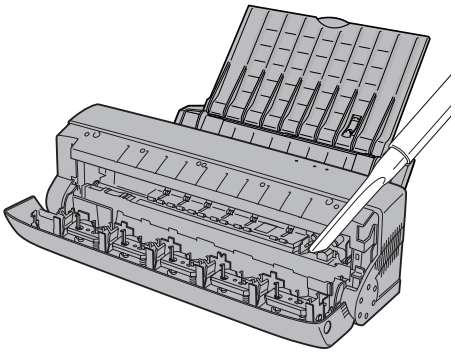
3-1　フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。



3-2 内側を掃除する

本プリンタ内部の掃除をします。本プリンタ内部にたまったホコリやゴミを掃除機を使用して取り除きます。



注意

・電子部品や配線をいためないよう注意してください。

・ブラシの毛などが中に残らないようにしてください。

印字ヘッドの清掃

印字品質を保つため、消毒用アルコール（エチルアルコール）と綿棒を用意し、印字ヘッドの清掃を行います。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

注意

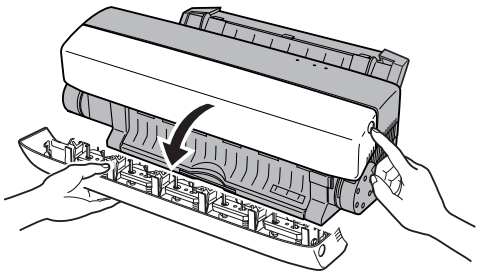
・ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品、水は使用しないでください。変質する恐れがあります。

・プリンタの内部は濡らさないでください。

1　プリンタの電源を切る

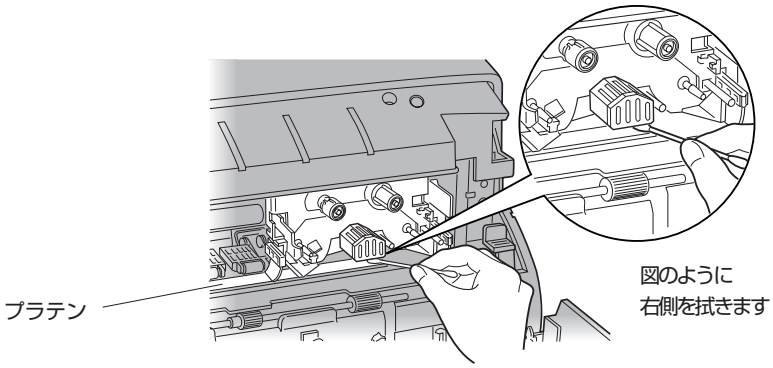
2　フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。



3　印字ヘッドを掃除する

消毒用アルコールを含ませた綿棒で印字ヘッドを拭きます。 一度で印字ヘッドの汚れがとれない場合がありますので、何度か繰り返して行います。



注意

・アルコールがプラテンにつかないよう注意してください。

・清掃後の印字はアルコールが乾いてから行ってください。

・インクリボンのズレによる白スジが入る場合は、左側も右側と同様に拭いてください。

プラテンの清掃

印字品質を保つため、セロハンテープを用意し、プラテンの清掃を行います。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

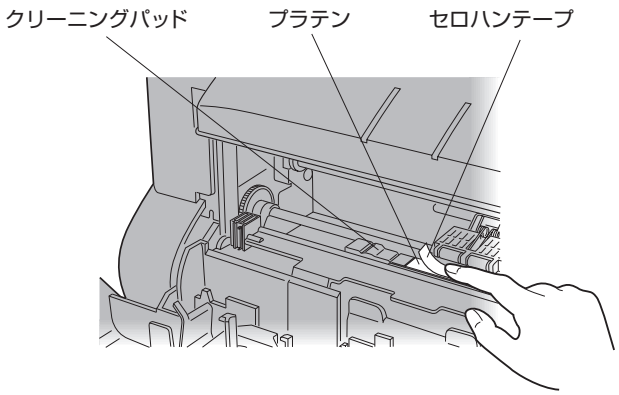
1 プリンタの電源を切る

2 フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。

3 プラテンを掃除する

プラテンの汚れた部分にセロハンテープを貼り、指でテープの上をこすります。

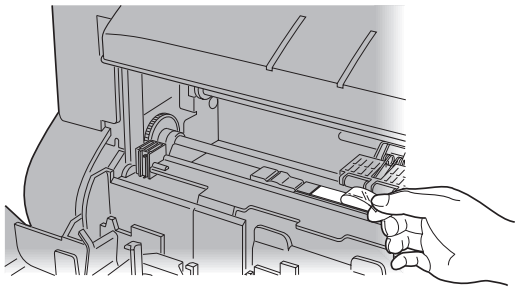


注意

プラテンの左側にあるクリーニングパッドには触れたり、はがさないでください。故障の原因になります。

4 テープをはがす

ゆっくりとテープをはがします。 プラテンの汚れがとれるまで繰り返します。



用紙送りローラの清掃

正しい紙送りを保つため、消毒用アルコール（エチルアルコール）と綿棒で用紙送りローラの清掃を行います。

注意

・ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。変質する恐れがあります。

・プリンタの内部は濡らさないでください。

1　プリンタの電源を切る

プリンタを初期状態にするために電源を切ります。

2　プリンタを初期状態にする

プリンタの電源を入れ、powerランプとreadyランプを点灯させます。

3　フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。

4　キャリッジを左に移動させる

errorランプが点滅している状態で、ready/insertボタンを押して、キャリッジを左に移動させます。

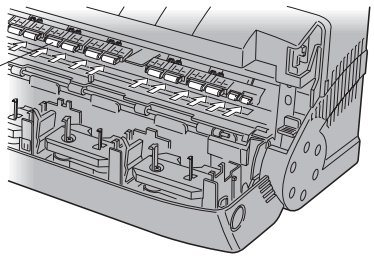
注意

プリンタの内部には手を入れないでください。キャリッジが左に移動する時に手が挟まれ、ケガや故障の原因となります。

5　用紙送りローラを清掃する

消毒用アルコール（エチルアルコール）を含ませた綿棒で、小ローラーと接触している用紙送りローラ（金属のローラ）の汚れを拭きとり、その後きれいな布で乾拭きしてください。一度で汚れがとれない場合がありますので、何度か繰り返して行います。

小ローラ（図の白い部分）と
接触している用紙送りローラ
（金属のローラ）の汚れを拭き取る



注意

・アルコールがプラテンにつかないよう注意してください。

・清掃後の印字はアルコールが乾いてから行ってください。

6 用紙送りローラを回転させる

ready/insertボタンを押して離すと、用紙送りローラが一定量回転します。汚れている部分を同様に消毒用アルコール(エチルアルコール)を含ませた綿棒で用紙送りローラを拭きます。

7 フロントカバーを閉じる

清掃が終了したらフロントカバーを静かに閉じます。

給紙ローラの清掃

長期間プリンタを使用すると、ホコリなどが給紙ローラに付着して、紙送り不良(用紙が給紙されない)を起こすことがあります。使用中に給紙動作が不安定になった場合は、下記の手順で除菌用アルコールウェットティッシュと綿棒を使用して給紙ローラの清掃を行います。

注意

・ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。変質する恐れがあります。

・プリンタの内部は濡らさないでください。

1 プリンタの電源を切る

給紙ローラの清掃を行うときは、プリンタを初期状態にするために電源を切ります。

2 用紙を取り除く

用紙トレイ内に用紙がある場合は、用紙を取り除いてください。

3 プリンタを初期状態にする

プリンタの電源を入れ、powerランプとreadyランプを点灯させます。

4 フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。

5 プリンタを清掃モードにする

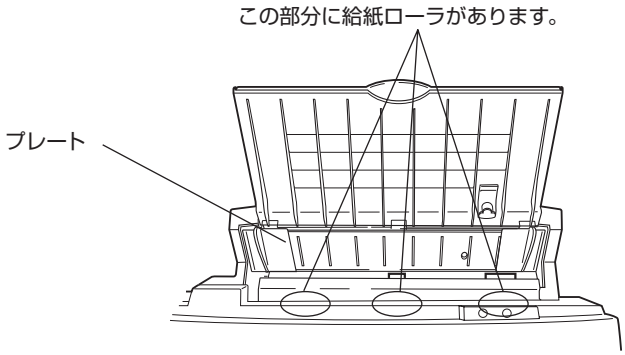
errorランプが点滅している状態で、ready/insertボタンを押して、キャリッジを左に移動させます。

注意

プリンタの内部には手を入れないでください。キャリッジが左に移動する時に手が挟まれ、ケガや故障の原因となります。

6　給紙ローラの位置を確認する

給紙ローラは、用紙トレイのコルクが貼り付けてある位置のプリンタ側に合計5ヶ所あります。



7　給紙ローラを清掃する

プレートを手で押さえて、アルコールウェットティッシュで給紙ローラの汚れを拭きとり、残った汚れを綿棒で再度拭きとってください。 ローラには横に溝が入っていますので、溝に沿って拭いてください。また、用紙トレイのコルクも一緒にアルコールウェットティッシュで拭いてから、きれいな布で乾拭きしてください。

8　給紙ローラを回転させる

ready/insertボタンを押して離すと、給紙ローラが一定量回転します。同様に軽く水分を含ませた綿棒で給紙ローラを拭きます。なお、給紙ローラを回転させると、プレートが上がってきますがそのまま清掃を続けても問題ありません。

注意

用紙トレイの内部に、綿棒や手を入れた状態でready/insertボタンを押さないでください。用紙トレイ内部に引き込まれて、ケガや故障の原因となります。

9　フロントカバーを閉じる

ready/insertボタンを25～26回押すと、給紙ローラが1回転します。給紙ローラの全周の清掃が終了したら、フロントカバーを静かに閉じます。

ready/insertボタンの機能

本プリンタのready/insertボタンは多機能ボタンとなっており、本プリンタの状態により機能が異なります。 通常印字時における、それらの機能および操作方法を説明します。

●用紙の給紙・排紙

用紙の給紙

用紙なしエラーの時、用紙をセットしてready/insertボタンを押すと、用紙が給紙されます。

用紙の排紙

用紙が給紙されている状態で、コンピュータからデータを受信していないとき（readyランプが点灯状態）に、ready/insertボタンを押すと、用紙が排紙されます。

●アラームの解除

ハードエラーおよびメカニズムエラー以外のエラーがあったとき、そのエラー要因を取り除いたあとにready/insertボタンを押すと、アラームを解除できます。

●強制印字またはデータのクリア

コンピュータからのデータ送信が一定時間（約30秒）以上中断されたような場合（readyランプが高速点滅）に、ready/insertボタンを押すと、すでに受信していたデータを強制的に印字し、用紙を排出します。

ランプ表示一覧

各ランプの表示

ランプ	ランプ状態	状　態
power	☼	プリンタの電源が投入されている間は常に点灯
	◐	デモパターン印刷中は高速点滅
	●	電源が切断されている間は点灯
ready	☼	データなし、待機状態
	☼	データ受信、処理中
	◐	データあり、強制印刷可能
error	◐	プリンタ内に何らかのエラーを検出したときに高速点滅
	●	プリンタが正常な状態のときに消灯

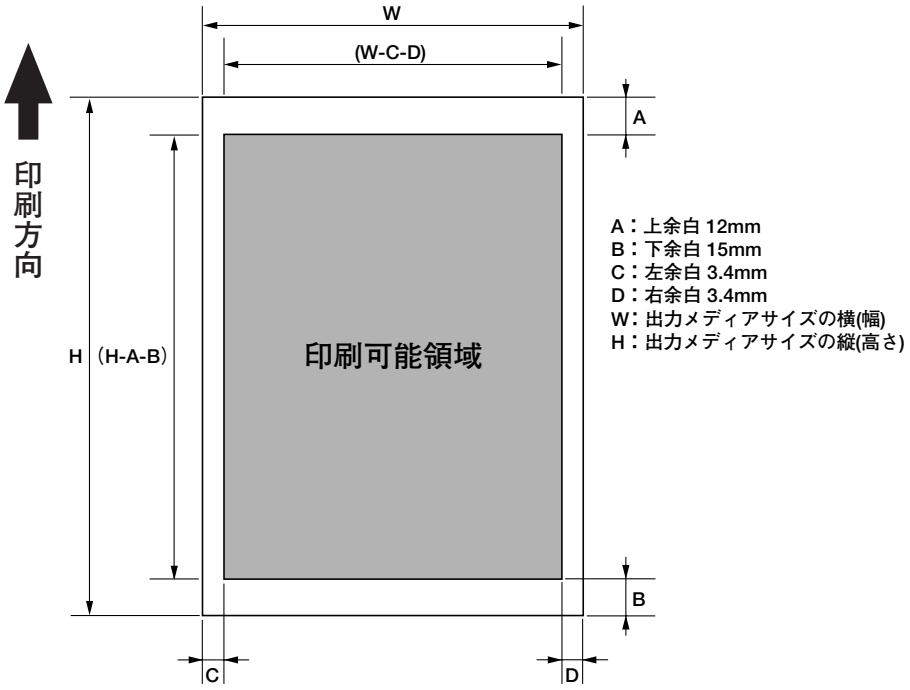
点灯：☼　高速点灯：◐　低速点灯：☼　点灯：●

仕様

一般仕様

印字ヘッド	240ドット
印字速度	50cps相当 10cpiの文字を印字した場合
解像度	1200×600dpi
印字幅	12.7インチ
改行方式	フリクションフィード方式
用紙幅	98～410mm
用紙長	98～510mm
印字用紙	キモプレートe2
プリンタバッファ	32KB
外形寸法・重量	約568（幅）×270（奥行）×202（高さ）、約9.8kg
インターフェース	USB：Universal Serial Bus Specification Revision 1.0
電源	AC100～240V
機械寿命	印字10,000パス
騒音	54db
消費電力	最大約54W　待機時約10W
使用環境	温度：15～30℃ 湿度：30～70%（結露なきこと）
保管環境	温度：0～35℃ 湿度：30～70%　（結露および凍結なきこと）

印字範囲



メディアサイズ	左マージン	右マージン
“335 x 485 mm”	3.4mm	8.2mm
“340 x 505 mm”	3.4mm	13.2mm
“370 x 450 mm”	30mm	16.6mm
“400 x 467 mm”	30mm	46.6mm
“404 x 483 mm”	30mm	50.6mm
“405 x 483 mm”	30mm	51.6mm
“400 x 510 mm”	30mm	46.6mm
“410 x 510 mm”	30mm	56.6mm

オプションとサプライ品について

Kimosetter 410用サプライ品一覧

インクカセット

商品名
キモプレートe²用 インクカセット

用紙類

商品名
キモプレートe²

第5章
修理に出す前に

本章では、プリンタトラブル時の回避方法を記載しています。修理に出す前には必ず本章をお読みください。

なお、本章は以下の構成になっています。

1.はじめに

2.困ったときには

3.エラーメッセージが表示されたときには

4.保証、修理依頼方法

1.はじめに

本プリンタを使用中、何らかのトラブルが発生した場合にお読みください。お客様ご自身での簡単なメンテナンスによって、トラブルが解消できる場合があります。
本章では、以下の2つの方法により、トラブルの対処方法を記載しています。

■プリンタそのものやその印字結果に症状が出ている場合の対処方法
「困ったときには」をお読みください。

■画面に「エラーメッセージ」が表示された場合の対処方法
「エラーメッセージが表示されたときには」をお読みください。

各項目に記載された、それぞれの手順と注意事項をよくお読みになり、対処してください。記載された対処方法でトラブルが解消できない場合は、修理依頼が必要となります。「保証、修理依頼方法」の項目をお読みになり、修理依頼の準備を行ってください。
なお、対処方法についてご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせください。

参考

・本書巻末には、「問い合わせ/修理依頼シート」の書式を記載しています。株式会社きもと へのお問い合わせや修理ご依頼の際には、こちらの書式をコピーして、必要事項をご記入の上ご利用ください。

・次項からの対処方法で説明している記述の中には、個々の部品名称が多く使われています。わからない用語が出たときには、巻末の「索引」から検索するか、第1章「基本操作ガイド」の「各部の名称とその働き」他を参照してください。

2.困ったときには

印字動作が行われない、あるいは印字結果に異常が起きている場合は以下の個別の現象に応じて対処します。

電源が入らない

以下の項目を確認します。

●電源コードが抜けていないか。

第1章「プリンタの準備をする」の **10** を参照し、電源コードが、プリンタの電源コード差し込み口に奥までしっかりと差し込まれているか確認します。差し込まれていない場合は、奥までしっかりと差し込みます。その後、powerボタンを押してpowerランプが点灯することを確認します。

●電源コードを集中スイッチに接続して、コンピュータや周辺機器を同時に電源ON／OFFしていないか。

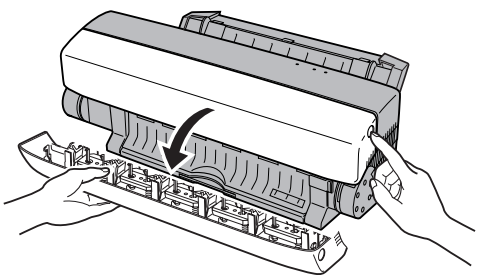
AC電源の集中スイッチには対応していません。集中スイッチの場合はAC電源投入後、プリンタ本体のpowerボタンをONにします。

紙づまりが起きたとき

紙づまりが起きた場合、次の手順で用紙を取り除きます。

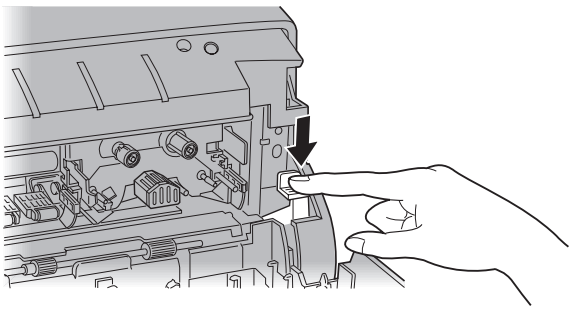
1 フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーを開けます。



2　用紙を取り出す

リリースレバーを押し下げて、用紙を静かに引き抜いてください。 プラテンが汚れている場合も紙づまりの原因になります。第4章の「プラテンの清掃」の内容にしたがって清掃します。



3　フロントカバーを閉じる

フロントカバーを静かに閉じます。

参考

フロントカバーを閉じると自動的にリリースレバーが元の位置に戻ります。

キャリッジからインクカセットが外れないとき

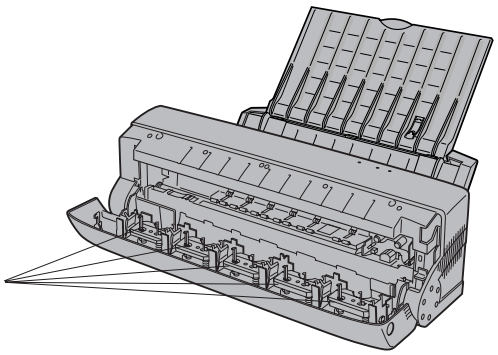
次の手順でインクカセットを取り外し、HPセンサー、マーカーシール、インクカセットのバーコードを必ず清掃してからご使用ください。(清掃方法は、「HPセンサーとマーカーシールの清掃」を参照してください。)

1 プリンタの電源を切る

2 フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押してフロントカバーを開けます。

3 インクカセットホルダからインクカセットを全て取り外す



5ヶ所のインクカセットホルダから
インクカセットを全て取り外します

4 フロントカバーを閉じる

5 プリンタの電源を入れる

プリンタの電源を入れると、キャリッジにあるインクカセットを、インクカセットホルダに戻す動作を行います。正常に戻るとpowerランプとreadyランプが点灯します。

注意

・インクカセットホルダに戻らない場合は、errorランプが点滅します。

6 フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトを押してフロントカバーを開けます。

7 確認を行う

キャリッジにあったインクカセットがインクカセットホルダにあることを確認します。

上記の方法でキャリッジからインクカセットが外れない場合は、次の手順でキャリッジからインクカセットを取り外します。

キャリッジからインクカセットを取り外す場合

次の手順でインクカセットを取り外します。

1　プリンタの電源を入れる

キャリッジにインクカセットがあるため、errorランプが点滅します。

2　フロントカバーを開ける

フロントカバーイジェクトボタンを押して、フロントカバーに手を添えて静かに開けます。

3　プリンタの電源を切る

4　プリンタの電源を入れる

5　ready/insertボタンを押す

ready/insertボタンを約3秒間押し続けると、インクカセットが前面に出てきます。

6　インクカセットを取り外す

ready/insertボタンを押したまま、インクカセットを左側に寄せながら、ゆっくり手前に取り外します。

7　ready/insertボタンから手を離す

インクカセットを取り外した後、ready/insertボタンから手を離します。約5秒後に、キャリッジの前面に出ていた部分が戻ります。

8　フロントカバーを閉じる

キャリッジの前面に出ていた部分が戻ったことを確認した後に、フロントカバーを静かに閉めます。

電源を入れると異音が発生する

以下の項目を確認します。

●インクカセットがインクカセットホルダから外れている。
フロントカバーを開けて、インクカセットを正しく装着し直します。

●用紙がつまっていないか。
本章「紙づまりが起きたとき」を参照し、用紙を取り除きます。

●水平な場所で使用しているか。
傾いている場所でプリンタは正しく動作しません。水平で安定した場所で使用します。

●振動や衝撃のある場所で使用していないか。
振動や衝撃はトラブルの原因になります。振動や衝撃のない場所で使用します。

●フロントカバーが正しく閉じられているか。
フロントカバーが開いているとプリンタは正しく動作しません。フロントカバーはしっかりと閉めます。

●プリンタの上にものを置いていないか。
プリンタの上にものを置いていたり、周囲から圧力を受けた状態ではプリンタが正しく動作しない場合があります。プリンタの上にはものを置かないようにします。

●キャリッジに直接インクカセットをセットしていないか。
キャリッジには直接インクカセットをセットせず、インクカセットはインクカセットホルダにセットします。

●排紙開口部の前に障害物がないか。
排紙開口部から出た用紙が障害物に衝突すると、紙が折れたり曲がったりして思わぬトラブルが発生します。印字時は排紙開口部の周囲に障害物がないようにし、排紙される紙のエリアを確保します。

●用紙送りローラのギアが、衝撃等でかみ合っていないか。
フロントカバーを開けて、リリースレバーを数回上下に動かしてかみ合わせます。

●フロントカバーを開けると、インクカセットがキャリッジの途中で止まっていないか。
第1章「プリンタの準備をする」を参照しプリンタ内部の固定部材を取り外します。

●フロントカバーを開けると、キャリッジが左側にないか。
センサーの汚れを確認します（本章「HPセンサーとマーカーシールの清掃」を参照してください）。

HPセンサーとマーカーシールの清掃

1　プリンタの電源を切り、フロントカバーを開ける

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

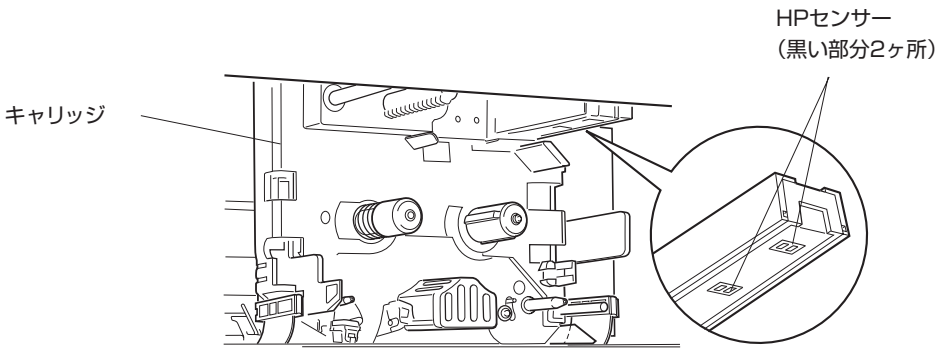
注意

・ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品、水は使用しないでください。変質する恐れがあります。

・プリンタの内部は濡らさないでください。

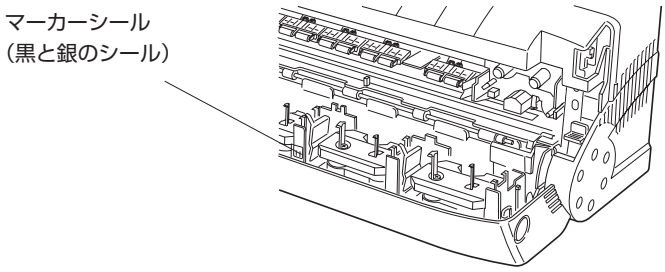
2　HPセンサーの汚れを拭き取る

消毒用アルコール（エチルアルコール）を含ませた綿棒で、次の部分の汚れを拭き取ります。消毒用アルコールがない場合は、から拭きを行います。
HPセンサーの清掃と同時に回りの金属板も清掃してください。HPセンサーは除菌用アルコールウェットティッシュで拭いてから綿棒で汚れを拭きとってください。



3　マーカーシールの汚れを拭き取る

このとき、シールがはがれないように注意します。



用紙が正しく送れない

以下の項目を確認します。

●指定用紙以外の紙を使用していないか。

これらの用紙は紙づまりの原因になるため、指定用紙以外の紙は使用しないでください。

●用紙のコーナーが丸まっていたり、カットされたりしていないか。

用紙を検出するセンサーが印字開始点や用紙長さを正しく認識できないため、使用できない場合があります。

●用紙がつまっていないか。

本章の「紙づまりが起きたとき」を参照し、用紙を取り除きます。

●用紙トレイに用紙を入れすぎていないか。

キモプレートe^2は10枚以内で使用します。

●排紙開口部付近に用紙受けトレイの印字後の用紙がたまっていないか。

あまり大量の印字した用紙が排紙開口部付近にたまると、印字した用紙の紙送りや排紙動作に支障をきたすことがあります。

●用紙トレイに異物が入っていないか。

プリンタの電源を切った後、用紙トレイの中に異物がないか確認します。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

●給紙ローラの清掃を行う。

第4章「給紙ローラの清掃」を参照し、給紙ローラの清掃を行います。

●用紙ガイドと用紙の間にはすき間があるか。

用紙ガイドと用紙の間は、用紙が用紙トレイからスムーズに取り出せる程度のすき間（2～3mm）を開けます。

●用紙を十分にさばいているか。

用紙を十分にさばかないと、静電気により用紙と用紙が密着してしまい複数枚送りの原因になります。

インクカセットについて

●キャリッジからインクカセットが外れない。

本章「キャリッジからインクカセットが外れないとき」を参照して、キャリッジからインクカセットを取り外します。

●印字終了後、インクカセットをインクカセットホルダに戻すことができずにエラーになってしまう。

センサーの汚れを確認します（本章「HPセンサーとマーカーシールの清掃」を参照してください）。

●インクカセットが終了しているのに、印字動作を続ける。

センサーの汚れを確認します。消毒用アルコール（エチルアルコール）を含ませた綿棒で、次の部分の汚れを拭き取ります。消毒用アルコールがない場合は、から拭きを行います。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

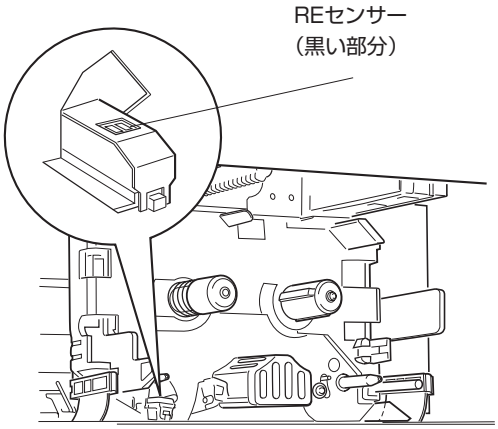
注意

・ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品、水は使用しないでください。変質する恐れがあります。

・プリンタの内部は濡らさないでください。

1　プリンタの電源を切り、フロントカバーを開ける

2　REセンサーの汚れを拭き取る



印字結果について

●印字すると、横にスジが入る。

第4章「印字ヘッドの清掃」を参照して、印字ヘッドの清掃を行います。

●印字すると、縦にスジが入る。

第4章「プラテンの清掃」を参照して、プラテンの清掃を行います。

印字が薄い／ムラがある／白線や隙間が生じる

以下の項目を確認します。

●インクリボンがヘッドから外れていないか。

印字を止めて、インクカセットをすべて入れ直します。そのとき、インクカセットのたるみを取ってからセットします。

●用紙の裏と表を間違えていないか。

キモプレートe²は、光沢のない面が印字面です。

その他のトラブル時の対処法（Windowsの場合）

インストールできない／インストールしても印字できない

接続方法／機種問い合わせ

印字しない／印字が止まる

印字が異常に遅い

接続方法に関して

その他

インストールできない／インストールしても印字できない

以下の項目を確認します。

●USB接続か。

プリンタポートはUSBxxx（xxxは、USBポートID）に設定してあるか確認します。

Windows 2000の場合

［デバイス設定の変更］ダイヤログ（プリンタのセットアップの **11** **12** 参照）のポート一覧で［USBxxx ］が表示されない場合は下記の手順を行います。

1. ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］で［コントロールパネル］を開き、［システム］アイコンをクリックする。
2. ［デバイスマネージャ］タブをクリックして［その他のデバイス］を選択し、［削除］ボタンをクリックする。
3. さらにコンピュータとプリンタがUSBケーブルで接続されプリンタの電源を入っていることを確認し、［更新］ボタンをクリックする。
4. ［新しいハードウェアの追加ウィザード］画面が表示されるので、再度USBクラスドライバのインストールを行う。

Windows XPの場合

［デバイス設定の変更］ダイヤログ（プリンタのセットアップの **11** **12** 参照）のポート一覧で［USBxxx ］が表示されない場合は下記の手順を行います。

1. ［スタート］-［コントロールパネル］で［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］-［システム］を選択する。
2. ［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックする。
3. ［表示］-［非表示デバイスの表示］を選択し、プリンタの下の「KIMOTO KMT410」を選択し、コンピュータとプリンタがUSBケーブルで接続されプリンタの電源を入っていることを確認し、［操作］-［ドライバの更新］ボタンをクリックする。
4. ［ハードウェアの更新ウィザード］画面が表示されるので、再度USBクラスドライバのインストールを行う。

接続方法／機種問い合わせ

●従来のプリンタケーブルで接続できるか。
USBのみです。

印字しない／印字が止まる

以下の項目を確認します。

●プリンタの電源が入っているか。
印字前にプリンタのpowerランプが点灯していることを確認します。

●フロントカバーが正しく閉じられているか。
フロントカバーを確実に閉じてから印字します。

●readyランプが消えているか。
ready/insertボタンを押して、readyボタンを点灯させます。

●プリンタケーブルは正しく接続されているか。
USBケーブルのコネクタが緩んでいないか。

●プリンタが紙づまりを起こしていないか。
本章「紙づまりが起きたとき」を参照して、用紙を取り除きます。

●アプリケーション側のプリンタ設定は正しく行われているか。
アプリケーションからのプリンタ設定内容を再確認します。

●プリンタケーブルに異常がないか。
下記の症状が出る場合は、プリンタケーブルあるいは接続状態に不具合がある可能性があります。
1）印字ダイアログの印字進行状態を示すレベルゲージが進行しない
2）「プリンターと通信できません」または「通信エラー」というエラーメッセージが表示される
3）用紙が入っているのに、「用紙がありません」というエラーメッセージが表示される
4）「プリンタは応答しません」というエラーメッセージが表示される

●長いプリンタケーブルを使用していないか。
長いプリンタケーブルを使用しないでください。プリンタケーブルの総延長が長くなると信号が不安定になることがあります。

●インクカセットをセットしているか。
インクカセットがセットされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。インクカセットをセットします。

●インクカセットは正しい向きでセットしているか。

インクカセットをB面（型番が印刷されている面）を上にして、インクカセットホルダにセットします。

●ハードディスクの容量は十分あるか。

Kimosetter 410から印字する場合、ハードディスク内にデータ展開用ワークエリアが要求されます。（約25MB）これに必要な空き容量を事前に確保します。

●ハードディスクの読み書きが不安定になっていないか。

ハードディスク内にデータの読み書きが不安定なエリアが存在すると、印字時にエラーが発生して印字が停止する場合があります。このような症状を回避するために、
Windows に付属しているSCANDISKや市販のディスク検査ツールを使用して、ディスクの検査・修復を定期的に行います。

●「デバイス設定の変更」のデバイス設定名が「Kimosetter 410_1」となっていないか。

一旦、RIPプログラムを終了させ以下の初期化手順を実行してください。

参考

プログラムの終了は、マウスの右ボタンでWindowsのタスクバーのタスクトレイより［kimosetter 410 RIP］アイコンをクリックして、ポップアップメニューを表示し、［終了］を選択してください。

1）Windowsのタスクバーから［スタート］＞［プリンタとFAX］（Windows 2000：［設定］）＞［プリンタ］を選択して、プリンタフォルダを開きます。RIPのインストール時に組み込まれたプリンタアイコンを全て削除します。＊プリンタ名の後ろに（RIP）が付いています。
2）Windowsのタスクバーから［スタート］＞［すべてのプログラム］（Windows 2000：［プログラム］）＞［kimosetter 410 RIP 1.0］＞［環境設定の初期化］を実行してください。“環境設定を初期化しますか？”というダイアログが表示されますので、［はい］ボタンをクリックしてください。
3）ダイアログが綴じると、環境設定の初期化が終了します。再度、RIPプログラムを起動してください。
4）RIPが起動されると、［デバイス設定の変更］ダイアログが表示されますので、ユーザーズマニュアルの第2章の「プリンタのセットアップ」項と「プリンタを使用する前に」を参照し、実行してください。

参考

［デバイス設定の変更］を行った場合、プリントモニタにスプールされたJOBファイル、［全般］タブで登録されたカスタム用紙の設定は初期化されますが、［ドライバオプション］で登録されたオフセット調整リストは初期化されず、以前の登録リストを使用することができます。

印字が異常に遅い

以下の項目を確認します。

●ハードディスクの空き容量は十分あるか。

25MB以上の空き容量が必要です（印字後は解放されます）。これに必要な空き容量を事前に確保します。

●ハードディスクのファイルが断片化されていないか。

印字時にハードディスクに確保されるワークディスクを連続したディスク領域に取れない場合、印字速度の低下を引き起こす場合があります。印字前にハードディスクの空き容量を確保して、各種ツールにてファイルの整列を行うことをおすすめします。

●アプリケーションを一度にたくさん使用していないか。

印字処理に割り当てるメモリが不足している場合があります。いくつかのアプリケーションを終了して再度印字します。

●ハードディスクの空き領域が不連続になっていないか。

ハードディスク内のワークディスク用空き領域の不連続化が進むと、印字動作が異常に遅くなる場合があります。 Windows に付属するDEFRAGや市販のツールなどを使用して定期的にファイルの整列を行うことをおすすめします。

●使用している環境の温度が高くないか。

使用している環境の温度が高いと、印字速度が遅くなることがあります。

その他のトラブル時の対処法（Macintoshの場合）

- インストール時「ディスクに書類が入っていません」と表示される／インストーラが見つからない
- セレクタからプリンタを選択できない／ポート番号が出てこない
- 印字しない／印字が止まる
- 印字が異常に遅い
- 接続方法に関して
- その他

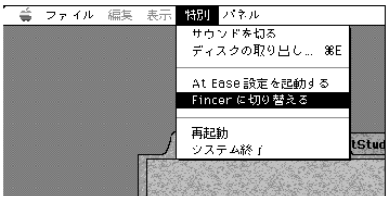
インストール時「ディスクに書類が入っていません」と表示される／インストーラが見つからない

以下の項目を確認します。

●At Easeがインストールされているか。

At Easeを使っているときは、以下の作業を行います。
プリンタドライバディスクをディスクドライブに挿入すると、「ドライブ1のフロッピーディスクには書類が入っていません」と表示されたり、画面にインストーラが表示されないことがあります。
その場合は、次の方法によりインストールが可能になります。

- ［特別］メニューから［Finderに切り替える］を選択した後に、Finderでインストーラの　アイコンをダブルクリックして、インストールを行う。



- ［特別］メニューの中に［Finderに切り替える］という項目がない場合は、まず［At Easeに切り替える］を選択する。次にAt Ease設定を起動し、「切」をチェックする。さらにMacintoshを再起動した後にドライバのインストールを行う。

セレクタからプリンタを選択できない/ ポート番号が出てこない

以下の項目を確認します。

●接続ケーブルが長すぎないか。

長いケーブルを使用しないでください。ケーブルの総延長が長くなると信号が不安定になることがあります。

●プリンタの電源が入っているか。

セレクタで機器選択する前にプリンタの電源が投入されていることを確認します。電源が入っていないときは、第1章「電源のオンとオフの手順」に従って、電源を入れ直します。

●USBケーブルが正しく接続されているか。

USBケーブルのコネクタが緩んでいないか。

印字しない／印字が止まる

以下の項目を確認します。

●プリンタの電源が入っているか。
印字前にプリンタのpowerランプが点灯していることを確認します。

●フロントカバーが正しく閉じられているか。
フロントカバーを確実に閉じてから印字します。

●readyランプが消えていないか。
ready/insertボタンを押して、readyランプが点灯した状態にします。

●インクカセットをセットしているか。
インクカセットがセットされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。インクカセットをセットします。

●インクカセットは正しい向きでセットされているか。
インクカセットをB面（型番が印刷されている面）を上にして、インクカセットホルダにセットします。

●プリンタが紙づまりを起こしていませんか？
つまった用紙を取り除きます。用紙がローラーに挟まれている場合はフロントカバーを開けて、右側のリリースレバーを押し下げた状態で静かに用紙を引き出します。

●アプリケーション側のプリンタ設定は正しく行われているか。
アプリケーションからのプリンタ設定内容を再確認します。

●セレクタでプリンタを正しく指定しているか。
［アップル］メニューの「セレクタ」を選択して、表示される印字装置と機器番号が正しいことを確認して、使用機種名を必ずクリックします。（機種名をクリックしないと正しく選択されないことがあります）

●ハードディスクの容量は十分あるか。
ハードディスク内にデータ展開用ワークエリアが要求されます。（約10MB）これに必要な空き容量を事前に確保します。

●ハードディスクの読み書きが不安定になっていないか。
ハードディスク内にデータの読み書きが不安定なエリアが存在すると、印字時にエラーが発生して印字が停止する場合があります。このような症状を回避するために、Mac OSに付属しているDiskFirstAidで、ディスクの検査・修復を定期的に行います。

印字が異常に遅い

以下の項目を確認します。

●ハードディスクの空き領域が不連続になっていないか。
ハードディスク内のワークディスク用空き領域の不連続化が進むと、印字動作が異常に遅くなってしまうことがあります。市販のハードディスク用ツールなどを使用して定期的にファイルの整列（デフラグメンテーション）を行うことをおすすめします。

●ハードディスクの空き容量は十分あるか。
10MB以上の空き容量が必要です。これに必要な空き容量を事前に確保してください（印字後は解放されます）。 容量が確保できるがそれ以上の余裕がないような場合は、印字が非常に遅くなることがあります。

●アプリケーションを一度にたくさん使用していないか。
印字処理に割り当てるメモリが不足している場合があります。現在使用していない他のアプリケーションを終了させます。

●使用している環境の温度が高くないか。
使用している環境の温度が高いと、印字速度が遅くなることがあります。

接続方法に関して

●1台のプリンタに複数のMacintoshを接続可能か。
できません。

その他

●拡大・縮小印字をしたい。
用紙設定ダイアログの「拡大率・縮小率」にて%で指定してください。

●サイズ登録を行った横方向印字が正常に印字できない。
用紙幅、用紙長が同サイズ（例100×100）では、正常に動作しません。

3.エラーメッセージが表示されたときには

本プリンタの印字動作は、パソコン本体との双方向通信を前提に設計されています。プリンタに発生した異常は、Kimosetter 410 RIPが感知すると、画面に「エラーメッセージ」を表示するようになっています。
以下に代表的な「エラーメッセージ」の内容とそれに応じた対処方法を記載しています。

注意

画面に表示されるエラーメッセージは、全てがKimosetter 410 RIPの発しているものとは限りません。下記の「エラーメッセージ」と照らし合わせても、画面に表示されているものと合致しない場合は、当社までお問合せください。

エラーメッセージが表示される

Kimosetter 410のカセットチェンジャメカニズムが正常に動作できません。

以下の項目を確認します。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

1　プリンタの電源を切り、フロントカバーを開ける

2　固定部材（外部、キャリッジ）が外されているか確認する

外されていない場合は、第1章「プリンタの準備をする」を参照し、固定部材（内部および外部）を外します。

3　電源コードを確認する

第1章「プリンタの準備をする」の **10** を参照し、電源コードが、プリンタの電源コード差し込み口に奥までしっかりと差し込まれているか確認します。差し込まれていない場合は、奥までしっかりと差し込みます。

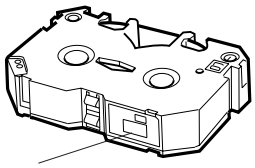
1 ～ **3** の項目に該当がない場合は、センサーの汚れを確認します。

1 センサーの清掃

本章の「HPセンサーとマーカーシールの清掃」を参照してください。

2 インクカセットのバーコードシールの汚れを拭き取る

このとき、バーコードシールがはがれないように注意します。



バーコードシール
（黒と銀のシール）

Kimosetter 410内の不揮発性メモリが正常に読めません。

以下の確認を行います。

1 プリンタの電源を切った後、電源コードを抜く

2 再度電源コードを差し込んで、電源を入れる

3 コンピュータを再起動する

Kimosetter 410のキャリッジモータ・メカニズムが正常に動作できません。

センサーの汚れを確認します。本章の「HPセンサーとマーカーシールの清掃」を参照してください。

Kimosetter 410の紙送り・メカニズムが正常に動作できません

下記の項目を確認します。

1　用紙の折れ、用紙の種類を確認する

使用できる用紙はキモプレートe²です。

2　用紙ガイドを確認する

用紙ガイドと用紙の間は、用紙が用紙トレイからスムーズに取り出せる程度のすき間（2～3mm）を開けます。

3　用紙トレイの中を確認する

プリンタの電源を切り、用紙トレイの中に異物がないか確認します。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

4　給紙ローラの清掃を行う

「第4章給紙ローラの清掃」を参照し、給紙ローラの清掃を行います。

Kimosetter 410のオートレートフィーダモードで用紙JAMが発生しました。

下記の項目を確認します。

1 用紙の折れ、用紙の種類を確認する

使用できる用紙はキモプレートe²です。

2 用紙トレイの中を確認する

プリンタの電源を切り、用紙トレイの中に異物がないか確認します。

注意

必ず電源を切ってから行ってください。故障やけがの原因となります。

3 プリンタ内の用紙を取り除く

本章「紙づまりが起きたとき」を参照し、プリンタ内の用紙を取り除きます。

4 給紙ローラの清掃を行う。

第4章「給紙ローラの清掃」を参照し、給紙ローラの清掃を行います。

Kimosetter 410のサーミスタ・エラーが発生しました。

以下の確認を行います。

1 放熱させる

連続印字時の温度上昇時に表示される場合があります。その場合はプリンタの電源を切り、フロントカバーを開けて放熱させます。

Kimosetter 410の×段カセットホルダNo×のインクが印刷中に切断されました。

以下の項目を確認します。

1　インクカセットのリボンにたるみがないか確認する

インクカセットのリボンにたるみがある場合は、第1章「インクカセットの取り扱い方」の **2** を参照し、たるみを取り除きます。

2　インクカセットのリボンの巻きを確認する

インクカセットのB面（印刷がある面）から鉛筆などを差し込んで、時計回り（巻取方向）に回して巻取れるか確認します。巻きが固くなっている場合は、インクカセットを交換します。

印刷に必要なインクカセット（キモプレートe²用インク）が装着されていません。

以下の項目を確認します。

1　インクカセットを確認する

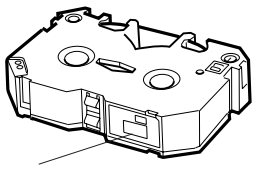
インクカセットが、インクカセットホルダにセットされているか確認します。セットされていない場合は、インクカセットのB面（印刷がある面）を上にしてセットします。
また、他機種用のインクカセットがセットされていないか、確認します。
インクカセットがインクカセットホルダにセットされている場合は、センサーの汚れを確認します。

2　センサーの清掃

本章の「HPセンサーとマーカーシールの清掃」を参照してください。

3　インクカセットのバーコードシールの汚れを拭き取る

このとき、バーコードシールがはがれないように注意します。



Kimosetter 410がオフライン状態です。

1 電源コードを確認する

第1章「プリンタの準備をする」の **10** を参照し、電源コードが、プリンタの電源コード差し込み口に奥までしっかりと差し込まれているか確認します。差し込まれていない場合は、奥までしっかりと差し込みます。

問い合わせ/修理依頼シート

Kimosetter 410へのお問い合わせや、修理依頼として発送される場合は、お手数ですが、下記項目に沿ってその症状とご利用環境をできるだけ詳しくお知らせください。
ファクシミリや郵送でのお問い合わせの場合で、印字結果/品質に関する症状の場合は、出力結果などの参考資料もあわせて添付ください.
当てはまる□にチェックマークを入れてください。該当する空欄部分はできるだけ記入願います。

1.お客様情報

1-1.お客様名：　[　　]

1-2.ご連絡先：□ご自宅　　□お勤め先名　[　　]

ご住所：[(〒　　ー　　)　　]

お電話番号：　　ファックス番号：

1-3.ご返却先　□ご連絡先と同じ　□下記へ返送を希望

ご返却先名：

ご住所：[(〒　　ー　　)　　]

お電話番号：　　ファックス番号：

2.お買上げ製品情報（シリアル番号は、本体背面または保証書に記載されています）

2-1.製品名:　Kimosetter410　　2-2. シリアル番号［　　］

2-3.お買上げ年月日　　年　　月　　日

3.ご利用コンピュータ情報

3-1.使用コンピュータ機種：メーカー名［　　］：名称・型番［　　］

3-2.動作環境　□Windows 2000　□Windows XP

□Macintoshまたはその互換機　　□Mac OS　［　　］

3-3.その他　　□プリンタ切替器使用

□他社プリンタの同時使用の場合 メーカ名［　　］機種名［　　］

4.お問合せ内容：プリンタが正常に動作できない状況を,下記の項目にしたがってご記入ください

4-1.何をしている時ですか　□プリンタ本体の接続/セットアップ中

□Kimosetter 410 RIPの新規/再/バージョンアップ インストール中

□印字中　［アプリケーション名:　　］

□その他　［　　］

4-2.どういった症状ですか

□powerランプが点灯しない

□errorランプが点滅しオンライン状態［powerランプ、readyランプが両方点灯］にならない

□オンライン状態［powerランプ、readyランプが両方共に点灯］なのに何も印字しない

□給紙/排紙が正常に行えない　□ 印字結果が画面表示と異なる　　□印字品質がよくない

□画面に保証、修理依頼方法エラーメッセージが表示される

［エラーメッセージ内容:　　］

□その他（内容を具体的にご記入ください）［　　］

4-3.処法実施結果　本章「修理に出す前に」をご覧になって、該当の症状に当てはまる対処方法をお試しいただいた項目とその結果を記入ください

5.ご利用環境情報

5.1　コンピュータ本体に関する詳細情報

・CPU　［　　］ MHz

・RAM（メモリ）容量 ［　　］MB

・HD（ハードディスク）容量 ［　　］GB ［空容量　　］GB

・プリンタ以外の周辺機器　□無　□有 ［　　］

・ネットワーク利用　□無　□有 ［　　］

・プリンタの共有　□無　□有

・その他（上記以外でご使用の拡張機器）　機器名称［　　］

・仮想メモリ　□ON　□OFF

・拡張ビデオカード　□無　□有［メーカ名　名称/機種名　　］

6.ご利用アプリケーション

（1） メーカ名　アプリケーション名［　　Ver.　　］

（2） メーカ名　アプリケーション名［　　Ver.　　］

（3） メーカ名　アプリケーション名［　　Ver.　　］

（4） その他のアプリケーション［　　］

●製品に関する、ご質問、お問い合わせは下記にご連絡ください。
株式会社　きもと
〒160-0022　東京都新宿区新宿2丁目19番1号
TEL（03）3350-0701　　FAX （03）3350-4730

●製品の修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店あるいは上記当社にご連絡ください。

Kimosetter 410 ユーザーズガイド
株式会社　きもと／KIMOTO CO., LTD.
〒160-0022　東京都新宿区新宿2丁目19番1号
Printed in Japan 0503

KIMOTO